Vol.72 通巻832号　平成3年7月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可　ISSN 0912-8182

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

1991

7

日本建築協会



Day by Day ― きっといい明日

大阪ガス

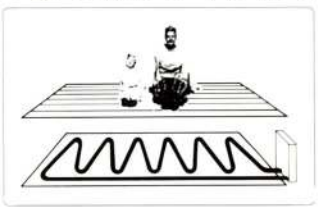
◎新居に床がある限り、床暖房はカンタンです。

近い将来、新居を計画してる方と、
遠い将来だけど、予定はしてるぞって方に、お伝えします。
これからのおうち暖房は、ガス温水床暖房がいいですよ。
ぜひ、よーく知って欲しいのですよ。
みんなが思ってる以上に、身近なモノなのですよ。



そのぬくもりは、日なたぼっこみたいなんです。

床の下にお湯をめぐらせてあったためる温水床暖房は、頭寒足熱の健康的な暖房です。しかも、皮ふ内の温点に直接作用する遠赤外線効果で、からだの芯までポカポカに。寒い冬の日も、日だまりみたいなお部屋で過ごせるんですね。



その燃費は、ホントは安あがりなんです。

とはいうものの、ガス代が気になるわって声に、ズバリお答えします。1時間でわずか約17円、1カ月でも約3,050円。お部屋を効率よくあったためる温水床暖房ならではの、うれしい燃費です。これなら冬中使い続けられますね。

※1時間当たり　1日6時間連続運転した場合ひと月当たり　1時間当たりのガス代／6時間　30日6畳洋室　外気温5℃　湿度60%　室温18℃　ガス119.42円　㎡大阪ガス実測値

その工事は、おおげさに考えなくて大丈夫。

家を建てる前に計画しておけば、とってもスムーズに設置できますよ。洋室から和室まで、床材も豊富に揃ってます。設置にかかる費用もそんなにおおげさな値段ではありません。ホントです。まずは大阪ガスに、声をかけてください。

ガス温水床暖房

（よーし、わが家も考えてみようと思ったら、）

【ガス温水 床暖房に関する資料請求・お問合せは、お近くの大阪ガス各支社まで】

大阪支社　大阪市西区千代崎3-2-95 ☎ 06(586)3200
南部支社　堺市住吉橋町2-2-19 ☎0722(38)1131
北部支社　高槻市藤の里町39-6 ☎0726(71)0361
東部支社　東大阪市稲葉2-3-17 ☎0729(62)1131
兵庫支社　神戸市中央区東川崎町1-8-2 ☎078(360)3100
京都支社　京都市下京区中堂寺粟田町1 ☎075(312)3961
奈良支社　奈良市学園北2-4-1 ☎0742(44)1111
和歌山支社　和歌山市本町1-5 ☎0734(31)2481
兵庫西支社　姫路市神屋町4-8 ☎0792(85)2221
豊岡支社　豊岡市三坂町6-57 ☎0796(23)2221
湖南支社　草津市追分町字荒堀680-1 ☎0775(62)5311
彦根支社　彦根市大東町12-11 ☎0749(22)3131

1級建築施工管理技士になるための
平成3年度 1級建築施工管理技術検定試験
（実　地　試　験）
受験準備講習会

昼間講座

受講料11,000円（税込）＋購入指定図書代
（講義は9：30～16：30まで行います。）

開催地 / 講習日（1日）							
札　幌	10/24(木)	横　浜	10/21(月)	大阪①	10/23(水)	松　山	10/22(火)
仙　台	10/26(土)	新　潟	10/22(火)	大阪②	10/24(木)	福　岡	10/22(火)
東京①	10/25(金)	名古屋①	10/24(木)	岡　山	10/19(土)	熊　本	10/29(火)
東京②	10/26(土)	名古屋②	10/25(金)	広　島	10/26(土)	那　覇	10/24(木)

夜間講座

受講料11,000円（税込）＋購入指定図書代
（講義は各日18：00～20：50まで行います。）

開催地 / 講習日（延2日間）		
東　京	10/22(火)・29(火)	

〔購入指定図書〕　1級建築施工管理技術検定
実地試験受験用テキスト〔改訂第4版〕　3,000円 送料500円
※上記図書は、一般販売もいたします。

主催　建設省・国土庁所管（財）地域開発研究所
建築施工管理技術研究会

〒162　東京都新宿区市ヶ谷砂土原町3―4　（生泉市ヶ谷ビル）
TEL　03-3268-8751　　FAX　03-3267-2552

❖詳しくは、案内書を上記主催団体まで電話またはハガキにてご請求下さい❖

試験について

1. 試験実施機関　財団法人建設業振興基金試験研修本部
〒105 東京都港区虎ノ門1―25―5　第34森ビル内
TEL　03-3502-6131

2. 受験申込受付期間　平成3年7月26日(金)～8月9日(金)
①1級（学科試験）免除者および②平成3年度1級（学科試験）合格者とも、この期間に各自で必ず受験申込をして下さい。
（詳しくは、受験申込用紙に同封の「手引き」をご覧下さい。）

3. 試験日　平成3年11月10日(日)

4. 試験地　札幌・仙台・東京・新潟・名古屋
大阪・広島・高松・福岡・那覇

5. 受験申込用紙販売機関
(財)北海道開発協会・(社)東北建設協会・(社)営繕協会
(社)関東建設弘済会・(社)北陸建設弘済会・(社)中部建設協会
(社)近畿建設協会・(社)中国建設弘済会・(社)四国建設弘済会
(社)九州建設弘済会・(社)沖縄建設弘済会
※上記団体以外に、各都道府県建設業協会の中で販売している協会もあります。詳しくは、地元建設業協会にお問い合せ下さい。

6. その他
■受験申込用紙は、6月下旬より販売される予定です。
但し、1級（学科試験）免除者のうち、平成2年度1級（学科試験）合格者は、（財）建設業振興基金より送付される書類で受験申込を行って下さい。
また平成3年度1級（学科試験）合格者は、合格通知書に同封してある郵便振替払込用紙で8月9日(金)までに受験料を払込んで下さい。



空　間　無　限

太陽光の角度によって時と共に変化する壁面
タイルのわずかな凹凸が表情を際立たせる。
ある時は壁面の背後に別の空間を感じさせるほど微妙な
無限のリズムの中の陰影、
タイル一枚一枚がまるで意思をもっているかのように語りかけてくる。
TOTOエクステリアタイル。

TOTOエクステリアタイル

カタログをご希望の方は、〒530 大阪市北区曽根崎2-3-7 梅新第一生命ビル東館 東陶機器㈱ 大阪支社までご請求ください。☎06(364)1181

青年技術者のみなさまへ

「建築と社会」平成３年11月号の「第38回青年技術者特集号」の応募について

日本建築協会誌「建築と社会」は毎年「青年建築家特集号」もしくは「青年技術者特集号」を企画し、すでに37回にわたって優秀な青年技術者を紹介してきました。

今回も、「青年技術者選衡委員会」を設けて、選衡の上掲載することにしております。

その選ぶ分野も、建築に携わる技術者層の多面化傾向を考慮して、設計だけに限らず、計画、構造、設備、施工およびその他広く建築に関連する分野から、優秀な青年技術者を選んでその不断の研究努力とすぐれた業績を「建築と社会」に掲載して顕彰することにしております。

ついては、下記応募規定を参照の上、ふるって応募されんことを希望します。

応募提出規定

1．応募される人は満35歳までの青年技術者であって、本会会員に限ること。

2．原則として本会会員であるすいせん者を通じて応募のこと。
すいせん者は被すいせん者（青年技術者）の勤務する組織の上司なり上長であること。すいせん者が学校教官である場合はこの限りでない。また本人が組織の代表者である場合は自せんとする。
（すいせん用紙は事務局にありますので、ご請求ください）

3．応募者は、設計（住宅・インテリアを含む）、計画（都市計画など）、構造、設備、施工、その他の分野にあって、なしとげたすぐれた実績について、すいせんをうけ、下記の所要の資料を本会に期日までに提出すること。

4．提出された資料は「青年技術者選衡委員会」にかけて選衡する。

5．「青年技術者選衡委員会」において選衡されたものは「第38回青年技術者特集号」（平成３年11月号）に記載するとともに、記念品を贈呈する。

6．提出資料

(1) 略歴

本人の氏名、生年月日、最終学歴、業歴、作品経歴など

(2) 選衡資料

A資料

(i) 建築設計の場合（住宅設計・インテリアを含む）
鮮明な写真、配置図および主要平面図、概要、設計要旨、その他設計内容を説明するに十分な資料

(ii) 計画の場合（都市・地域の計画など）
設計図、計画要旨、その他上に準じた資料

(iii) 構造、設備、施工の場合（それぞれの設計計画なども含む）
上に準じた資料

(iv) 上記以外の分野の場合（プロジェクト等の調査・企画・調整、コンサルティング、コーディネイト、プログラミング、部材・材料の開発、造園等、その他）
それぞれにふさわしい資料

B資料

上記A資料の各業績において、応募者本人が関与した程度、役割、立場等を明らかにし、A資料中、本人が特に貢献した部分、または力量が活かされたと思われる部分の詳細な説明、考え方および将来的展望などについて、400字詰原稿用紙８枚以内に平易簡明にまとめたもの（必要に応じ図・表を用いて差し支えない）。ただし応募者・本人の執筆に限る。

(3) すいせんのことば

原則として、すいせん者によるすいせんのことば（120字ていど）を添付のこと。自せんの場合は不要。

（注）「青年技術者選衡委員会」において選衡し、採択されたものについては、後日、本人の写真、青年技術者としてのことば（青年技術者としての抱負、考え方、信念、建築観等々を、400字ていどで執筆）の提出をお願いすることにします。

7．提出期限 平成３年 **9** 月 **6** 日㈮ 厳守

8．提 出 先 日本建築協会「青年技術者選衡委員会」
大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第３ビル21階
〒530 電話 06-348-0635 FAX 06-348-0634

9．青年技術者選衡委員会（平成３年度）

委員長 溝神 宏至朗（安井建築設計事務所常務取締役大阪事務所所長）
委 員 猪倉 啓行（日建設計取締役大阪第二事務所所長）
遠藤 剛生（遠藤剛生建築設計事務所所長）
岡田 聿之（東畑建築事務所参事・設計部部長）
舟橋 國男（大阪大学助教授）
甲津 功夫（京都大学助教授）
俣野 博（竹中工務店大阪本店設計部構造担当部長）
中元 三郎（安井建築設計事務所情報システム部副部長）
山田 幹彦（清水建設大阪支店設計部グループ長）
藤井 孝晏（大林組本店建築工務部技術課長）
日下部 弘（鹿島建設大阪支店建築部専門部長）

◀平成２年度事業報告書　自　平成２年４月１日　至　平成３年３月31日

１．総　　会

（イ）通常総会

６月27日　５時半～５時40分　於本会会議室

出席者　佐野・薬袋・金多正副会長ほか16名

議事　(1)平成元年度事業報告並びに決算報告承認の件
(2)平成２年度事業計画並びに収支予算承認の件

（ロ）通常総会

２月26日　５時～５時15分　於本会会議室

出席者　佐野会長ほか13名

議事　(1)監事１名選挙の件
(2)本部所属評議員20名選挙の件
(3)監事並びに評議員重任承認の件

２．評　議　員　会

（イ）定時評議員会

６月27日　５時～５時20分　於本会会議室

出席者　高橋議長ほか42名（委任状共）

議事　(1)平成元年度事業報告並びに決算報告承認の件

（ロ）評議員会にかえて書面表決

11月15日付をもって平成３年度評議員選出数（54名）決定についてお諮りした。回答50名、賛成50名、反対０名

（ハ）定時評議員会

３月26日　５時～５時50分　於本会会議室

出席者　高橋議長ほか47名（委任状共）

議事　(1)評議員会議長、副議長互選の件
(2)副会長２名、理事24名選任の件
(3)平成３年度事業計画承認の件
(4)平成３年度収支予算承認の件

３．理　　事　　会

定例理事会　７回　　**常任理事会**　４回

４．委　　員　　会

	委員会	幹事会・小委員会 分科会・打合会等
(1)編集委員会	12回	117回 座談会５回インタビュー25回
(2)事業委員会	７回	48回
(3)建材委員会	８回	見学会１回
(4)教育委員会	２回	11回
(5)出版委員会	10回	

５．新　建　材　検　討　会

４月18日　打放しコンクリートSEF（セフ）システム
５月９日　コンクリート白華除去剤
７月11日　JSS工法（超高圧少水量剥離・洗浄システム）
８月８日　エバーフレッシュII（アクリル系人工大理石）
９月12日　マルチプライマー（低臭塗料）
10月17日　ベリアパネル（型枠兼用断熱パネル）
２月13日　ウォールスター（磁器調ガラス建材）
３月13日　ケラミット（大型陶板）

６．講　　演　　会

天保山ハーバービレッジ講演会

９月25日　12時半～６時半
於現地ホール「オーデトリアム」

講師　森田啓介氏（大阪ウォーターフロント開発）
杉本正顕氏（環境開発研究所）

参加者　240名

「都市の発想」講演会
―新梅田シティ開発計画の出発点―

３月22日　６時半～８時半　於朝日生命ホール

講師　原広司氏（東京大学生産技術研究所教授）

参加者　394名

７．建築工事実務講習会

大阪開催

７月11日　９時～５時　於建設交流館

科目・講師

●施工計画Ｉ
藤井孝晏氏（大林組建築工務部工務課長）

●施工計画II
藤井俊彦氏（大成建設建築部部長）

●仮設見積
水落和則氏（大林組建築工務部工務課長）

●積算業務
中山雅博氏（竹中工務店見積部見積課長）

受講者数　110名

名古屋開催

９月27日　９時半～５時　於昭和ビル

科目・講師

●施工計画
岩田正弘氏（清水建設名古屋支店生産システム部部長）

●仮設見積
佐藤達雄氏（大林組名古屋支店建築工務部工務課長代理）

●積算業務
尾関友四郎氏（竹中工務店名古屋支店見積部副部長）

受講者数　93名

８．話　題　建　築　を　聞　く

クリスタルタワー本多友常氏に聞く

１月30日　２時～４時半　於本会会議室

参加者　37名

●建築概要
所在地　大阪市中央区城見１－２－27
建築主　竹中工務店　朝日ビルディング
設計施工　竹中工務店

大阪東京海上ビルディング―押野見邦英氏に聞く

２月６日　２時～４時　於本会会議室

参加者　35名

●建築概要
所在地　大阪市中央区城見２－２－８
建築主　東京海上火災保険
設計施工　鹿島建設

９．見　　学　　会

東京話題建築見学会

５月25日～26日

見学先　東京都葛西臨海水族園、TEPIA、東京都新庁舎、東京サレジオ学園、世田谷美術館、日本電気本社ビル

参加者　53名

オオサカサンバレス見学会

６月28日　１時半～４時

参加者　90名

●建築概要
所在地　吹田市千里万博公園１－１
設計監理　日建・安井JV
施工　竹中・淺沼・錢高・不動・村本JV

神戸女学院とヴォーリズの住宅を訪ねる
―憧れのキャンパスを散策―

７月14日　午前の部　９：00～12：00
午後の部　13：00～17：30

講師　山形政昭氏（大阪芸術大学建築学科助教授）

参加者　〔午前〕27名　〔午後〕51名

桜宮リバーシティ（仮称）MKOマンション建設工事見学会

７月27日　２時～４時

参加者　38名

●建築概要
所在地　大阪市都島区中野町５－１
設計監理　大林組本店一級建築士事務所
施工　大林組

天保山ハーバービレッジ(海遊館、マーケットプレース)講演と見学の会

９月25日　12時半～６時半

参加者　240名

●建築概要
所在地　大阪市港区海岸通１－３
設計　ケンブリッジ・セブン・アソシエーツ
環境開発研究所
施工　竹中、大林、鴻池JV

"木の国"和歌山の建築を訪ねて―見学と懇親の集い―

10月19日～20日

参加者　46名

見学先　19日　養翠園、不老橋と不老館、黒江、関西電力御坊火力発電所
20日　白浜民族温泉資料館、龍神村民体育館、龍神温泉、高野山

講師　養翠園・不老橋：寺西貞彦氏（和歌山市教育委員会市史編纂室主幹）
黒江、漆器の里：池原庸夫氏（池茂工業所）
龍神村民体育館：渡辺豊和氏（渡辺豊和建築工房、京都芸術短大教授）

クリスタルタワー見学会

10月26日　２時～４時半

参加者　32名

●建築概要
所在地　大阪市中央区城見１－２－１
設計施工　竹中工務店

大阪東京海上ビルディング見学会

11月６日　２時～４時45分

参加者　78名

●建築概要
所在地　大阪市中央区城見２－２－８
設計施工　鹿島建設

アシックススポーツ工学研究所・人財開発センター見学会

２月21日　２時～４時

参加者　71名

●建築概要
所在地　神戸市西区高塚台６－２－１
設計施工　竹中工務店

10．展　　覧　　会

「原広司作品展」―都市の発想―

３月19日～24日　11時～７時半

会場　ソニータワー・ソニーサロン

入場者　4,094名

11．ビ　デ　オ　映　写　会

現代建築家ビデオシリーズ第２回

(1)日本のアバンギャルド
(2)安藤忠雄

４月23日・27日　６時半～８時半　於本会会議室

参加者　71名

現代建築家ビデオシリーズ第３回

(1)フランク・ゲーリー
(2)ロバート・ベンチューリとデニス・スコット・ブラウン

５月28日　６時～８時半　於本会会議室

参加者　15名

現代建築家ビデオシリーズ第４回

(1)ジェームズ・スターリング
(2)O.M.ウンガウス

６月25日　６時半～８時半　於本会会議室

参加者　８名

現代建築家ビデオシリーズ第５回

(1)ミース・ファン・デル・ローエ
(2)リチャード・マイヤー

７月23日　６時半～８時半　於本会会議室

参加者　30名

GALLERY・MA講演ビデオ映写会

1月24日　6時半～8時25分　於本会会議室

(1)高松　伸「かたちの奇跡―高松伸の建築」

(2)竹山　聖「不連続都市、竹山聖と仲間たち」

参加者　35名

2月20日　6時半～8時　於本会会議室

(1)伊東豊雄「風の街の建築家たち」

(2)葉　祥栄「人と自然と技術のインターフェイスデザイン」

参加者　35名

3月20日　6時半～8時　於本会会議室

(1)毛綱毅曠「都市の遺伝子」

(2)六角鬼丈「地水火風空」

参加者　35名

12．コ　ン　ク　ー　ル

第36回工高生デザインコンクール

設計課題　タウンハウス
応募数　18校69点
審査会　10月13日
表彰式　11月17日
審査委員長　吉村篤一（建築環境研究所所長）
入選作　10点（内最優秀1点、優秀2点）

13．表　彰　状　授　与

全国の工業高等専門学校、高等学校、専修学校建築科の優秀卒業生に対し本会会長の表彰状を授与しており、本年3月卒業生のうち191校204名を表彰した。

14．会誌「建築と社会」（特集号）

4月号　スケール感
5月号　プレハブ住宅技術の現在と未来
6月号　国際花と緑の博覧会
7月号　建築家のための設備知識―中規模オフィスビルによるケーススタディー
8月号　高強度化―設計の多様化をめざして―
9月号　やわらかな住宅管理・ユーザーの役割
10月号　都市のナイス・プレイス
　兵庫県営繕の歩み
11月号　第37回青年技術者
　和歌山県の展望と景観
12月号　高級感―建物の顔：感性の時代を迎えての外装材
1月号　新しい都市空間づくり―1―
2月号　オフィス・プレジャー
　新しい都市空間づくり―II―
　建築の風景
3月号　東海支部復活30周年記念

15．出　　版

建築技術選書〈特装版〉

「場所打ち杭の設計と施工」阪口理著

プロのノウハウシリーズ

「ニュー組積建築のすすめ―21世紀の建築生産システム―」　福島孝之監修

16．プロのノウハウ講座

「場所打ち杭の設計と施工」講座

10月24日　6時～8時　於本会ラウンジ

講師　阪口　理氏（近畿大学理工学部建築学科教授）

参加者　30名

「建築基準法を読みこなすコツ」講座

12月14日　6時～8時　於本会ラウンジ

講師　高木　任之氏（㈶性能保証住宅登録機構専務理事・東洋大学建築学科講師）

参加者　30名

17．日本建築協会賞（第2回）

●日本建築協会賞　4件

大阪市の総合設計制度
電気工事士技能競技大会の継続実施
RC造超高層建物の建設システムの確立
大阪ビジネスパークの開発推進

●日本建築協会賞特別賞　1件

神戸市北野・山本地区の都市景観保全

18．海外建築視察旅行

「イスラムの建築を訪ねて」海外研修旅行

2月5日～2月19日を予定していたが、中東湾岸戦争勃発による中東情勢悪化のため、延期した。

19．午餐会・懇親会等

在阪建築9団体会長午餐会

11月7日　11時半～2時　於大阪ガスビル8階

出席者　各会正副会長、支部長、事務局　計28名

建築関係団体合同忘年懇親会

12月14日　6時～7時半

於太閤園ダイヤモンドホール

出席者　350名

建築関係10団体合同新年交礼会

1月4日　2時半～3時半　於大阪コクサイホテル

出席者　572名

20．会　　計　　監　　査

5月7・8日の2日間

太田昭和監査法人によって平成元年度の会計監査実施。

21．委託業務の受託

●府営住宅の管理における居住者参加に関する研究
（大阪府住宅管理センター）

●公社住宅住まい方調査研究
（大阪府住宅供給公社）

22．本会が入会している団体

大阪商工会議所
大阪市街地再開発促進協議会
関西経済連合会
建築行政協会大阪市支部
建築関係公益法人協議会（建設省所管の社団財団）
建築国際連絡協議会　5団体　事務局：学会
建築関係団体連絡会　80団体　〃　：建築センター
四会連合工事請負契約約款連合委員会
大阪住宅振興協議会　24団体　〃　：大阪住宅センター
大阪府社会保険協会
大阪市北区納税協会
大阪市防火管理協会

23．本会より役員を送っている団体

大阪商工会議所	2号議員
大阪市街地再開発促進協議会	理　事
日本建築総合試験所	理　事
日本建築センター	評議員
大阪建築防災センター	理　事
大阪住宅センター	理　事

24．建　築　ク　ラ　ブ

会員有志の組織する建築クラブでは毎月大阪グランドホテルにおいて講師を招き朝食会を行うほか、1月は新年宴会(晩餐)を開催して相互の親睦をはかっている。

25．ゴ　ル　フ　同　好　会

会員のゴルフ同好者をもって組織し、年間5回の定例競技会を開催して、ゴルフを通じて会員相互の親睦、研鑽を図っている。

26．後援または協賛した会

□建築保全業務共通仕様書（平成2年版）講習会
主催　建築保全センター・営繕協会

□「KOBEインターホーム'90」
主催　神戸市、日刊工業新聞社
6月1日～4日　於神戸ポートアイランド

□討論会「歴史都市・京都のSCAPE POLUTION（景観汚染）をどうする」―美観・風致の建築デザインをめぐって―
主催　京都建築フォーラム事務局
6月8日　於日本イタリア京都会館

□平成2年度1級・2級建築施工管理技術検定試験受験準備講習会（全国各地）
主催　地域開発研究所、建築施工管理技術研究会

□建築新技術展／国際セミナー　A/E/C　SYSTEMS JAPAN '90
主催　A/E/C SYSTEMS JAPAN 組織委員会
9月12日～14日
於池袋サンシャインシティ文化会館

□「第7回国際オフィス環境展・インテリジェントビル'90」
主催　日本能率協会
9月26日～29日
於日本コンベンションセンター国際会議室

□「旧伊丹郷町モデルハウス設計競技」
主催　伊丹市
表彰・作品展／10月19日

□「游女の都市」建築展
主催　『游女の都市』建築展実行委員会
大阪展/10月18日～31日　東京展／11月5日～18日

□第10回大阪まちなみ賞（大阪都市景観建築賞）
主催　大阪府・大阪市・大阪府建築士会
記念講演・表彰式／11月27日～30日

□講演会「建築と街づくりを考える」―PART 1
主催　日本建築学会近畿支部
11月30日　於大阪科学技術センター

□建築展「北川原温の建築、横たわる円錐―MALLARMÉ DE SIEGE」
主催　GALLERY・MA運営委員会
講演会／11月30日　於朝日生命ホール
建築展／11月22日～12月22日　於GALLERY・MA

□シンポジウム「震度6、その時どうなる」
主催　日本建築学会近畿支部
12月5日　於建設交流館

□「フランク・ロイド・ライト展」
主催　日本建築学会、セゾン美術館、京都国立近代美術館、横浜美術館、北九州市立美術館、毎日新聞社
1月2日～2月10日　東京池袋・セゾン美術館
4月2日～5月6日　京都国立近代美術館
5月18日～6月23日　横浜美術館
7月2日～7月28日　北九州市立美術館

□ニュービルディング&ビジネススペース'91
主催　日本能率協会
2月25日～28日　於マイドームおおさか

□講演会「建築と街づくりを考える」―PART 2
主催　日本建築学会近畿支部
3月8日　於イトーキ大阪ニューオフィスギャラリー

□'91経営セミナー中堅幹部職員研修会
主催　新日本建築家協会近畿支部
3月16日　於大阪国際交流センター

◀平成２年度決算報告書

収支計算書

平成２年４月１日から平成３年３月31日まで

（単位：円）

Ⅰ 収入の部					
科目		予算額	決算額	差異	備考
1	**会費収入**	**69,116,000**	**67,299,833**	**1,816,167**	
	個人正会員	28,000,000	26,599,283	1,400,717	
	地方会員	1,900,000	1,878,750	21,250	
	団体正会員	39,000,000	38,650,800	349,200	
	準会員	216,000	171,000	45,000	
2	**事業収入**	**80,484,000**	**76,772,515**	**3,711,485**	
	会誌収入	65,000,000	58,962,493	6,037,507	
	契約約款売上収入	2,134,000	2,530,965	△396,965	
	出版委員会収入	1,600,000	1,714,781	△114,781	
	事業委員会収入	2,100,000	5,170,000	△3,070,000	
	教育委員会収入	3,000,000	2,136,823	863,177	
	受託事業収入	5,150,000	4,892,500	257,500	
	雑収入	1,500,000	1,364,953	135,047	
3	**寄付金収入**	**1,500,000**	**2,950,000**	**△1,450,000**	
4	**雑収入**	**2,000,000**	**4,078,220**	**△2,078,220**	
5	**借入金返済積立金取崩収入**	**12,000,000**	**12,000,000**	**0**	
6	**記念事業積立金取崩収入**	**3,000,000**	**1,914,941**	**1,085,059**	
7	**退職給与引当金取崩収入**	**9,395,000**	——	**9,395,000**	正味財産増減計算書に計上
8	**定期預金取崩収入**	**0**	**3,000,000**	**△3,000,000**	
9	**金銭信託取崩収入**	**0**	**2,882,586**	**△2,882,586**	
10	**前受金収入**	**0**	**5,243,787**	**△5,243,787**	
11	**前払費用収入**	**0**	**512,876**	**△512,876**	
12	**仮払金収入**	**0**	**292,949**	**△292,949**	
	当期収入合計（A）	**177,495,000**	**176,947,707**	**547,293**	
	前期繰越収支差額	**10,267,000**	**47,950,495**	**△37,683,495**	
	収入合計　（B）	**187,762,000**	**224,898,202**	**△37,136,202**	
Ⅱ 支出の部					
1	**事業費**	**82,950,000**	**77,619,585**	**5,330,415**	
	会誌発行費	63,000,000	58,167,705	4,832,295	
	契約約款費	950,000	855,987	94,013	
	出版委員会事業費	250,000	438,415	△188,415	
	事業委員会事業費	3,000,000	5,854,488	△2,854,488	
	教育委員会事業費	3,500,000	1,710,249	1,789,751	
	協会賞費	3,000,000	1,914,941	1,085,059	
	支部助成費	2,000,000	2,237,375	△237,375	
	受託事業費	4,750,000	4,515,015	234,985	
	雑費	2,500,000	1,925,410	574,590	
2	**管理費**	**90,743,000**	**90,257,091**	**485,909**	
	給与・手当	51,500,000	52,024,379	△524,379	
	退職金	20,200,000	20,198,935	1,065	
	福利厚生費	6,700,000	6,220,361	479,639	
	会議費	1,150,000	1,020,324	129,676	
	旅費交通費	350,000	463,772	△113,772	
	通信運搬費	1,100,000	1,098,735	1,265	
	集金費	1,400,000	1,292,027	107,973	
	消耗品費	350,000	527,841	△177,841	
	修繕費	50,000	57,577	△7,577	
	印刷製本費	400,000	340,513	59,487	
	光熱水費	250,000	211,122	38,878	
	火災保険費	20,000	14,250	5,750	
	租税公課	2,600,000	2,526,010	73,990	
	清掃費	170,000	160,680	9,320	
	借入金利息	3,000	2,628	372	
	建物管理費	4,000,000	3,910,308	89,692	
	雑費	500,000	187,629	312,371	
3	**借入金返済支出**	**12,000,000**	**12,000,000**	**0**	
4	**退職給与引当金支出**	**1,000,000**	——	**1,000,000**	正味財産増減計算書に計上
5	**基金繰入**	**500,000**	——	**500,000**	正味財産増減計算書に計上
6	**中国ファンド積立支出**	**0**	**243,116**	**△243,116**	
7	**定期預金積立支出**	**0**	**15,716,407**	**△15,716,407**	
8	**仮受金支出**	**0**	**652,275**	**△652,275**	
9	**減価償却費**	**100,000**	——	**100,000**	正味財産増減計算書に計上
10	**予備費**	**469,000**	**0**	**469,000**	
	当期支出合計（C）	**187,762,000**	**196,488,474**	**△8,726,474**	
	当期収支差額（A）−（C）	**△10,267,000**	**△19,540,767**	**9,273,767**	
	次期繰越収支差額（B）−（C）	**0**	**28,409,728**	**△28,409,728**	

正味財産増減計算書

平成2年4月1日から平成3年3月31日まで

（単位：円）

科目	金額
Ⅰ 増加の部	
1．**資産増加額**	**15,959,523**
中国ファンド増加額	243,116
定期預金増加額	15,716,407
2．**負債減少額**	**22,046,774**
借入金返済額	12,000,000
退職給与引当金取崩額	9,394,499
仮受金減少額	652,275
増加額合計	**38,006,297**
Ⅱ 減少の部	
1．**資産減少額**	**40,238,619**
当期収支差額	19,540,767
貸付信託減少額	15,000,000
金銭信託減少額	2,882,586
什器減少額	94,500
記念事業積立預金取崩額	1,914,941
仮払金減少額	292,949
前払費用減少額	512,876
2．**負債増加額**	**8,243,787**
退職給与引当金繰入額	3,000,000
前受金増加額	5,243,787
減少額合計	**48,482,406**

当期正味財産減少額	**10,476,109**
前期繰越正味財産額	**301,452,440**
期末正味財産合計額	**290,976,331**

貸借対照表

平成３年３月31日現在

（単位：円）

科目	金額
Ⅰ 資産の部	
流動資産	**40,510,120**
現金・預金	19,268,642
未収入金	20,388,052
前払費用	625,490
仮払金	227,936
固定資産	**291,793,544**
基本財産	**277,223,364**
土地	59,800,000
建物	191,120,000
金銭信託	10,586,957
預金	15,716,407
その他の固定資産	**14,570,180**
什器	394,760
中期国債ファンド	368,003
退職給与積立預金	3,000,000
記念事業積立預金	10,807,417
資産合計	**332,303,664**
Ⅱ 負債の部	
流動負債	**38,327,333**
未払金	11,246,966
前受金	26,725,170
仮受金	355,197
固定負債	**3,000,000**
退職給与引当金	3,000,000
Ⅲ 正味財産の部	
正味財産	**290,976,331**
（うち基本金）	（277,223,364）
（うち当期正味財産減少額）	（10,476,109）
負債及び正味財産合計	**332,303,664**

計算書類に対する注記

１．重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法について

該当なし。

(2)固定資産による減価償却について

定額法による減価償却を実施している。

(3)引当金の計上基準について

退職給与引当金…期末退職給与の要支給額に対し任意の金額を計上している。

(4)資金の範囲について

資金の範囲には、現金、預金、未収入金及び未払金を含めている。

(5)消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方法によっている。

２．基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	59,800,000	0	0	59,800,000
建物	191,120,000	0	0	191,120,000
貸付信託	15,000,000	0	15,000,000	0
金銭信託	10,303,364	283,593	0	10,586,957
預金	0	15,716,407	0	15,716,407
合計（基本金）	276,223,364	16,000,000	15,000,000	277,223,364

３．次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	42,889,326	19,268,642
未収入金	21,098,360	20,388,052
合計	63,987,686	39,656,694
未払金	16,037,191	11,246,966
合計	16,037,191	11,246,966
次期繰越収支差額	47,950,495	28,409,728

４．固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物	191,120,000	0	191,120,000
什器	1,112,560	717,800	394,760
合計	192,232,560	717,800	191,514,760

５．借入金限度額

借入金限度額は、20,000,000円である。

財産目録

平成３年３月31日現在

（単位：円）

Ⅰ 資産の部	
流動資産	**40,510,120**
現金、預金	19,268,642
現金（手許有高）	44,466
普通預金	13,126,706
三和銀行　瓦町支店	5,119,226
大和銀行　北浜支店	7,106,051
住友銀行　高麗橋支店	394,787
中央信託銀行　梅田支店	506,642
郵便振替（大阪1―39975）	6,097,470
未収入金	20,388,052
会誌収入	16,460,052
個人正会員会費収入	2,952,600
団体正会員会費収入	725,000
地方正会員会費収入	20,400
準会員会費収入	30,000
事業委員会収入	200,000
前払費用	625,490
会誌発行費	565,070
事業委員会事業費	59,970
集金費	450
仮払金	227,936
郵券代	132,104
その他	95,832
固定資産	**291,793,544**
基本財産	**277,223,364**
土地・建物　大阪市北区梅田1-1-3-2100	191,120,000
金銭信託	
中央信託銀行梅田支店	10,586,957
預金	
中央信託銀行梅田支店	15,716,407
その他の固定資産	**14,570,180**
什器	
大阪駅前第３ビル21階	394,760
中期国債ファンド	
ユニバーサル証券大阪支店	368,003
退職給与積立預金	
住友銀行高麗橋支店	3,000,000
記念事業積立預金	
大和銀行北浜支店	1,807,417
住友銀行高麗橋支店	9,000,000
資産合計	**332,303,664**
Ⅱ 負債の部	
流動負債	**38,327,333**
未払金	11,246,966
会誌発行費	8,325,598
出版委員会事業費	176,834
事業委員会事業費	506,236
教育委員会事業費	6,000
受託事業費	1,513,118
集金費	96,950
助成金支出	622,230
前受金	26,725,170
個人正会員会費収入	5,951,400
団体正会員会費収入	16,571,670
地方正会員会費収入	656,700
準会員会費収入	63,600
会誌収入	3,479,300
会員名簿収入	2,500
仮受金	355,197
３月分給与税金	149,830
〃　204条該当分	88,097
消費税預かり	1,470
建築クラブ会費	72,000
誤入金ほか	43,800
固定負債	**3,000,000**
退職給与引当金	3,000,000
Ⅲ 正味財産の部	
正味財産	**290,976,331**
負債及び正味財産合計	**332,303,664**

すぐに役立つ建築技術者へのガイド

施 工 計 画 編

藤 井 孝 晏 氏
(株)大林組本店建築工務部技術課長

高 橋 憲 昭 氏
(株)松村組大阪本店工務部次長

施工計画は、施工者側の責任において計画、実施するもので、本体工事をいかに能率よく、品質を確保し、安全で経済的に施工するのかの鍵をにぎっています。これにいかに合理的に対処していくか、その要点をわかりやすく説明します。

と き　平成３年８月28日(水)　午前９時～午後５時
ところ　建設交流館・６階・603室
(大阪市西区立売堀２丁目１番２号・Tel06－543－2551)
定 員　100名
会 費　10,000円(テキスト代、消費税を含む)

積算・仮設見積編

橋 目 福 司 氏
(株)竹中工務店大阪本店見積部見積課長

水 落 和 則 氏
(株)大林組本店建築工務部技術課長

見積業務で算出される数量積算の基本を修得することは、コストの面から現場を管理する上で重要です。この講習では、現場でのコスト管理を合理的に行えるように積算業務を解説します。また、仮設は後に残らないため軽視されがちですが、仮設費は大きな比率を占めています。単に面積当りとか請負金比率という概算でなく、計画に基づく合理的で迅速な見積り方法を解説します。

と き　平成３年９月25日(水)　午前９時～午後５時
ところ　建設交流館・６階・603室
(大阪市西区立売堀２丁目１番２号・Tel06－543－2551)
定 員　100名
会 費　10,000円(テキスト代、消費税を含む)

趣旨と内容

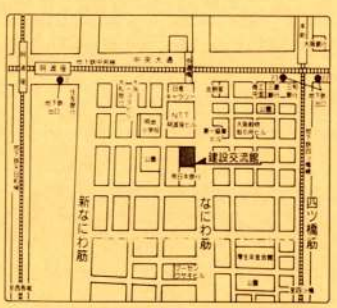
- 官公庁・設計事務所・建設業をはじめ、設備・営繕など幅広い分野の有能な技術者を養成する目的をもって表記講習会を開催します。
- とくに取りつきにくい施工計画と仮設見積、現場実務の基礎である積算業務に重点をおき、講義します。
- また、都市環境の変化に伴う法令・規準の改正なども加え、技術の進歩に即応した最新の知識の修得をはかります。
- 「積算・仮設見積編」では、実例として、ＲＣ造・地下１階・地上５階建事務所ビルをとり上げ、わかりやすく解説します。

申 込　下記受講申込書の受講希望科目を線で囲み(両科目とも受講される場合は、両方を線で囲んで下さい)、必要事項をご記入の上、会費を添えて本会事業課までお申込み下さい。(銀行送金・郵便振替も可)
引替えに受講券を発行致します。

申込締切日　(施工計画編)：８月21日(水)　(積算・仮設見積編)：９月18日(水)
※但し、定員に達し次第締切ります。

(社)日本建築協会
〒530 大阪市北区梅田1丁目1番3-2100 (大阪駅前第3ビル21階)
ＴＥＬ (06)348-0633(代表) ＦＡＸ (06)348-0634
・受付時間　毎日、午前9時半～午後5時半但し土・日・祝日を除く。
・詳細は、事務局事業課へお問合わせください。

郵便振替口座 大阪 1－3 9 9 7 5
住友銀行高麗橋支店(普通No.860034)
三和銀行 瓦町 支店(　〃　210054)
大和銀行 北浜 支店(　〃　272234)



キ リ ト リ 線

平成３年度　建築工事実務講習会

受 講 申 込 書

No.

社団法人　日 本 建 築 協 会 御中

平 成 ３ 年　　月　　日

郵便番号	受講者氏名	年令	受講希望科目 ※両科目とも受講される場合は、両方を線で囲んで下さい。	
住所			施工計画編	積算・仮設見積編
事業所名(または氏名)			施工計画編	積算・仮設見積編
担当責任者			施工計画編	積算・仮設見積編
電話番号			施工計画編	積算・仮設見積編
会費支払方法　・持参　・現金送金　・銀行振込　・郵便振替　いずれかに○印を付して下さい				

※ 受講申込書が足りない場合は、複写して下さい。

◀通常総会決議報告

平成３年６月26日開催の通常総会において、下記議案がそれぞれ原案のとおり承認されたので、ここに会告します。

記

(1)平成２年度事業報告並びに決算報告承認の件（本号掲載）
(2)平成３年度事業計画並びに収支予算承認の件（４月号会告済）

◀定時評議員会決議報告

平成３年６月26日開催の定時評議員会において、下記のとおり決定されたので、ここに会告します。

記

(1)平成２年度事業報告並びに決算報告承認の件（本号掲載）
(2)社団法人日本建築協会細則の一部を改正する件
第11条中「理事45名」を「理事46名」に改める。
第14条中「研修（５名）」を「研修（６名）」に改める。
(3)理事３名補選の件
新任理事　藤川　和孝（大阪府建築部）
〃　川島　繁三（住宅・都市整備公団）
〃　菅谷　節（ダイダン）
退任理事　城　憲一（住宅・都市整備公団）
平尾　勝（ダイダン）

◀会員の受賞

このたび、下記会員の諸氏は、建設界における多年の功績によって、建設大臣より表彰を受けられました。
ここに誌して、その栄誉をお慶び申し上げます。

記

安藤　清氏（大成建設代表取締役副社長）
今村　治輔氏（清水建設代表取締役社長）
加賀美　彰氏（間組代表取締役副社長）
加藤　修氏（佐藤工業代表取締役副社長）
勝田　悦之氏（大林組代表取締役副社長）
巽　圭吾氏（弘電社取締役社長）
土肥　稔氏（大成建設常務取締役）
長井　謙介氏（浅川組代表取締役社長）
樋口　吾一氏（樋口組代表取締役社長）
真柄　敏雄氏（真柄建設代表取締役社長）
松下　忠夫氏（西松建設代表取締役副社長）
柳井　至氏（戸田建設代表取締役副社長）

■訂正とおわび

「建築と社会」1991年６月号「毎日放送本社ビル」特集の本文「建築」（P84～87）の執筆者に誤りがありました。下記のように訂正して、おわびいたします。
誤　「建築」　渡辺豪秀・藤井詔一・安江　広
正　「建築」　**中井　進・渡辺豪秀・藤井詔一・安江　広**

日本建築協会企画図書目録

日本建築協会創立60周年記念事業
建築技術選書　発行：学芸出版社

NO	書籍名	税込価格
1	茶室の話（岡田孝男著）	¥1,339-
8	建具の知識と意匠（山片三郎著）	¥1,339-
9	エレベータ（木村利雄著）	¥1,339-
13	医院・診療所の計画と設計（池田有隣・船越暉由著）	¥1,339-
15	PC建築の話（下伊豆隆三著）	¥1,236-
16	石垣と石積壁（窪田　祐著）	¥1,339-
17	基礎と地盤の手ほどき（中堀和秀著）	¥1,339-
20	タイルの話（田中　弘著）	¥1,339-
24	鉄骨構造の話（金多潔・甲津功夫・西澤英和著）	¥1,339-
27	建築積算業務（生島道春著）	¥1,442-
28	建築金物の知識（立野一郎著）	¥1,339-
29	瓦と屋根構造（佐藤滋朗著）	¥1,442-
32	建築塗装の手引き（児島修二著）	¥1,442-
33	建築式典の実際（若林嘉津雄著）	¥1,339-
38	住宅の照明（大島　博監修）	¥1,442-

日本建築協会創立70周年記念事業
選書特装版　発行：学芸出版社

NO	書籍名	税込価格
1	構造コストと経済設計（須賀好富著）	¥3,605-
2	建築設備の健康診断（牧野　茂著）	¥3,914-
3	新・建築と設備の接点（宮脇　毅・南部　武著）	¥3,605-
4	外壁構法チェックリスト（飯塚五郎蔵著）	¥3,399-
5	建築デザインのための構造計画（須賀好富著）	¥2,884-
6	場所打ち杭の設計と施工（阪口　理著）	¥3,296-

日本建築協会創立60周年記念事業「建築技術選書」姉妹篇
〈プロのノウハウ〉シリーズ　発行：学芸出版社

NO	書籍名	税込価格
1	TQCから見た建設業（荒木睦彦著）	¥1,648-
2	躯体工事監理のチェックポイント100（須賀好富著）	¥2,060-
3	パソコン会計術（西部明郎著）	¥1,854-
4	建物の値打ちの高め方（小林清周著）	¥1,751-
5	空調設備のトラブル50（建築設備トラブル研究会著）	¥2,060-
6	衛生設備のトラブル50（建築設備トラブル研究会著）	¥2,060-
7	火災安全学入門（岡田光正著）	¥1,700-
8	現場マンのアイデア発想（合原一夫著）	¥1,854-
9	建築基準法の実際（矢吹茂郎著）	¥1,854-
10	工務店の税金対策100ポイント（建設税務研究会著）	¥1,854-
11	工業化住宅・考（松村秀一著）	¥2,060-
12	鉄骨工事の現場学（石田満裔著）	¥2,060-
13	建築紛争の実際（岡本辰義著）	¥1,854-
14	仕上工事監理のチェックポイント（監理業務研究会著）	¥2,060-
15	ゼロ災への道（表　一郎著）	¥1,648-
16	木造住宅のしくみ（浅野平八・東　敏博著）	¥2,060-
17	コンクリート工事のチェックポイント100（加賀秀治著）	¥2,060-
18	インテリアコーディネートの100ポイント（町田ひろ子監修）	¥1,648-
19	建築基準法を読みこなすコツ（高木任之著）	¥2,060-
20	ニュー組積建築のすすめ（福嶋孝之著）	¥2,060-

日本建築協会事務局でお求めの場合、建築技術選書と〈プロのノウハウ〉シリーズが100円割引き、選書特装版が200円割引きでおのおの頒布しておりますのでせいぜいご利用下さい。

「建築と社会」誌21年●特集一覧——昭和46年～平成３年

「建築と社会」誌は昭和42年からＡ４変形判となり、特集と作品作風頁を二本柱に、シリーズものの頁を織り込み、その時の社会を反映したテーマを選んで掲載してきた。売価は980円（消費税込）。購読希望者は事務局（06—348—0635）へ。

＊は欠号

巻号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和46年（52集）	住宅—60年代の総括と70年代の展望	＊都市エネルギと無公害化ビル	＊建築基準法	＊都市生活とみどり	＊企画と設計のプロセス	＊解体工学	都市と港湾	＊転換期のニュータウン	＊軟弱地盤と震災	＊変貌する建築生産	＊第18回青年技術者	＊自然とレジャ空間
昭和47年（53集）	冬期オリンピックと札幌	＊600号記念号	＊インテリアデザイン	＊都市交通問題	＊水利用	＊量産住宅の設備	＊一般号（桂中学）		＊都市住環境へのアプローチ	＊都市防災	＊第19回青年技術者	＊北陸の新建築
昭和48年（54集）	建築教育	＊泉北ニュータウンのコミュニティ施設	＊大阪大林ビルディング	＊レジャーと施設	＊大阪国際ビルディング	＊老人コミュニティ	住宅—建築家のすまい	＊新用途地域制と環境	＊構造と施工	＊仕上と材料	＊第20回青年技術者	＊ヨーロッパのまちづくり
昭和49年（55集）	歴史的環境保全	＊明日の建築はどうなるか	＊保養所作品	既成市街地の住宅地整備の方策	＊北摂ニュータウン計画	建築生産と流通機構の変容	ビルの省エネルギ化	高層プレハブ住宅の構造設計	＊みどり	＊屋根防水工事の失敗例とその対策	＊第21回青年技術者	ビル防災に関する12章
昭和50年（56集）	図書館	＊東海の新建築	＊インテリア	PC板を使用した工業化住宅	＊社会・建築・法	都市の景観と施設	建築とプレストレストコンクリート	生活排水処理施設のあり方	＊人間環境としてのターミナル	騒音対策と防音材料	＊第22回青年技術者	＊集合住宅の設備
昭和51年（57集）	＊証言'76—建築デザインの動向	＊建築基礎構造の問題点	＊医療施設	床工法と材料	＊建築防災と法	＊市街地整備	工場建築と設備	鉄骨構造のジョイント	＊集住体のハードとソフト	結露防止対策と断熱材料	＊第23回青年技術者	設備からみた建築の問題点
昭和52年（58集）	＊デザインの動向—部分と全体	兵庫県—その風土と建築・建築界	●日本建築協会60周年記念号 ●ニュータウンの管理	コンクリートの品質管理と行政指導の方向	日影規制と法	＊身障者施設	＊照明設備	埋立地における構造問題—大阪南港と芦屋浜を例として	日本住宅公団と建築作品	＊ミニ乱開発から計画的ミニ開発へ	建築における省エネルギー化	＊第24回青年技術者
昭和53年（59集）	デザインの動向—新旧のコントラスト	＊水	医療施設—病院建築と情報システム	外壁塗装材料	＊電波障害と建築	組合方式による集合住宅計画	住宅設備	新しい耐震設計	CAD—設計とコンピュータ	＊一般号	＊第25回青年技術者	ビル環境
昭和54年（60集）	＊転換期の再開発	大阪南港ポートタウン	商業空間	コンクリートのひびわれ	＊日影規制	ホテル建築と情報システム	農村施設の変貌	＊建物の終局強度の検討	＊庄内のまちづくり	＊80年代のインテリア	＊第26回青年技術者	＊建設業の労務事情
昭和55年（61集）	＊80年代の都市と建築—まちづくりの歴史と展望	＊●今後の省エネルギーの趨勢 ●建築金物	＊●最近の銀行建築 ●安井建築設計事務所作品集	住宅の耐久性	＊建築行政と法規	＊最近の防水工法	＊都市景観とアメニティ	＊屋内体育施設の設備	水ぎわのまちづくり	今後の外装吹付仕上材	＊●第27回青年技術者 ●転機にたつマンション集合住宅	＊設計のための新耐震設計法
昭和56年（62集）	＊職能論	＊中国の論文—北京の都市計画	＊ポートピア'81	＊台所まわりの計画と設備	＊シーリング材の知識	＊災害と法—安全な環境をめざして	＊都市住宅—住まい手からの発想	＊●建築物と風—デザイナーのために ●日建設計作品集	＊住宅都市整備公団—関西における都市整備を中心とした新公団の役割	＊間仕切壁の性能評価	＊第28回青年技術者	障害者の暮らしやすい環境と設備
昭和57年（63集）	＊新たな商業空間の展開	＊省エネルギーと開口部	＊医療施設地域医療と設備計画	＊近畿の地盤と地質	＊都市景観—まちなみ美観への誘い	＊大阪市庁舎（第一期）	＊音とホール建築	＊大スパン構造	＊昭和設計作品集	●絵本にみるすまいとまちづくり ●オー・エム・ホテル日航ビル	●第29回青年技術者 ●地方の庁舎建築	＊風土・空気と人間
昭和58年（64集）	関西の建築文化を考える	マイコンの建築への利用	＊多様化する運動施設	建築と品質管理	計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション	大阪駅とターミナルビル	維持管理と設備更新	東海の将来と文化を考える	オフィス・インテリアの変革	プレストレスト（鉄筋）コンクリート構造	＊●第30回青年技術者 ●大阪国際文化スポーツホール	集合住宅と生活音
昭和59年（65集）	21世紀への関西—魅力あるまちづくりを問う	関西の超高層ビル	ビルのリフレッシュ—内外装補修技術の現状と発展—	建設産業とロボット開発	住環境と法制度	●まちの活性化と商業空間 ●京都駅南口（アバンティ）	消防設備のポイント	みどりとそれをとりまく人々	高齢化社会と生活空間	床の構工法	●第31回青年技術者 ●ディテールの思想	光応用システムと建築
昭和60年（66集）	＊大阪湾物語	東海の現在と近未来	●自由様式への道—建築家安井武雄 ●建築物の基礎を考える	情報化をめぐる建築・都市事情	ホール—それが生み出す文化—	建物の表情—最近の外壁材料	大阪国際見本市新会場	●建築と水の演出 ●神戸研究学園都市	都市と健康スポーツ	●接合 ●日建設計作品	●村野藤吾の一断章 ●東海特集	第32回青年技術者
昭和61年（67集）	これからの住空間—都市型集合住宅にみる	屋根—そのデザインと素材	●現代デザイン—ポストモダニズム10年 ●これからの防水工法	インテリジェントビルの建築・設備計画	自治体営繕と公共建築	●建築防災と法 ●大阪市庁舎	21世紀の住居と設備	●開発 ●ツイン21	CAD—その応用と展開	オフィス空間の構成	第33回青年技術者	インテリア・イクステンションとリニューアル
昭和62年（67集）	入浴物話	腐食	創立70周年記念号	躍動する東海へ	●貯蔵・保管施設 ●大阪府立体育会館	室内の仕上床	駅	行政建築家の可能性	シティホテルの設備	宝塚のまちづくり	●建物と街並みの接点 ●昭和設計作品集	第34回青年技術者
昭和63年（69集）	ホテル物語	●軟弱地盤と基礎 ●文化と伝統—東海からの報告	●設備におけるLCCとリフレッシュ ●東畑建築事務所作品集	＊建物の外装リフレッシュ	都心居住	中国地方の展望とひろしまのまちなみ	21世紀への照明	制振	超高層住宅を考える	●大阪府営繕 ●集合住宅のリフレッシュ	●第35回青年技術者 ●800号記念	讀賣テレビ
昭和64年 平成元年（70集）	夢をのせる輸送設備	●竹中工務店創立90周年記念 ●リゾート事情	＊●色の復権 ●東海の新建築と伝統技術	省力化のための材料・工法	まちづくりと法	博覧会とまちづくり	都市環境創造と設備Ⅰ	建築とアート	●構造の省力化 ●鹿島建設大阪支店建築設計部作品集	●都市環境創造と設備Ⅱ ●ユーザー参加のハウジング	第36回青年技術者	最近の博覧会パビリオン
平成２年（71集）	＊商業化住宅のデザイン	ニュータウン・ルネサンス	東海の都市景観	スケール感	プレハブ住宅技術の現在と未来	国際花と緑の博覧会	建築家のための設備知識—中規模オフィスビルによるケーススタディー	＊高強度化—設計の多様化をめざして—	やわらかな住宅管理・ユーザーの役割	●都市のナイス・プレイス ●兵庫県営繕の歩み	＊●第37回青年技術者 ●和歌山県の展望と景観	感性の時代を迎えての外装材
平成３年（72集）	新しい都市空間づくり—Ⅰ—	●オフィス・プレジャー— ●新しい都市空間づくりⅡ— ●建築の風景	東海支部復活30周年記念	大阪東京海上ビルディング	●今、京都 ●建築家のための設備知識—複合商業ビルにおけるケーススタディー	●建築と土木 ●毎日放送本社ビル ●近畿地方建設局営繕部	一般号	●建築をめぐるトラブル ●建設現場のイメージアップ作戦	●空間のアイデンティティ ●大阪市の住宅政策への提言	●建築と土木（構造篇） ●大林組創業100年記念	第38回青年技術者	

1917創刊
1991
72集

建築と社会 CONTENTS

© ARCHITECTURE AND SOCIETY
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

7 通巻 832

会告

青年技術者のみなさまへ．平成２年度事業報告書・決算報告書．平成２年度実務講習会．通常総会決議報告．定時評議員会決議報告．会員の受賞 —— 3

作品作風

和歌山丸正百貨店本館 —— 設計施工：鹿島建設大阪支店 —— 12

大阪府立岸和田高等学校セミナーハウス —— 設計：大阪府建築部営繕室 —— 16
監理：大阪府建築部営繕室・大阪府建設監理協会・土屋総合設計
施工：塩谷建設

姫路市職員会館 アンドーネ —— 設計：昭和設計 —— 18
監理：姫路市営繕課
施工：熊谷組・三木組共同企業体

琵琶湖コンファレンスセンター —— 設計施工：戸田建設大阪支店 —— 20

松下電器産業株式会社淀川寮 —— 設計監理：東畑建築事務所 —— 22
施工：東急建設・東海興業共同企業体

南本町鈴木康ビル —— 設計施工：大林組 —— 24

都島メイプルビル —— 設計監理：ジャス —— 26
施工：豊島建設

大和田佐野医院 —— 設計監理：創美設計 —— 28
施工：冨士工大阪支店

ART PROCESS
八木マリヨ —— 30

being
岡田実成 —— 32

書評
「ジャパニーズ・ドリームの再構築」にむけて読まれるべき建築書／湯川利和 —— 34

ブックステーション
短評５冊／稲木裕子．大沢智弘．佐野　洋．増渕昌利 —— 35

新建材紹介コーナー
天然スレート屋根システム「ペルム」／猪野達雄 —— 37

法令コーナー
ベイエリアの防災対策／志摩宣彦 —— 38

GBRCニュース
ゴルフネットの風力係数 —— 39

建築の眼
都市の中の緑／安田丑作．住宅、住環境と生活／川上昌男．人工島にできる職住共存の町／猪倉啓行．建設労務者の待遇改善／中村俊雄 —— 40

見学会レポート
RESORT ISLAND 淡路島―講演会と見学会１泊２日の旅／中川　滋 —— 46

構造の頁194
センチュリータワーの構造設計／清水敬三 —— 48

設備の頁195
クリスタルタワーにおける総合情報ネットワーク制御システム／井上良則 —— 49

月報
平成３年５月分 —— 51

INFORMATION
維持保全、改修を表彰する制度『BELCA賞』創設．「ペレストロイカ―ゴルビーの家」コンペ入賞者決まる．21世紀の住まいを考えるシンポジウム開催．建築デザイン会議'91 ON THE SEA開催．国際建築資材・設備見本市「コンストラクタ'92」開催．大阪芸術大学建築学科25周年記念行事．兵庫町並みゼミ '91但馬竹田、９月に開催．第１回「出雲建築展」で出雲の再確認を．「第２回京都市都市景観賞」すいせん募集．INAXギャラリー大阪企画展「オリエントのやきもの展」—— 52

「建築と社会」7月号表紙
デザイン・白子正人
（グラフィックデザイナー 日本タイポグラフィ協会会員）

今月号、モチーフにさせていただいたのは姫路市職員会館アンドーネである。「シンメトリーの美」を感じさせるこの建築の持ち味を上手く生かして撮られた写真をコンピューターにとり込み、手を加えていった。
一般的な「シンメトリー」のイメージワードは、静的、安定感、伝統、信頼、安心といったところであろうか。それらのイメージを包括してなお、美しくバランスのとられた建築物であると思う。
カラーリングは若竹色。

■特集予告
8月号／建築をめぐるトラブル
建設現場のイメージアップ作戦（仮称・予定）
きんでん

会　長　佐野正一
副会長　金多　潔・菓袋公明
　　市川　宏・鴻池藤一
編集委員会（平成３年度）
■編集理事
井上　豊／金井　弘次／川島　繁三／小島　雄／須賀　好富／竹中　練一／深江　實／松村　慶三／溝神宏至朗／若山　繁
■編集委員長
溝神宏至朗
■編集顧問
東　孝光
■編集委員
★計画系分科会
☆計画系
梅村　宏尚／河端　秀直／小浦　久子／鈴木　克彦／田中　直人／中井　省吉／松川　敏正／山尾　弘子／横関　真紀／吉村　英祐
☆建築計画系
石山　道男／磯村千恵子／上杉　秀隆／江副　敏史／菅野　忠司／○北村　潤／黒川　明彦／※佐藤不二男／塚本　史郎／刃金　国男／山本　匡／吉羽　逸郎
☆インテリア・住宅系
大森　智子／大橋眞由美／加藤　力／角方　利幸／※神谷　剛／○北浦かほる／駒田　哲男／中村　孝之／西川　純一／福田　由利
★構造分科会
稲葉　繁夫／○角　彰／多賀　謙蔵／野村外喜夫／馬場　研介
★設備分科会
池田　秀行／遠藤　進／大田　克彦／梶井　宏修／河津　隆之／○伊達　正雄
★施工材料分科会
有光　利治／植田　実／小椎八重猛／志水　史典／松村　衛／○村上　信直
★法令分科会
稲継　典彦／岩田　純一／樫田　攻／○佐藤　勝／高見　成志／中島　弘志
■作品作風小委員会
荒川　朱美／遠藤　公介／尾崎　久純／岡本　隆／※北澤　修一／田中　均一／富田　昌義／福地　一彦／前川　治彦／松田　善弘／松村　衛／○宮下　幹雄／水川　尚彦
■会員企画小委員会
伊藤　郁郎／稲木　裕子／尾崎　俊文／大沢　智弘／北村　恭一／グレッグ　ホール／小板橋鉄雄／小林　孝一／※佐伯由紀子／佐野　洋／○高田　光雄／※高橋　麗子／塚口　明洋／増渕　昌利／山嵜　章子
■広告企画小委員会
※池渕　俊男／上井　善一／衣川　徳好／○佐野　寛志／山東　晃／下村　甫／原田　常介／藤田　孝吉／山下　修司
○印　副委員長と幹事　※印　同代行

印　刷　平成３年７月20日
発　行　平成３年７月25日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06―348―0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06―606―1111㈹
青葉印刷株式会社
電　06―351―5428㈹
定　価　980円（本体価格951円・送料共 消費税29円）

和歌山丸正百貨店本館

企画、ＭＤ　丸正リフレッシュ室･鹿島建設･エルゴ･丹青社
設 計 施 工　鹿島建設大阪支店
店舗設計･施工　エルゴ･丹青社大阪支店

電気設備　きんでん・住友電設JV
衛生設備　須賀工業・トーヨコ 理研JV
空調設備　須賀工業・住友電設・トーヨコ理研JV
昇降設備　三菱電機・フジテック



全景



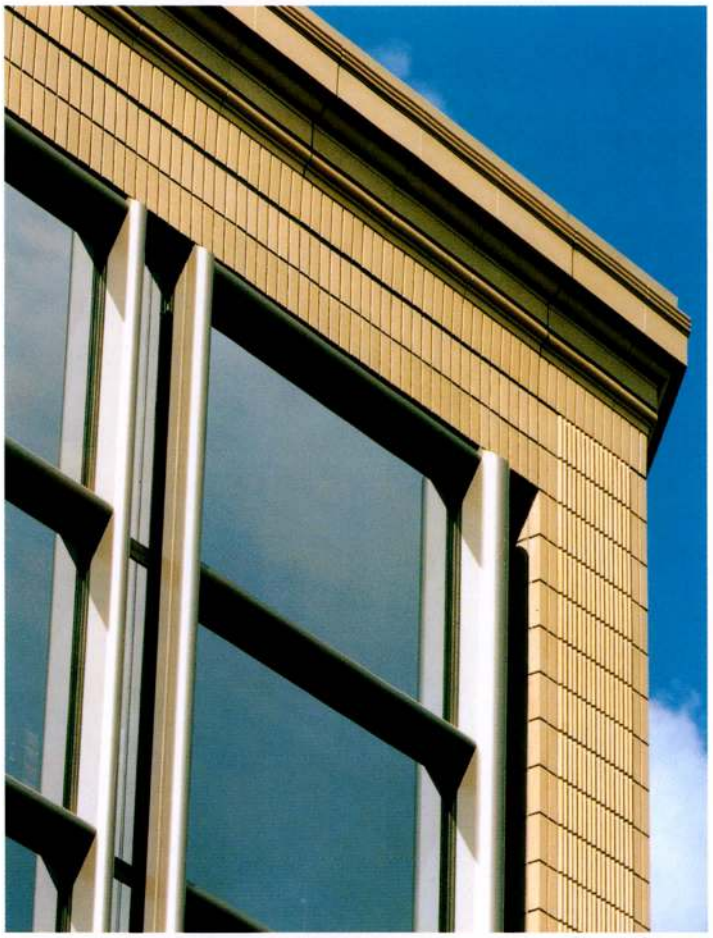
エントランス



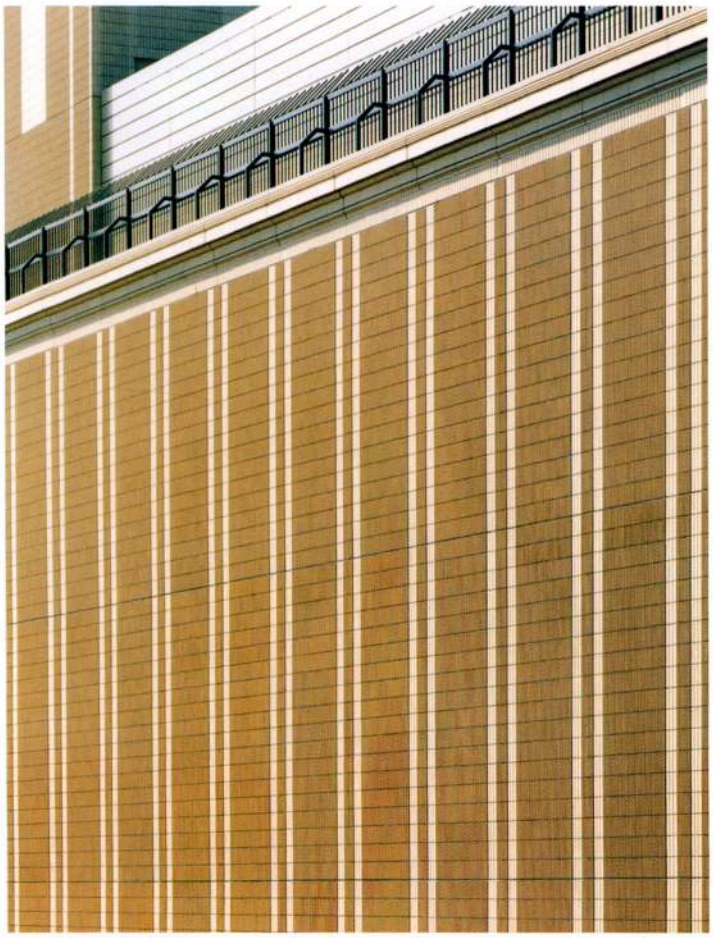
外観(夕景)

所 在 地　和歌山市本町２丁目１番地 他
敷地面積　3,712.56㎡
建築面積　3,272.66㎡
延床面積　24,042.10㎡
構造規模　SRC、7F、B1、PH1
工　　期　1989年３月～1990年９月
最 寄 駅　JR阪和線和歌山駅　南海電鉄和歌山市駅

撮　　影　SS大阪・ナカサ&パートナーズ



ディテール



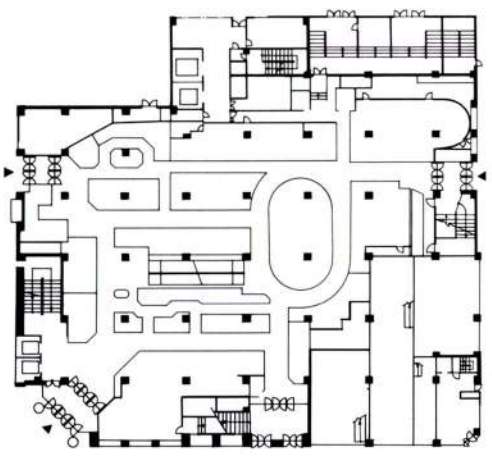
ディテール



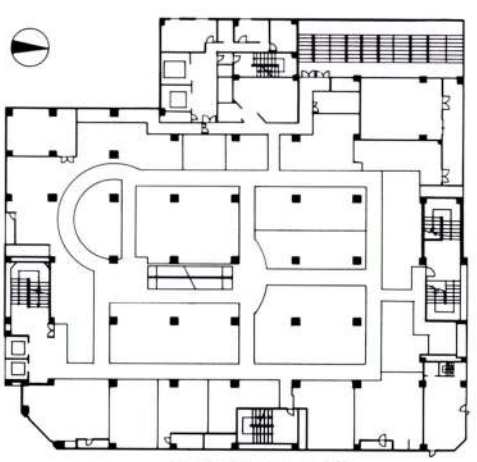
ショーウインド廻り



店舗(1F)



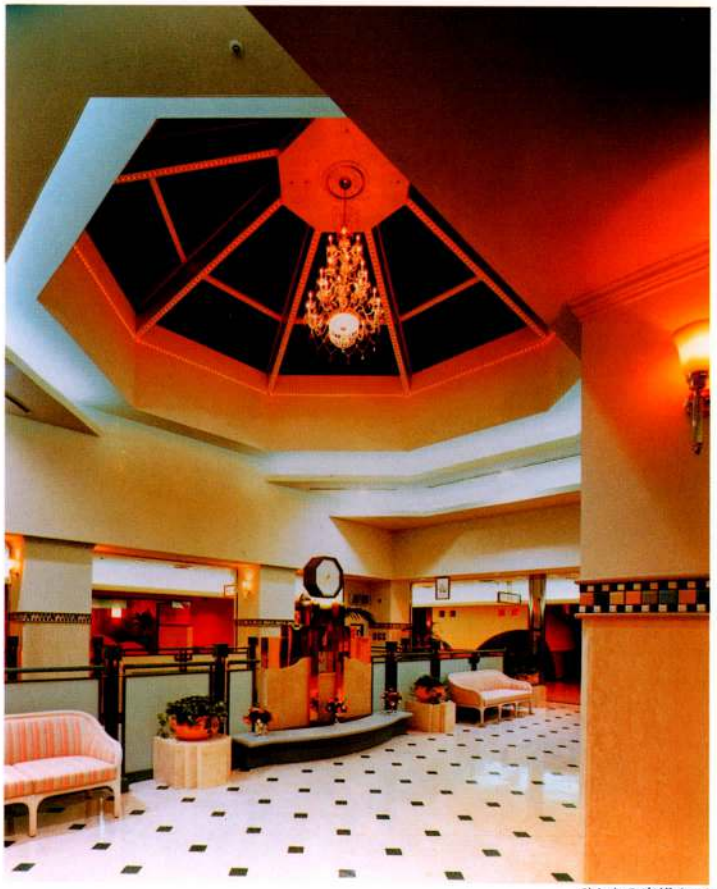
1階平面図　1：1000



基準階平面図　1：1000



エントランス



ひかりの広場(7F)

丸正百貨店は、今年創業100年を迎える、和歌山市に密着した老舗百貨店である。イタリアン・クラシックの建築様式を模した風格ある既存建家を、周辺の駐車場整備も含め、1986年から〝RM－100〟―丸正100周年リフレッシュ―として、全面建替する当プロジェクトが始まった。

現地調査で訪れた本町通りは、当時歩道もなく、雑然とした通りであった。市の中心、中央商店街の活性化の担い手として、単に建物の建替ではなく、街の環境整備・再生の点から、施主と共に、壁面後退の提案など、周辺地権者への協力折衝からスタートした。途中市政100周年記念事業として、本町通りの歩道整備が決定し、街づくり、周辺環境整備の規範となる様な計画が実現した。

建物の建替に当っては、永年親しまれた丸正の歴史を尊重し、ネオクラシシズム＝新古典主義のコンセプトで旧店舗の持つイメージを、今日的にアレンジしている。彫りの深い石貼・テラコッタ、リズミカルな縦配列のリブタイルなど、派手さをおさえた、格式と重厚さが伝わる外観としている。

内部環境においても、コンセプトに基づき、居心地のよいエレガンス＆サロン的展開で、統一されている。

今日、本格的都市型百貨店の再生と、本町界隈の快適な歩行空間の整備により、街行く人々に、親しまれ、高い評価と支持を得ている様である。

（赤対清吾郎／鹿島建設）



店舗(3F)

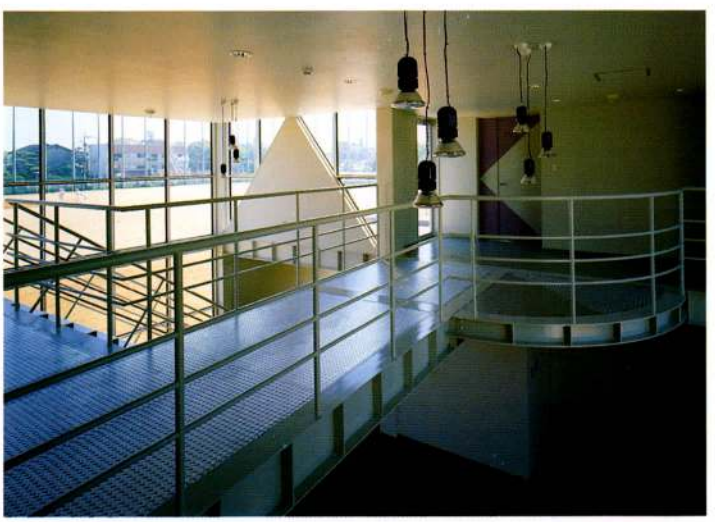


エレベーターホール(1F)

大阪府立岸和田高等学校セミナーハウス

設計　大阪府建築部営繕室
監理　大阪府建築部営繕室・大阪府建設監理協会・土屋総合設計
施工　塩谷建設





セミナーハウスは、家庭教育と学校教育といった言わば分断された空間・時間の中で行われる現在の教育システムの枠組を超え、生徒と教師が寝食を共にしながら、非日常的空間・時間のなかでの集団宿泊研修を通じて、より一層の生徒相互、生徒と教師相互の人間関係を深め、生徒の自主的、自発的な生活態度の育成を図る場であると言える。従って、そこでの研修内容は、授業のような静的な講義形式の研修だけでなくアクティビティーの高い研修形態をとることが考えられる。

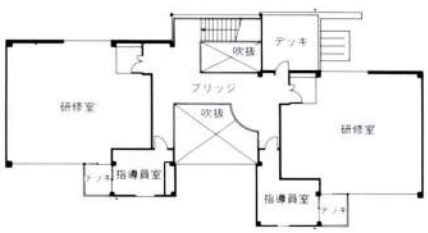
本計画では、研修室を上記の観点から捉え、静的及び動的な研修形態に対応するため、研修室とホールを隣接させて、スライディングウォールで間仕切り、一体利用が可能なように配慮するとともに、立地が岸和田城に面したグランド内で、バックネットからライトウィング約70mの位置であるため、研修室は、単独利用する場合にディスターブされないようグランド側をコンクート壁で遮蔽し、岸和田城に向いて開かれている。

またホールは吹抜けとし、そこにブリッジを架けたダイナミックな空間構成とし、南北から光を取り入れ、外部(岸和田城・グランド)との視覚的連続性をもたせ、アクティビティーを保証している。宿泊室は岸和田城を真正面に眺望できる2階とし、相互をブリッジで繋いでそれぞれの独立性を確保した。　　(大川和彦／大阪府建築部営繕室)

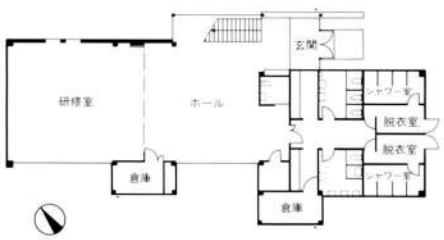
所 在 地　岸和田市岸城町10−1
敷地面積　14,515.70㎡
建築面積　285.15㎡
延床面積　498.84㎡
構造規模　S、2F
工　　期　平成2年10月〜平成3年3月
最 寄 駅　南海本線 蛸地蔵駅

撮　　影　松村芳治





2階平面図　1：500



1階平面図　1：500



南側 正面エントランス

姫路市職員会館 アンドーネ

設　計　昭和設計
監　理　姫路市営繕課
施　工　熊谷組・三木組共同企業体



配置：1階平面図　1：800

所在地　姫路市安田4丁目1番地
敷地面積　3,645.92㎡
建築面積　2,131.67㎡
延床面積　8,215.23㎡
構造規模　SRC、B1F、7F
工　期　1990年1月～1991年3月
最寄駅　JR山陽本線 姫路駅

撮　影　SS大阪

姫路市職員会館は、市政100年を期して建設された市職員のための研修・厚生施設である。

内容は、1階が玄関ロビーと健康増進センター、2階は体育館とトレーニングジム、3階が職員研修所、4階は大小会議室、5～6階は市の外郭団体等への貸事務所、7階に職員用のクラブ室や和室・庭園等となっている。いわば隣接する市庁舎のバックアップ機能を集大成した、複合的な施設として位置づけられる。

配置計画としては、南正面にＳＲＣ7階建の事務所棟を置き、その北側にＲＣ3階建の研修棟とＲＣ2階建一部Ｓ造の体育館棟を並べて置いた。そしてそれらの間を、廊下やＥＶ階段等の交通部分に充てた。

機能構成は、各階毎のゾーンニングを原則とすることで、来訪者への解り易さと利用者にとっての利便性を配慮している。

全体の形は、南側に隣接する市庁舎を意識した指向性の高いものとし、デザイン的にも施設内容を鑑みて、際立ったものをねらった。花崗岩の基壇・単窓・左右対象の門型ファサード等のことばを用いて、重厚さと厳格さを演出する一方で、外壁の600角大型タイルを濃淡の横ストライプとしたり、2層吹抜3方ガラス張りで前面広場と玄関ホールを一体化、柱やポイント色にパステル系の色を用いたりということで、反対に軽快さ柔和さを同時に持たせようと考えた。公共建築のもつ剛と柔の2面性を端的に表現し、単純さや無味さをできるだけ排除した、個性のある建物をめざして設計した。

（池本　裕／昭和設計）



正面外壁はゆるくカーブしてひとを迎える



2層吹抜の玄関ホール・ロビー



4階会議室（貴賓室）



桂離宮卍字亭をコピーした屋上あずまや



北東より体育館棟を見る



玄関アプローチ



中庭



北西面外観

琵琶湖コンファレンスセンター

設計施工　戸田建設大阪支店

所 在 地　滋賀県彦根市新海浜２丁目１−１ 他
敷地面積　4,375.92㎡
建築面積　1,756.69㎡
延床面積　5,235.20㎡
構造規模　RC、B1F、3F
工　　期　平成２年５月〜平成３年４月
最 寄 駅　JR東海道本線 能登川駅

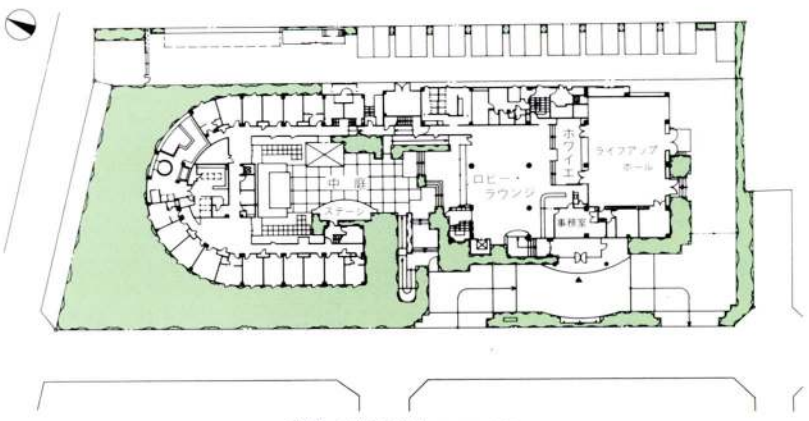
撮　　影　フォトスU

この建物は、彦根市と近江八幡市のほぼ中間の琵琶湖岸の風光明眉な場所に位置しています。この様な立地を生かし、岩谷グループ及び一般の方々をも対象としたリゾートホテル型の研修施設であるコンファレンスセンターとして計画しました。

従来からの研修施設のもっている堅いイメージから脱し、安らぎのある空間を提供しつつ、将来対応をも含めた最新の設備を装備しています。

岩谷産業株式会社のコンファレンスセンター事業の第一弾でもあり、ハード・ソフト共充実した、今までにはない施設内容を提案し、より多くの方々に利用して頂ただけるように計画しました。

（山本清彦／戸田建設）



配置・１階平面図　１：1,200

ロビー・ラウンジ



ツインルーム（体験宿泊室）



レストラン



ライフアップホール



松下電器産業株式会社淀川寮

設計監理　東畑建築事務所
施　　工　東急建設・東海興業共同企業体

所 在 地　大阪市淀川区野中１丁目４－40
敷地面積　4,897㎡
建築面積　2,331㎡
延床面積　13,725㎡
構造規模　SRC、10F、P2
工　　期　平成２年２月～平成３年３月
最 寄 駅　阪急電鉄 十三駅

撮　　影　花城辰男

本建物は、松下電器産業株式会社のCI〝可能性発見企業 Human Electronics〟と〝うちなる光……今知恵に〟をコンセプトとした独身寮である。全体プランニングは、プライバシーとコミュニケーションのある開放的な空間創りの位置づけのもとに、個室ゾーンとパブリックゾーンを２階ホール吹抜空間を媒体として、光の道を壁面と天井に内包させ、単なる食する眠るの生活の場ではなく、それぞれのヒューマンパーソナルマインドを重視し、組織から独立した自由な存在で知識知恵を学び、遊び、鍛え、集う仲間なる意識を持たせた形態と動線を考慮しました。

寮室はスパン6.3mを３等分し、室/人13.5㎡、392室とし、可能な限り壁面に収納家具を造り付け、カードキー・洗面ユニット・個別空調・ダイヤルイン・ＢＳ受信等の設備とし、トイレ、バスはあえて共用のふれあい場として計画しています。

前述の光の道を、さりげないコミュニケーションを行い得るようフォルムと装飾でオーバーラップさせ、プライバシーのための個室空間から吹抜空間へ移行する際の出会いの道としてとらえました。そしてここから発信される穏やかな光を、ラウンジ・サロンそしてロビー空間に与えることにより、共用空間に繰り広げられるスペースの混在、人の流れの交錯などと光の道が融合し新たなる人々のつながりと知恵とが各パブリックスペースに呼応する……。

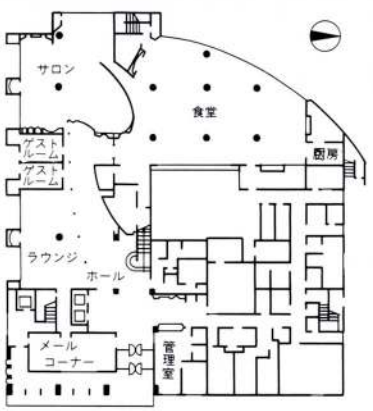
そんな空間構成を感じていただければ幸いです。

（本持一博／東畑建築事務所）



寮室

1階ホール



1階平面図　1：1000



2階平面図　1：1000



1階サロン

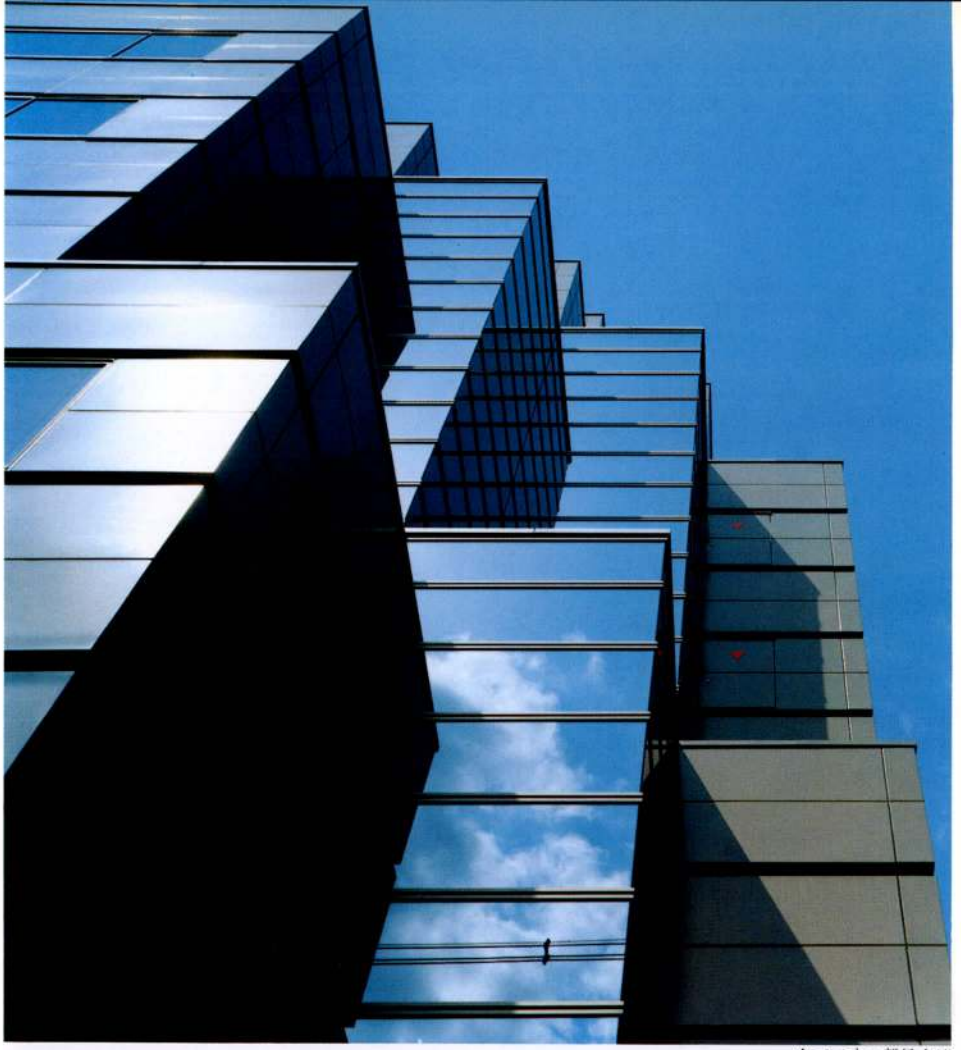

鈴木康BLG
梁川歯科
小川眼科

南本町鈴木康ビル

設計施工　大林組

この建物は、タオル卸を専業とする鈴木康株式会社が、船場の発祥の地に建設したオフィスビルである。低層階の4フロア及び最上階を本社用途とし、他のフロアを貸事務所としている。
敷地が交差点の角地であることから、直交する道路斜線に対して、それぞれにセットバックした建物形態を採っている。またコーナー部にミラーガラスのカーテンウォールを設けるとともに、その足元にショーケースを配し、まちかどに対するアイデンティティを表現することを試みた。
外装は濃灰色の金属パネルとSSG横連窓の開口をベースに、深い溝型と淡灰色の帯状パネルとによって、水平方向を強調したデザインとしている。
内装についてもグレーを基調として構成しており、内外装の調和を図っている。またコーナー部の植栽の中には、ライトアップ用の投光器を埋設し、日没後のまちの賑いを演出している。
やや雑然としたまちの中に、新たなインパクトを与えることが出来た様に思う。

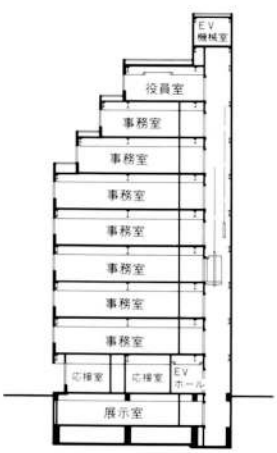
（梶原一幸／大林組）



▲コーナー部見上げ



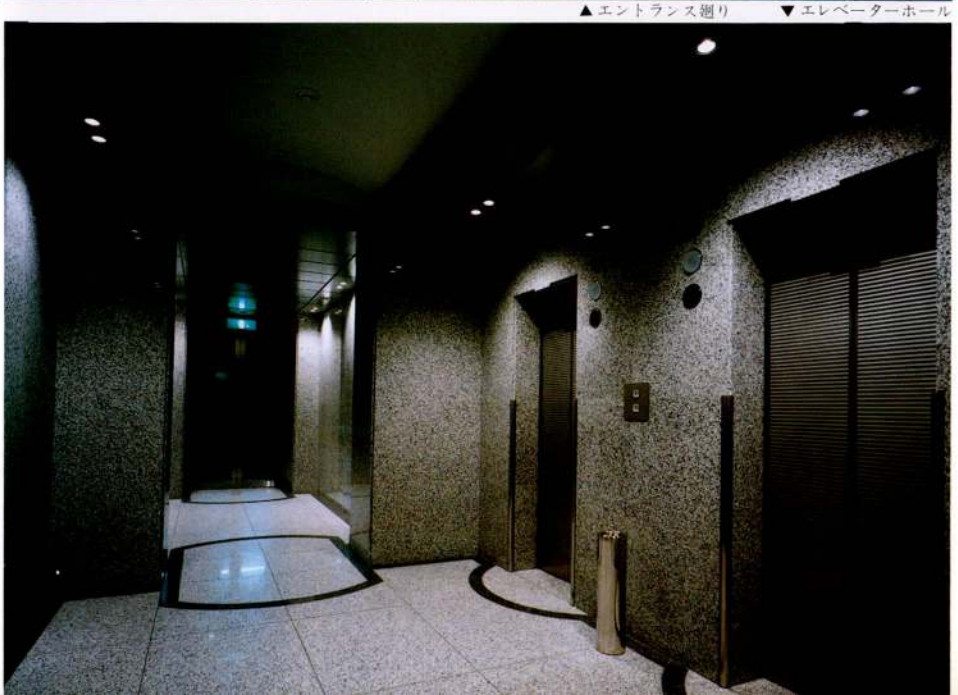
配置・1階平面図　1：600



断面図　1：600



▲エントランス廻り　▼エレベーターホール



所在地　大阪市中央区南本町3丁目2-1
敷地面積　398.53㎡
建築面積　301.74㎡
延床面積　2,630.67㎡
構造規模　S(一部SRC)、B1F、9F、PI
工　期　平成元年11月～平成3年2月
最寄駅　地下鉄御堂筋線 本町駅

撮　影　花城辰男

都島メイプルビル

設計監理　ジャス
施　　工　豊島建設



全景

建設地は地下鉄野江内代駅を上がった、交差点の北西角地に位置している。建物は6階建のテナントビルで、6階の一部にオーナー住宅(3LDK)を含んでいる。

周辺地は、中低層の住居系を主体とした街並みで形成され、比較的発展の緩やかな地域であった。近年この交差点を起点に、北大阪へ抜ける南北軸の幹線道路(幅員25m)が開通し、また、都心・梅田と結ぶ東西軸の幹線道路は都市計画決定（拡幅幅員50m）されている。この幹線の中間点に都市活性化の拠点として、桜の宮リバーシティーの再開発地区の街開きを間近に控えている。こうして波及的に新しい街並みが形成されつつあるように周辺地域のポテンシャルは高まってきており、都島メイプルビルはその一つとして街の新しい顔を求められたWORKであった。

建物は将来の都市計画に対応できるよう低層部と高層部とで構成し、フレキシブルな形とした。

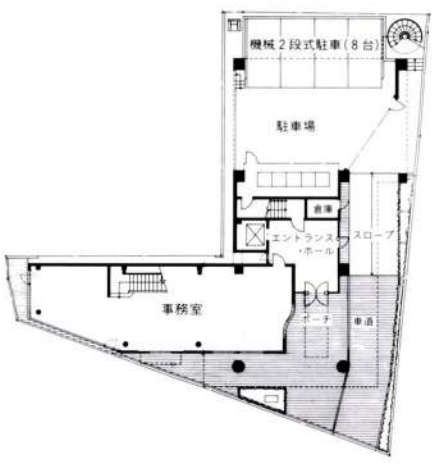
また、角地の特性を活かし、南側のO.B.P.の建物群と、東側にゆったりと展開する生駒連峰の展望を楽しめるよう眺望の良いビルとした。

外観デザインについては、落ち着きのある存在を主眼として、ラスタータイルとステンレスの組合せで飽きのこないシンプルなものとした。

周辺環境に馴染むよう、隣地間にまとまったスペースを確保し、また、歩行者への圧迫感を柔らげるためにも高層部はセットバックし、エントランス、アプローチの空間に広がりを持たせた。

今後の沿道の街づくりの一石となることを期待している。

（西村善郎・枝沢実司／株式会社ジャス）



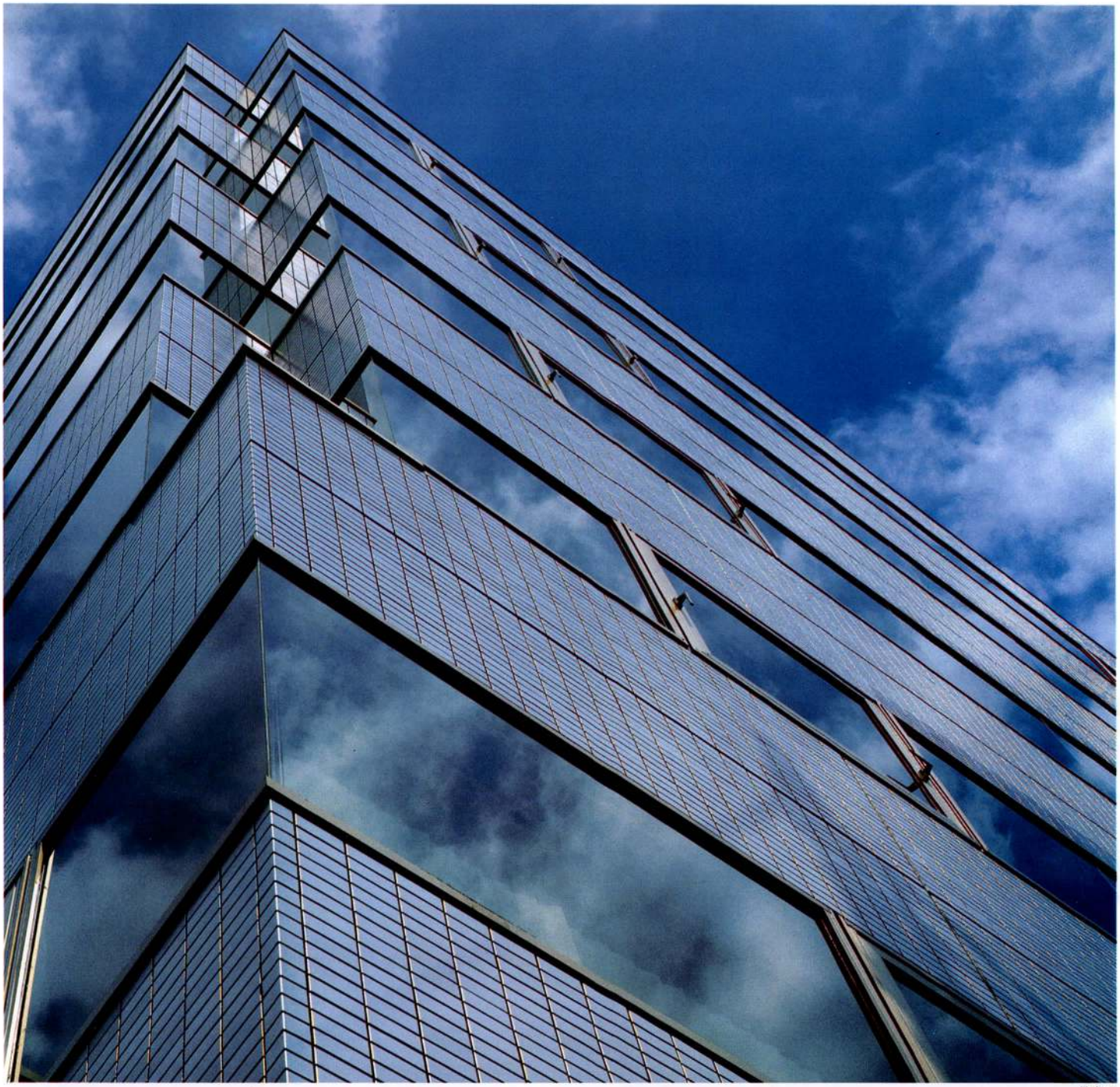
1階平面図　1：500



2階平面図　1：500

所 在 地　大阪市都島区内代1丁目61番地外
敷地面積　479.81㎡
建築面積　330.03㎡
延床面積　1,633.31㎡
構造規模　S、6F
工　　期　1990年7月～1991年5月
最 寄 駅　市営地下鉄谷町線 野江内代駅

撮　　影　川元　斉



見上げ



エントランス



エントランスホール

大和田佐野医院

設計監理　創美設計
施　　工　冨士工大阪支店

大和田佐野医院は、京阪電鉄本線大和田駅より東南の方向へ約200ｍほどの場所にあり、附近は各住宅と駅前商店街の雰囲気で人工密度の高い地域である。
当建物は敷地が狭いため、どうしても高層化となった。そのため共用部分が大多数をしめている。よって上下階の導線計画となりエレベーター及び階段によって各フロアーごとの診療施設となった。
建物は11.60ｍ×11.60ｍの正方形で２スパンのＲＣラーメン構造になっているが、半径5.80ｍの円弧で各階ごとに半円弧1/4、3/4円弧と変化をもたした。
外装は4.52丁掛モザイクタイルで、パールホワイトグレー色の濃淡２色で貼分けをしている。サッシュは円弧は多面角で構成し、ガラスブロック及びガラスは熱線反射ガラスを使用している。
当医院の診療科目は内科（循環器科、胃腸科）、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、理学療法科といった科目があり、一階：駐車場スペース及び玄関、二階：受付事務局、調剤、待合室、診察室、処置室、エコー、心電図室。三階：Ｘ線室、理学治療室、配膳室。四階：手術室、ＣＴ室、病室(大部屋)、五階：ナースステーション、ICU室、病室(大部屋)、患者用浴室。六階：全て病室(大部屋、個室)。七階：院長室、事務長室、医局当直室と入院施設を設け平成３年７月１日より開業となっている。早く地域住民にとけ込み貢献するよう願いたい。

（森安敏行／創美設計）

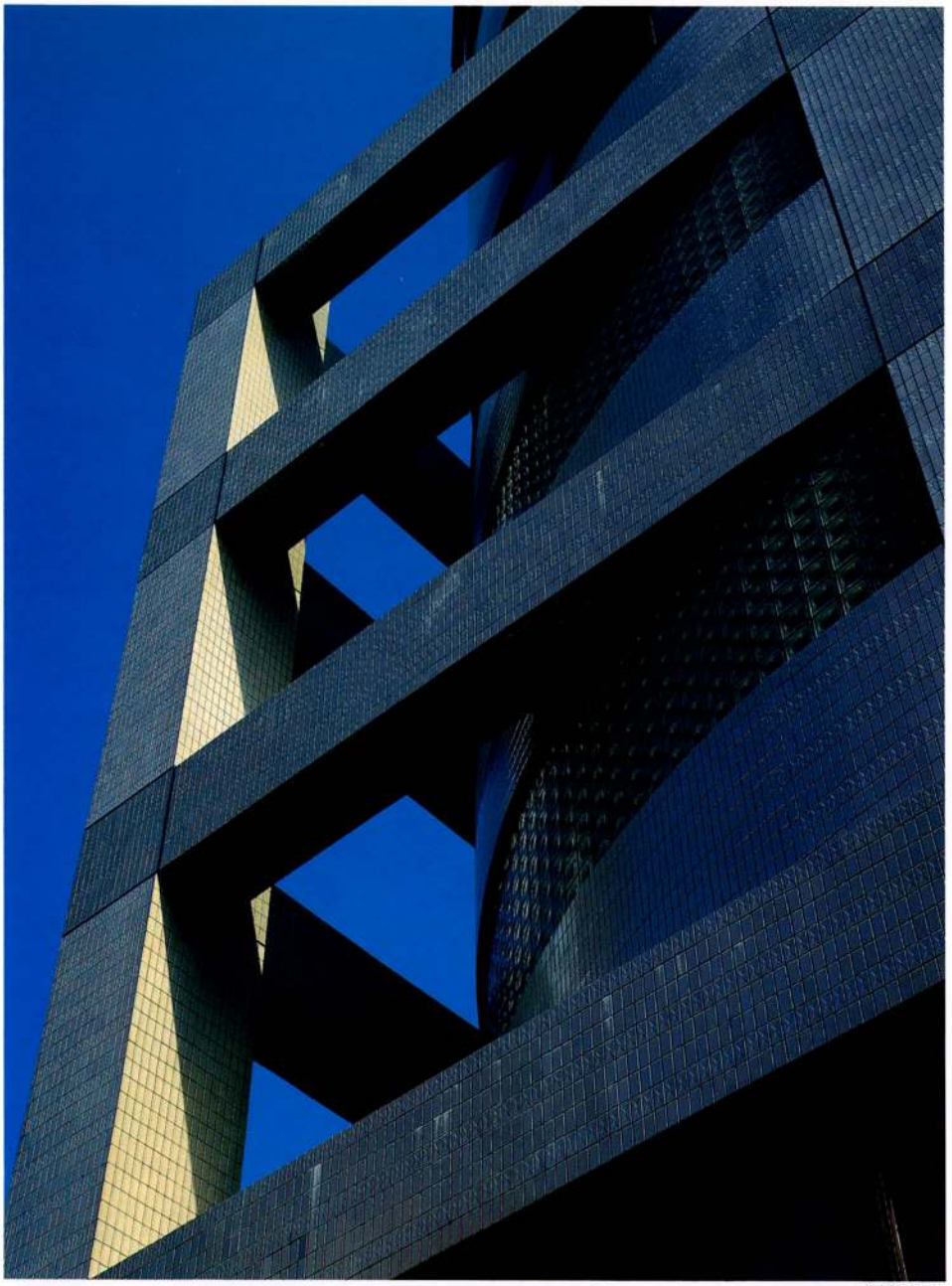


北面エントランスホール



北側外観



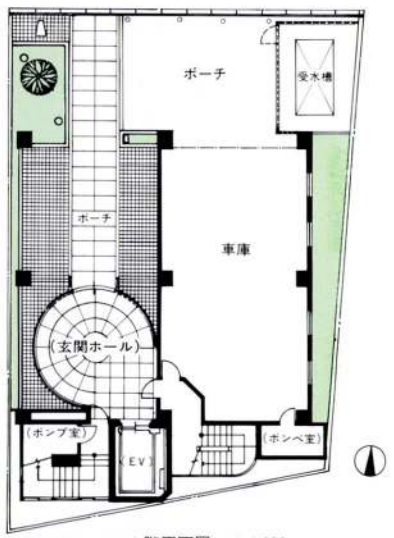


北側見上げ

製作金物工事　オオニシ
鋼製建具工事　大阪理研工業
内装工事　尾北装飾
タイル工事　大谷タイル
硝子工事　新野硝子興業
電気設備工事　共和電工
給排水衛生空調設備工事　ヤナセ設備工業

所在地　門真市野里町129－19
敷地面積　259.71㎡
建築面積　160.32㎡
延床面積　842.63㎡
構造規模　RC、7F
工期　1990年7月～1991年6月
最寄駅　京阪電鉄本線 大和田駅

撮影　川元 斉



1階平面図　1：300



玄関ホール



理学治療室



病室

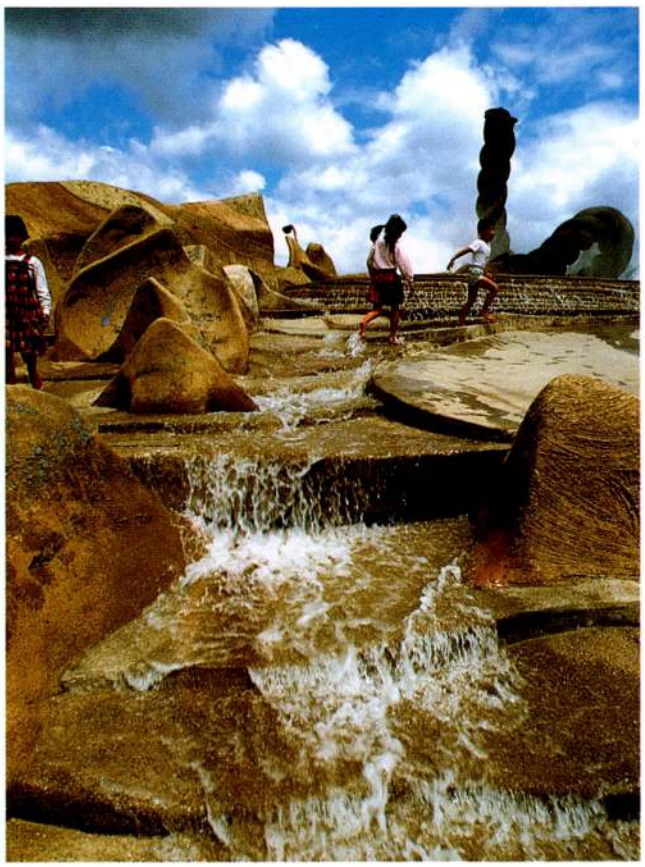
ART●アートプロセス PROCESS



彫刻家●

八木 マリヨ
Mariyo Yagi

京都市立芸術大学環境デザイン科卒業。
1973年イタリア、スタジオシモンで制作活動をする。
その後、1986年にはカナダ政府客員芸術家として
カナダ・バンフアート・センターで活動。
1988年カナダ・コンコルディア大学、カナダ政府
の客員教授をつとめる。
〝縄の彫刻〟や〝パブリック・アート〟および
〝景観芸術〟の活動で、ヨーロッパ、アメリカなど
国際的に活躍する。
国内外の美術館にコレクション多数。



景観芸術（アートスケープ）

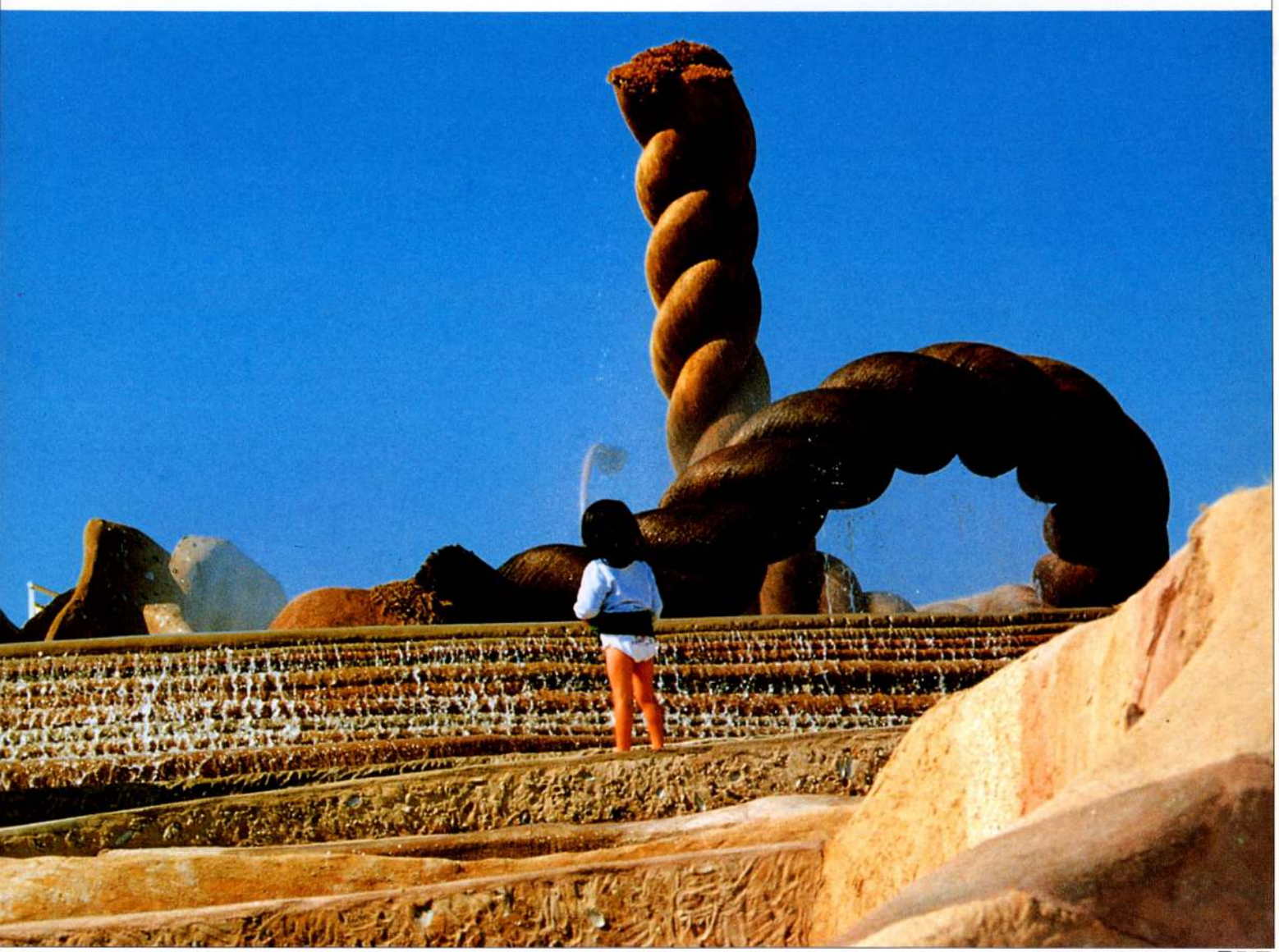
建築や造園土木の仕事では、デザイン・設計・管理・施工の分業が一般的ですが、私は作家ですので、この手で繊維をほぐし、縄を綯い、石を彫り、鉄を溶接し、土をこね、左官しごとをし、植木の土壌や、枝ぶり、設備配管のチェックまでします。
それは、彫刻家が一つの彫刻をつくる作業から考えれば、土木・造園・建築・景観の大きなスケールも構想計画・基本実施設計・施工と一貫して制作施工することは当然になるのです。この仕事をアートスケープ・景観芸術と私は名づけました。そして、ついに私は自分で信じられないのですが、なんと私はついに彫刻家でありながら、建設大臣許可土木請負業者の女親方にまでなってしまいました。
一般的な建築・土木造園の現場では不合理であるとわかっていても設計者が作成した図面どおりにいかに忠実に、ローコストに施工するかに邁進する。また職人さん不足で、果ては、ロボットに代行してもよいのではと思えるように、心をこめる余裕のない仕事の進め方であると思えるほどです。
私の景観芸術・アートスケープの仕事をする職人さんたちは、図面や模型で表現しえない部分や、机上では、はかりしれない空間の質などを、向上させるために、現場で、まるでジャズや、即興詩のように私の直感的、即興的な制作にリードされていきます。充分に設計検討したのち、施工図に基づいて施工制作の途上に極度の集中による即興性は作品に命の息吹を吹き込む重要な要素です。

「地球縄ひろば」

景観芸術は、作家の哲学を具体化した空間であり、作家だけでなく職人さんや、企画者や利用者ひとりひとりが、何かを感じ、感動を深める場を提供します。
分業化、専業化された現代社会の人々の心に、太古の昔において人間ひとりひとりみんな芸術家であったことが甦えるかもしれません。全人間としての広義の遊びや仕事の歓びがふつふつと湧きだすかもしれません。

そして、次世代へ、美しく良い遺伝子DNAを伝えていくために複眼的広い視野で、「暮しに感動と心のよりどころ」をもたらすスペースであり、「おさなごからおとしよりまで、生きている地球とちっぽけな人間が、共に生きていく作法を遊びながら感じ、学びあうところ」としてのアートスケープを都市に創りたいのです。
縄が、太古の昔から現代においても同じように、祈りをこめられ、綯われ、用いられ、次から次へ終わりなくラセンをえがいていく姿は、胎児がラセンをえがくように回転して、この世に生まれてくる生命の、初源的エネルギーの様でもあり、地球が存続する限り続くものであると考えます。
私はこの縄を、「自然と人間が有機的に結びつく指針であり、生命のエネルギーの象徴」として位置づけています。(NAWALOGY)。人々が「ひとつの生命体としての地球」を触れあい、感じるままに、さまざまな、感動をみつけることができる景観芸術、このアートスケープという新しいジャンルの開拓をさらに深めてゆきたいと願っています。　（八木マリヨ）

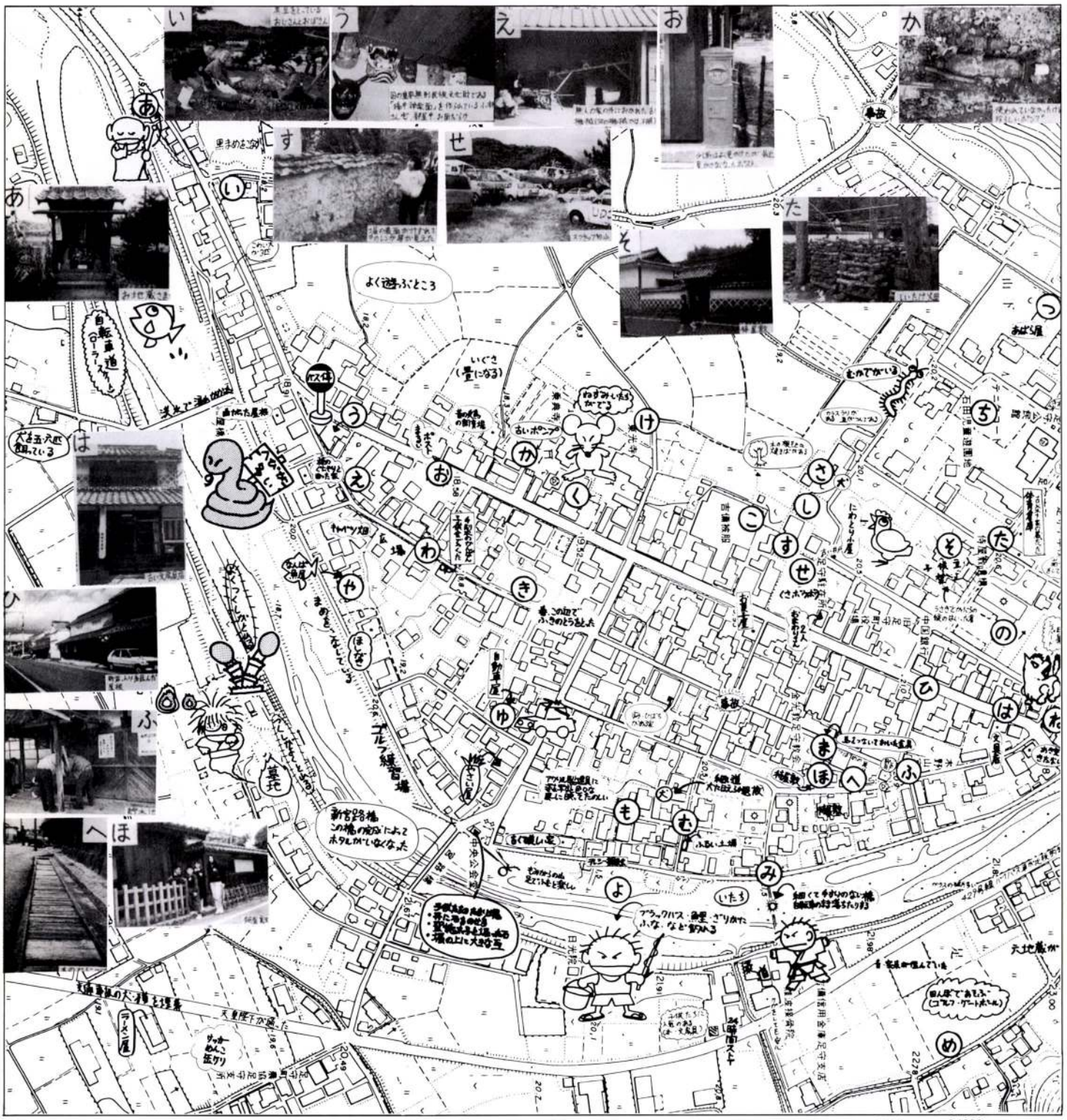




記事企画協賛：株式会社タジマ

being 31
岡田 実成

「まちづくり」をわかりやすく身近なものにしていきたい……



足守のまちなみ探検マップ 1988 11.27 あしもり探検隊





● 先日、岡山市の足守というところで歴史的まちなみの調査とまちづくりの仕事で、小学生と一緒に「まちなみ探偵団調査」をしました。淡路の江井調査に続いての２回目になります。

● 「まちなみ探偵団調査」とは、子供の目からまちを再発見し、まちづくりの基礎とするとともに、子供達のまちを愛する心を育てようという試みです。固い言葉でいうと環境学習といったことになりますか。

● まちづくりは、そこに住む人すべて（それだけではなく訪れる人も）のためのものでなくてはなりません。しかし、大抵は、一部の大人たちだけで決めてしまっています。若者や子供たちの声が反映されることはほとんどありません。これからのまちを任い、主人公となっていく人たちの声が生かされないのは、おかしいことです。

● 特に、地方にあっては、若者流出が問題となっていますが、教育の機会等でいたしかたないところがあるものの、どこでどのように生活していても、常に生まれ育ったところに目を向け、その地域を愛する人となってほしいと思います。

● 「小学生と調査する」なんて簡単そうですが、仲々その準備は大変なんです。まずその話を出せば、教育委員会や学校が反対します。「けがしたらどうする」「誰が責任者となるのか」等々です。だから、どこでもやれません。やれるところはまちづくりに理解があるところです。

● それに、調査は楽しいものでなくてはなりません。本来、物事を調べるというのは、楽しい知的行為です。「まちなみ探偵団」は、まちをいくつかのブロックに分け、小学生５～６人が１つのチームをつくり、女子大生がそのチーフとなります。そして、地図やカメラをもって、まち再発見に向かいます。チーフは、女子大生が一番いい。子供達もお姉さん、お姉さんといって楽しくまちを案内します。朝来た時には、面白くなさそうで不安な顔をしていた子供達も終った時には、生き生きとした顔になっています。

● 「まちなみ探偵団」が全てとはとても思っていませんが、まちづくりをしていくには、そのような地道で、楽しい活動をしていく中で、まちの良さや問題点を再発見していくことが、大切で、それこそ創造的な仕事であると思っています。

（岡田実成）





岡田実成（おかだ・みつしげ）
1948年生まれ
株式会社計画工房代表
８年前、大手コンサルタントを辞し、「総合病院から町医者へ」をめざし、まちづくりコンサルタント会社を設立。
歴史的まちなみ保存その他のまちづくりに所員とともに参画する。
仕事は日々悪戦苦闘の毎日で決して「かっこよくなく」being の企画には不向な人間だと思っている。
株式会社計画工房
〒530 大阪市北区天満2-4-8NKビル5F　TEL06-357-4581

「ジャパニーズ・ドリームの再構築」にむけて読まれるべき建築書

湯川利和

たいていの人はこの書名を見ただけでは住環境計画に関する本だと思わないのではなかろうか。同じ著者・同じ訳者による『家事大革命』（原著1981、勁草書房　1985）も同様の誤解をうけて期待していたほどには注目を集めなかったと聞く。

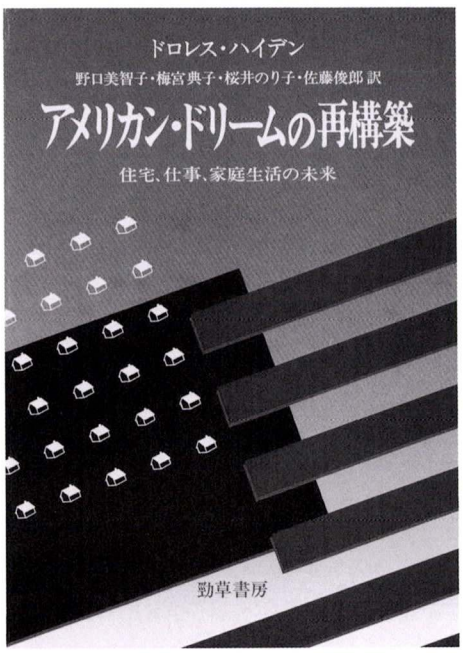
しかしこの本はUCLA建築・都市計画学部の女性教授・D.ハイデンによる、住環境計画にかんする重要な労作であり、今世紀ではほとんど無視されてきた基本的な論点を扱っている。

この本は、世界のいずれの国においても住宅・近隣環境・都市環境は19世紀に提起されたように女性解放、ひいては男性解放・人間解放のための物的基盤になるべきことを様々な観点から明らかにしている。そして共働き世帯が増加してきた状況のもとで育児休暇の制度化等も不可欠だが、住環境に共同生活手段を充実して交通・家事・育児の負担の軽減を図ること（近隣重視戦略＝neighborhood strategy）が重要なことを強調している。

今世紀においてそのことを目指した集合住宅をいくつか紹介しているが、1930年代のスウェーデンにおいて女性解放主義者・A.ミュルダール（近年ノーベル平和賞を受賞）が建築家・S.マルケリウスと協同して開発した集合住宅はその一例である。それが資本主義国・社会主義国を問わず普遍的な、私的消費志向の集合住宅（産業戦略＝industry strategy の産物）と異なるところは、その中に57戸の家族用住戸の他に小業務スペースや入居者が共同運営するレストラン・保育所を設けたことである。そうすることで共働き世帯の女性などの職場や都市施設へのアクセシビリティを改善し、家事・育児負担を軽減し、社会生活と家庭生活、コミュニティとプライバシーを両立させ、両性が平等で友愛にみちたヒューマンな生活が営める集合住宅としている。いまスウェーデンで建設が推進されつつあるコレクティヴ・ハウジング（協同生活住宅）の原型である。

著者によれば「その運営開始から10年後に、《ライフ》誌は、第二次世界大戦後のアメリカ住宅の再構成のモデルとして、このプロジェクトを高く評価した。戦時中に労働者として働いて戦後もその仕事を続けたいと願う女性のために、アメリカ人はこのサービスを見習うべきだ、とその中で記者はすすめた」。

しかしこのような『ライフ』誌の主張にもかかわらず、戦後のアメリカでは「ドリームハウス」から成る郊外住環境の開発　（安息所戦略＝haven strategy）が主流になった。家電製品の完備した200㎡を下らない広い戸建住宅に2，3人の子供のいる核家族が住み、夫はマイカーを運転して遠くの職場に通い、妻は家で家事・育児に専念する暮らしを獲得することが、戦後の政治と経済を決定づけてきたアメリカン・ドリームだったと、著者は考える。しかし80年代にはそのような核家族は世帯形態としてむしろ少数派になったし、車が一人一人に生活必需品と化している状況下で多くの郊外世帯は主婦の足・セカンドカーも、成長した子供の足・サードカーももてず、まともに暮らせない状況がずっと続いているし、専用車をやっともてた主婦は子供の送り迎えに「無賃の運転手稼業」をよぎなくされている。また若い世帯や現代の廃墟と化しつつあり一層犯罪が多発しているインナーシティになお住まわざるをえない世帯は、そのような郊外住宅にさえ住めないことは勿論、最後の頼みの綱だったワンルームも追い出されて路頭に迷い、スーパーから掠めてきたカートに家財道具を一切合切積み込んでニューヨークでは地下鉄から暖気が吹き出す排気口の上にたむろし、ロサンゼルスでは高架フリーウェイの下に野宿し、やがて気がふれていくホームレスも全米で300万人にも膨れあがっている。そして戦後の世界の人々の憧れの的であった「富裕な」アメリカ郊外は、なによりも女性を閉じ込める牢獄である。アメリカン・ドリームの終焉である。アメリカは今こそ新しいドリーム・新しい計画目標（近隣重視戦略）



を必要としている。その目標の一つは、総人口2億4千万人の4割の人々が住む広大な郊外にもマイカーに代わる魅力的な公共交通機関、職場、幼児・学童・高齢者のためのデイ・サービスなどの生活共同施設を導入し、それらの近隣施設に歩いて行けるよう、また効率よく建設し運営できるようその居住密度を増大させることである。郊外を外延的に拡大させることなく、基盤施設を増強させながら小世帯住宅・単身者住宅・高齢者住宅・協同生活住宅を建設し、老若男女、富めるも貧しきも友情をもって暮らせる、美しい近隣環境へと改革していくことが雇用の創出・環境保護・省資源の観点からも重要だと熱ぽっく語っている。

著者はまた、80年代の開発国、とくにわが国の建築設計に強い影響を及ぼした建築評論家・C.ジェンクスの『ポストモダン建築の言語』（原書1977）に対して、フェミニストたちによって19世紀に提起され、20世紀には大きく無視されてきた建築思想を21世紀へ向けて継承発展させるべきだとしている。日系米人建築家・M.ヤマサキが設計した2764戸のセントルイス市営オール高層団地（産業戦略の産物）は、その空間特性と入居者属性が起爆的に結合して犯罪の巷と化したため、竣工から20年を経ずして1972年7月15日午後3時33分に管理主体・市住宅公社自らの手で全面的に爆破撤去されたが、ジェンクスはその爆破の真因を理解することなく「この爆破は、建築家が社会問題を解決しようとするのをやめて〈芸術のための芸術〉というデザイン・アプローチに戻る新時代の始まり」とした。それに対し著者ハイデンは、安息所戦略や産業戦略とともに「芸術のための芸術」、「客寄せのための建築」・ポストモダン戦略も限界を露呈しているとして、近隣重視戦略、マテリアル・フェミニズムの建築思想の正当性をあらためて強調している。前三者の住環境戦略は20世紀を支配してきた政治・経済体制とともに地球的規模で「耐用年限が尽きた」ことは明白であり、近隣重視戦略こそ豊かな可能性を宿している。

評者も30年以上にわたってこのような近隣重視戦略の立場から、折りにふれ上記のような論点について調査研究し、大都市圏の過密を伴う単核型・職住遠離型構造から適切な密度の複核型・職住近接型構造への改革、公共交通体系の整備拡充、高齢者の社会的ケア施設の充実、共働き世帯の生活を支援する集住環境の実験的開発等について提言してきたが、この本を一読して著者の主張には基本から細部にわたるまで同感できるところがたいへん多かった（ただポルノ的屋外広告を告発している第8章は軽すぎる）。ここ10数年ずっと女子大生に接していて、とくに男女雇用均等法施行以後に女性の社会参加や結婚についての意識が急速に変化していき、主婦の有職率が半数を越えるのを目の当たりにしている昨今、わが国も女性解放ひいては男性解放・人間解放のための住環境づくり・都市づくりに向かって大きく一歩をふみだす機は充分熟していると感じられる。そのような建築的・都市計画的取り組みは公共部門・民間部門を問わずいますぐに試みられるべきだし、その取り組みを妨げる現行の制度的枠組みを変革していくことが重要だが、現行の枠組み内でいますぐに取り掛かれることもまたたいへん多い。

この労作『アメリカン・ドリームの再構築』が、今後のわが国の建築と都市計画の実践に結びつけ、「ジャパニーズ・ドリームの再構築」を目指して、広く読まれることを大いに期待したい。

最後になったが、日本の住環境と生活様式の行く末に関心をもっている人々のために長年月をかけてかなり難解な原文を分かりやすく訳出した野口美智子さんたちの並ならぬ努力を讃えたい。

（ゆかわ・としかず/奈良女子大学教授・住環境計画学）

アメリカン・ドリームの再構築
住宅、仕事、家庭生活の未来
ドロレス・ハイデン著
野口美智子・梅宮典子・桜井のり子・佐藤俊郎訳
勁草書房　1991年3月20日刊　A5判　374頁　4,120円
（原書1983年刊）

昭和生活文化年代記 3 30年代

諸口 薫 編



戦後の混乱期が終わりを告げ神武景気に沸いた昭和30年から始まる10年間、それは日本人の生活・文化にとっても大きな転換期となった時代であった。住宅公団の発足とともにDK・ステンレス流し・水洗トイレが文化生活のシンボルとなり、郊外団地が都市近郊の風景を一変させた。電気釜に始まる家庭電化時代が幕を開け、クラウン、ブルーバードが登場、マイカーが都会の道路を埋めレジャーブームが巻き起こった。60年安保を中心とした政治の時代でもあった30年代、都市と住居の風景は人々の欲望を軸に大きな変化を遂げた。トピック毎にまとめられた多彩なエッセイが奇妙な繁栄へと向かい始めた30年前の日本の諸相を描き出す。 (O)

TOTO出版 1991.3.20刊
A5判 280頁 1,800円

実務から見たRC構造設計

上野嘉久 著



学校でRCの構造計算を一通りやった記憶はあるが、途中で解き方が分らなくなったり、仮定の方法が分らなくなったりと散々であった。参考書を開けば、いろいろな方法で解かれてあり、どれがこの場合相応しいのか分らず、また計算例は説明がなくどうしてそうなるのかかえって混乱させられた。そんなときこの本があったら、きっとスラスラ解けたのではないかと思わせるRC構造設計の実務書である。その解説は、実務経験から生み出された実務設計術に基づいてまとめられており、設計例や構造設計に必要な図表も豊富に掲載されている。表紙の帯のコピー通り、「この一冊で万全、すべてを凝縮」である。 (I)

学芸出版社 1991.4.8刊
B5判 320頁 8,755円

デザイン都市宣言

国際都市創造会議・横浜

蓑原 敬 監修



本書は、バルセロナ市と横浜市とが共催した「バルセロナ&ヨコハマ シティ・クリエーション」の一環として行われた「国際都市創造会議」のシンポジュームの内容をまとめたもの。国際的に活躍し、都市に先駆的な提案や実践を行っている都市計画家・建築家・文明評論家・デザイナー、音楽・演劇のプロデューサーなど、さまざまな分野からなる32名の講師たちが、都市のそして都市の中でのデザインとは何かを、人間文化の側面から見つめ直し、都市デザインの現状と未来について語りかけてくれる。 (S)

同朋舎出版 1991.5.30刊
B5判 384頁 3,900円

講談社現代新書 1058

インテリアの近代

下村純一 著



“インテリア・デザインは人が生活や仕事に供する、あるいは遊びに興じる空間を開く作業であり、デザインをデザイン表現の問題としてのみならず人の総体的な生活感や行動の表現として見る”こと。近代に新しく発生し、今なお我々を魅了し続ける都市建築や住宅のインテリアはその意味で卓越した時代精神の表現である。ヨーロッパ近代建築の美しい写真集で知られる筆者は、本書でも数々の魅惑的な写真を織り混ぜながら近代に特有の都市建築のインテリア、あるいは先鋭な建築家によって切り開かれたモダンデザインの意味について語り、その中からポストモダンへと向かう現代に脈々と生き続ける近代精神の規範・原形を解き明かそうとする。 (O)

講談社 1991.6.20刊
B6変刊 240頁 760円

鉄道ルネッサンス

未来へのデザイン

東日本旅客鉄道㈱ 編



鉄道が登場して150年。JR東日本の「スーパーひたち」の成功は、自動車と同じく鉄道車両や駅のモデルチェンジが、新しい顧客を開拓することを数字で示した。本書は、駅・車両・輸送サービスの三つの要素をトータルにデザインした“総合生活移動サービス”に生まれ変わるべく、デザインを通じて〈鉄道ルネッサンス〉を起こしつつある世界の鉄道駅舎を紹介している。竣工当時の東京駅、神社風建築の大社駅から最新のお茶の水駅設計コンペ作品まで、豊富な写真が楽しい。(M)

丸善 1991.4.25刊
B5判 305頁 7,725円

当欄では日々新しく出版される建築関係図書のうち、主として本会に寄贈された図書を対象として短評紹介しておりますが、できれば非売を目的として発行される企業の図書や限定本、或は市販されない会員の方々の私家版、自費出版本なども広くご紹介していきたいと考えております。
読者の方の中で「こんな本がありますよ」という情報がありましたら、本会編集部までご一報下さいますようよろしくお願いいたします。 (編集部)

担当：会員企画小委員会／稲木裕子・大沢智弘・佐野 洋・増渕昌利

AGC
ASAHI GLASS COMPANY

ROOFING SYSTEM OF NATURAL SLATE
ルーフィング・テクノロジー

※フック工法。

天然スレート屋根は、最高の原石と巧みな加工、そして新工法が品質を決定します。旭硝子が、日本の風土と建築に合わせて独自に開発したフック工法は、釘を使わず、特殊なフックでスレートを固定する画期的な施工技術。従来の釘打ち工法に比べ、さまざまなメリットが生まれました。

●**安全性が高まります。**：スレートは、フックで下から支えられ、しかも隣接するスレートのフックにより、上下左右の4点がしっかり固定されています。万一割れても落下しにくく、地震や強風にも強い性能を発揮します。

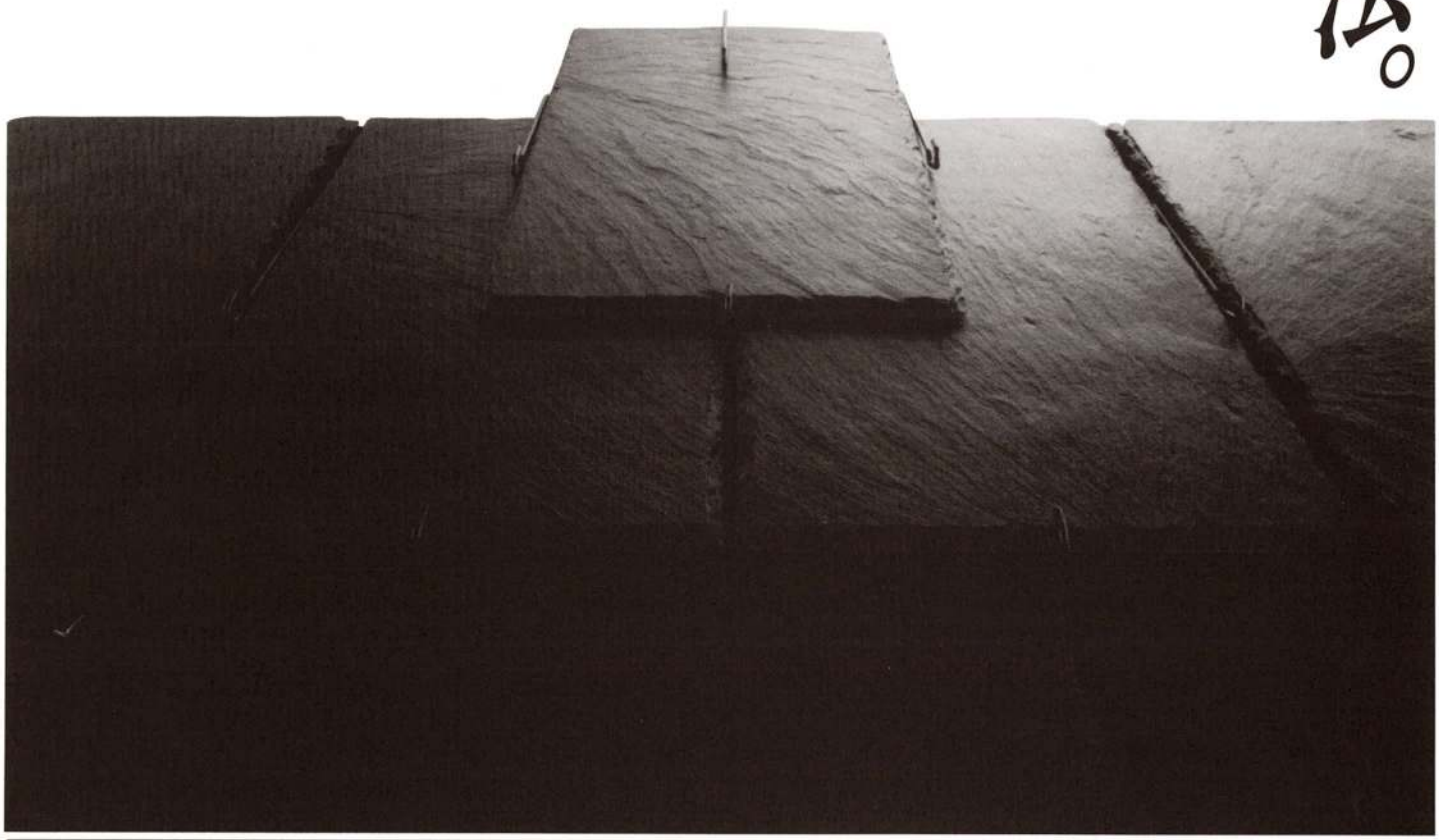
●**耐久性が高まります。**：スレートに直接釘穴加工をしないため、クラックの発生を防ぎ、物理的強度が損われず、割れ・破損などが少なくなります。

●**防水性が高まります。**：釘穴からの漏水がないため、防水性にすぐれています。

●**施工・補修が簡単です。**：施工は、あらかじめ打ち込んでおいたフックにスレートを取りつけるだけ。施工後のメンテナンスも容易です。

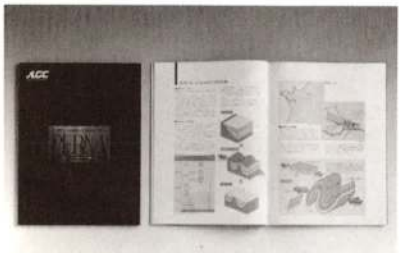
最高の鉱脈から最新鋭の技術で採堀・加工し、世界最高のクオリティを実現したフランス・アンジェ社の天然スレート。その美しさをバックアップする新技術、フック工法です。

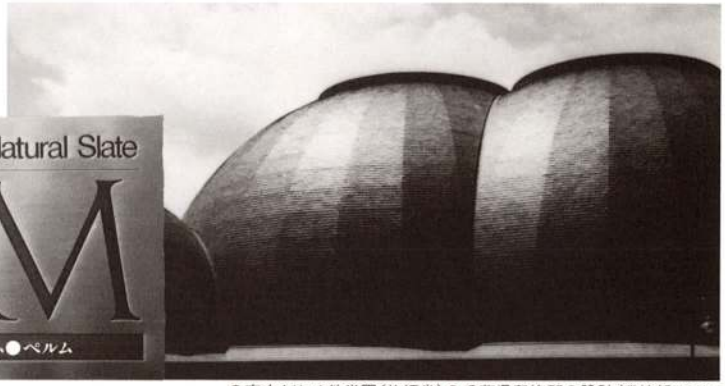
※実用新案申請中



PRESENT ベルムカラームックプレゼント

いま、天然スレート屋根の歴史に始まり、ベルムの採堀や性能から施工例まで、あらゆる情報を網羅したカラームックを、ご希望の方にもれなくさしあげています。





●天然スレート屋根システム〈ベルム〉についてのお問い合わせは下記へ……

●東京キリスト教学園（札拝堂）●千葉県印旛郡●設計/磯崎新アトリエ

旭硝子株式会社
本　社 〒100東京都千代田区丸の内2-1-2（千代田ビル）☎03（3218）5786（スター事業推進本部 屋根事業グループ）
大阪支店 〒530大阪市北区芝田1-1-4（阪急ターミナルビル）☎06（373）5882（GRC課・住建開発営業課）

天然スレート　屋根システム

ペ ル ム

旭硝子株式会社
スター事業推進本部屋根事業G
本　社／〒100 東京都千代田区丸ノ内2-1-2(千代田ビル)
TEL 03(3218)5786
大阪支店／〒530 大阪市北区芝田1-1-4(阪急ターミナルビル)
TEL 06(373)5882

はじめに

建物に使用される材料の高級・本物志向が強まる中、屋根材もその例外ではなくなってきている。旭硝子の「ペルム」は、世界一の品質と10世紀に及ぶ実績を持つフランスのアンジェ社の天然スレートを用い、かつ独自のフック工法を開発し、諸性能の向上と施工の合理化を図っている。

特性

1．世界最高級品質を誇るフランス・アンジェ産天然スレート。

天然スレートは堆積岩の一種である粘板岩を採掘・加工したものであるが、その生成過程における変成作用の度合いや含まれる鉱物種によりその品質は大きく異なる。また、採掘・加工においてもその地質学的特性を十分考慮しなければ、劣悪な品質の製品が生産される危険が非常に高い。

旭硝子の「ペルム」に用いられている天然スレートは、5億年前(古生代オルドビス紀)に形成された均質な地層を厳選して採掘され、さらに厳しい品質基準に基づいて加工されることによって得られる世界一の品質と10世紀にわたる実績を誇るフランス・アンジェ産である。

2．フック工法を採用し、性能と施工性の合理化を図っている。

天然スレートは、従来、釘打ち工法により施工されていたが、割れや防水性・耐風圧性において多くの問題点を抱えていた。

フック工法ではそれら多くの問題点の解決がなされており、天然スレートに最も適した工法といえる。

①安全性が高い。

天然スレートの下部をフックで支え、しかも隣接するスレートのフックにより上下左右の4点でしっかり固定しているため、万一割れた場合でも落下しにくく、地震や強風にも高い性能を得ている。

②耐久性が向上している。

釘穴をあけないため物理的強度が損なわれず、割れや破損などが少なくなり耐久性の向上が図られている。

③防水性が向上している。

防水上の弱点である釘穴をあけないため、防水性が向上している。

④施工・補修が簡単である。

施工はフックに天然スレートを取り付けるだけであり、非常に簡単である。また、施工後の差し替えも簡単であると同時に、差し替えを行なった部分においても防水・耐風圧性能が保たれる。

まとめ

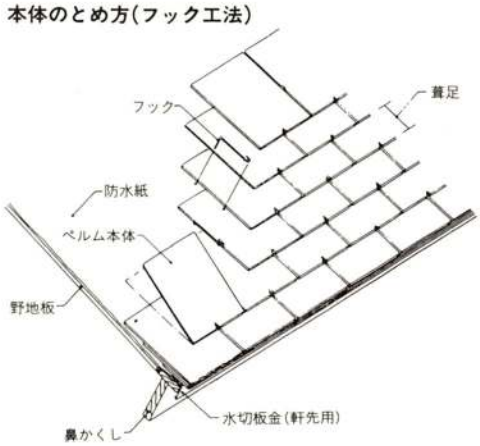
近年、建築物の高級化と共に、天然石の使用が増加している。屋根においても天然スレートの採用が増加傾向にあるが、その品質に関してはただ単に天然石というだけでの検討では不十分であり逆に天然物であるが故に内在する諸問題に関して十分な検討が必要である。

今回紹介した旭硝子のペルムは、品質・工法共に天然スレートの持つ特質が十分考慮され、従来の問題点を様々な方法で解決している。

工事体制も専門の組織が整えられているため、安心して使用できる天然スレート屋根材の一つである。

(猪野達雄／建材委員)

本体のとめ方(フック工法)



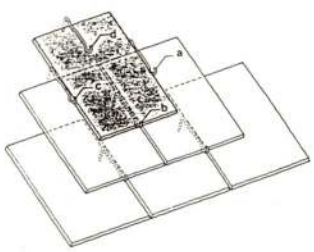


表-1 「ペルム」本体品種　(単位mm)

品　種	色	厚さ	幅×長さ
アンジェ・トレラゼ	ブラック	7.0	220×325
		6.0	220×325
		6.0	300×460
		4.5	220×325
アンジェ・ガリーザ	グリーン	7.0	220×325
ニューファウンドランド	パープル	5.0	305×457

表-2 アンジェ・トレラゼ鉱物組成

石　英	29.1%
緑泥岩	25.6
セリサイト	39.9
斜沸石	1.8
方解石	0.3
黄鉄鉱	微　量
赤鉄鉱	1.1
金紅石	0.8
リン灰石	1.2
炭質物	微　量

(注)表中"微量"とは測定値が測定限界以下の場合。

表-3 アンジェ・トレラゼ 物性

比重(g/cm³)	2.84
曲げ強度(kg/cm²)	583.7
耐衝撃性	500g×30cmにて異常無し
耐熱衝撃性	温度差100℃にて異常無し
吸水率(%)	0.19
耐凍結融解性(質量ロス　%)	0.01

表-4 耐風圧性能　(単位　kg/m²)

本体サイズ(mm)	葺足(mm)	合板(12mm)	パーライトモルタル(40mm)	耐火野地板(25mm)
7.0×220×325	120	370	360	370
	130	350	340	340
4.5×220×325	120	360	350	350
	130	340	330	330
6.0×300×460	190	350	340	330
	200	340	330	320

法令コーナー

編集委員会法令分科会

260

ベイエリアの防災対策

1　趣旨

近年、わが国のベイエリアにおいては、都市の新たな拠点にふさわしい豊かな機能と環境を創出しようという試みが活発に行われつつある。

このようなベイエリアでの超高層を含む大規模建築群については、これまで実施事例が少なく、また、大規模な地震を経験していないため、地盤の特性、種々の基礎の特質による地震動の建築物への影響等に関する技術上の知見が乏しいのが現状である。

また、ベイエリアにおいては、アトリウム、スカイウェイ、人工地盤等を建築物群と有機的に複合して新しい建築・都市空間の形成を図っているが、これらの空間に対する防火避難上の対策についても、今後確立していく必要がある。

そこで、大阪府においては、関西国際空港の対岸部でまちづくりを進めている〝りんくうタウン〟を例にとり、建築構造上および防火避難上の課題と対策の基本的方向について、企業局・建築部の協力体制のもとに㈱日本建築防災協会に業務を委託して、平成２年度および３年度の２か年にわたって検討を行うこととした。

検討に際しては、学識経験者等で構成する検討委員会と二つの部会を設けて、審議を賜りながら進めるという方法をとっており(**表１**)、委員の先生方に対し、深く謝意を表する次第である。

ここでは、平成２年度の主な検討項目について、ご紹介する。

2　建築構造上の検討

①基礎計画上の検討

- 埋立て層の液状化
- 洪積粘性土層の圧密沈下

……建築物ごとの基礎計画の策定、この地区における長期沈下実測

- 地盤調査ガイドラインの設定

……建築規模(高さ)別の実施すべき試験等

- 今後実施される地盤調査結果のデータベース化(提言)

②地震時建物の検討

- 動的設計用入力地震動の設定

……大阪平野における観測地震動の中から選んだ想定される地震動特性を有する波形または理論地震動波形をレベル２の動的解析において参考として用いることの検討

- 地盤と上部構造の相互作用の検討

③風外力による高層建築物の動的挙動と大規模建築物群の周辺気流の検討

- 高層建物の耐風設計
- 大規模建築物群の周辺気流

……歩行者・交通機関・周辺地域等への日常風による影響の検討等

3　防火避難上の検討

①避難安全性・サイン計画

- 人工地盤の構成

……歩行者ネットワークの形成、舗石・ストリートファニチャー等のデザインの統一、雨・風・日射を避ける施設・空間、下部空間(駐車場)に縦穴空間(吹き抜け等)を設けること、外周部や道路に面する部分の地上との一体化、消防車・緊急車両等の活動スペースの確保

- 避難安全広場

……各ブロックごとの避難安全広場の設置、周辺ビルからの落下物に対する安全対策、憩いの場等としての活用、シンボル広場の二次的な広域避難広場への活用

りんくうタウン完全予想図

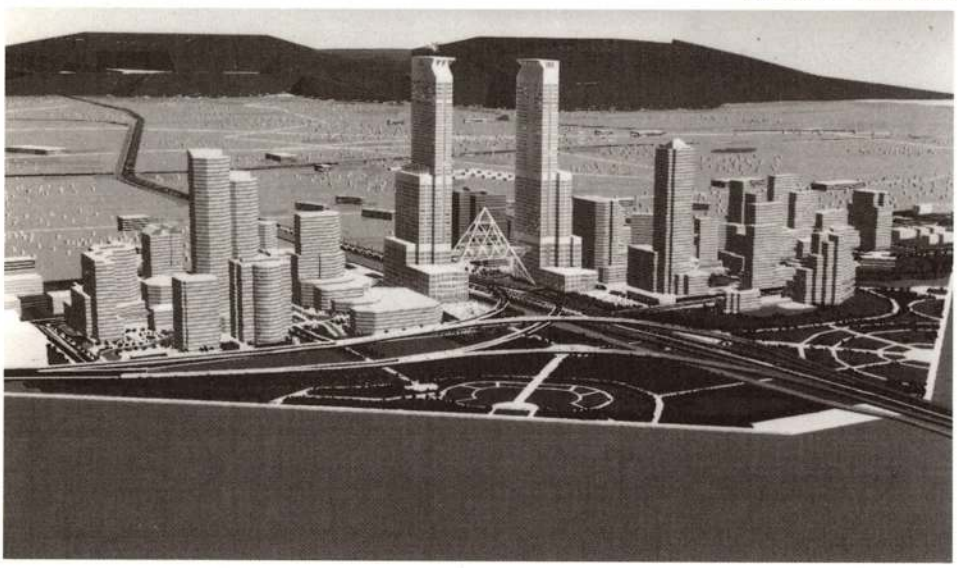


表1　委員会委員名簿　(五十音順・平成2年度現在)

■りんくうタウン構造・防火安全対策検討委員会

委員長	横尾	義貫	京都大学名誉教授
委員	五十嵐定義		大阪大学工学部建築工学科教授
〃	井上	豊	大阪大学工学部建築工学科教授
〃	岡田	光正	大阪大学工学部建築工学科教授
〃	金多	潔	京都大学工学部建築学第二学科教授
〃	十亀	彬	建設省住宅局建築物防災対策室長
〃	山中	保教	(同上前任者)
〃	堀内	三郎	京都大学名誉教授

■構造安全部会

主査	井上	豊	(前掲)
委員	大場新太郎		大阪工業大学工学部建築学科教授
〃	桂	順治	京都大学防災研究所教授
〃	嘉門	雅史	京都大学工学部土木工学科助教授
〃	河野	允宏	京都大学工学部建築学第二学科助教授
協力委員	青木	仁	建設省住宅局建築指導課課長補佐
〃	高津	充良	(同上前任者)

■防火安全部会

主査	岡田	光正	(前掲)
委員	柏原	士郎	大阪大学工学部建築工学科助教授
〃	小林	正美	京都大学工学部建築学科講師
〃	室崎	益輝	神戸大学工学部環境計画学科教授
協力委員	井上	勝徳	建設省住宅局建築物防災対策室課長補佐

- サイン計画

……主要な通りのネーミング、体系的なデザインによる標識の設置、人工地盤上の歩行者ネットワークは街路方式による地名・住居表示の実施

- 実現化手法

……被分譲者等で構成するまちづくり協議会の活用

②防災情報システム

- 地域防災システムの必要性

……防災群管理システム・地域防災センター・高機能防災センターの必要性

- 地域防災システムの構築方針

……防災センターと防災ネットワーク、大阪府防災情報システムとビル内防災管理システムとの連携、ビル群管理システムや高度情報通信ネットワークシステムとの一体化、火災・地震・水害等に対処でき防犯・救急医療等にも対応できるトータルなセキュリティシステム、応急対応以外に予防や復旧にも活用できるシステム、監視・伝達・処理のインテリジェント化・ＡＶ化

- 地域防災システムの役割と機能

……初期対応(初期消火・避難誘導)並びに予防(異常検知機能・自己診断機能・自己点検機能・防災教育機能)および後方支援(情報連絡機能・資源供給機能)

- 地域防災システム整備の課題

……システムとしての信頼性・情報ネットワークの多重化・地域防災センターのバックアップ、情報処理機能や防災制御機能の高度化、情報の伝送や処理の高容量化・論理判断・連動制御の知能化、監視機能や情報収集機能の高度化、センサーやＩＴＶ等の性能の向上

③アトリウム・人工地盤

特殊なアトリウム等については、建築基準法第38条の認定を受けるものとする。

(大阪府建築部建築指導課調整係長　志摩宣彦)

ゴルフネットの風力係数

財団法人 日本建築総合試験所
所 在 地…吹田市藤白台5－8－1 〒565
電　　話…(06)872－0391　FAX…(06)872－0784
業務時間…平日：9：00～17：00
　　土曜：9：00～12：00(第2、第4土曜休日)

ネットの風力係数は、素線の風力係数にネットの充実率ϕを乗じたもので近似できることが知られている。素線の風力係数は建築基準法施行令で1.2とされているので、ネットの風力係数Cは次式によって概算することができる。

$$C = 1.2 \cdot \phi$$

ただし、ネットの充実率が大きくなると、ネットが面として風力を受けるため、素線が受ける風力という考えに意味をなくす。ネットの目が詰まり過ぎると、ネットの風力が素線の1本ずつの風力の合計にならないといってもよい。通常、充実率が30%程度を超すと面的効果がでてくるといわれている。ネットが面として風力を受けるということは、ネットが構成する形状で風力係数が変化するということである。建築現場でよく見かける緑色や青色の建築物仮設養生ネットは充実率が50%を超えるものが多くこの代表例であるが、養生ネットが包む建築物の形によってネットの風力係数は変わるのである。

ゴルフネットは充実率が15%程度のものが多く、上式が適用できる。ここで、面積A(m²)のネットに働く風荷重P(kg)を考えると、

$$P = C \cdot A \cdot q$$

qは速度圧である。いうまでもなく、ここでは風はネットに垂直に当たるとしているが、風向角αをもって風が当たる場合は見附面積が$A\cos(\alpha)$と変化するので、

$$P = C \cdot A \cdot \cos(\alpha) \cdot q$$

としてよさそうである。

さて、$\alpha = 90°$のとき、つまり風がネットに平行に吹く場合には、$\cos(\alpha) = 0$であるからP＝0としていいであろうか。風荷重が最も大きいのは風がネットに直面するときであるから、風がネットに平行に吹く場合など考える必要がないと思われる方がおられるかもしれない。ゴルフ練習場で上部をネットで水平に張った場合に、この部分の風荷重を考慮しないでよいかという問題を考えていただきたい。この場合には風を受ける面積が大きいので、簡単には無視できないと思われるのである。

ネットのように形がしっかりしていないものの風力係数は測定が困難である。そこで、枠にネットを張りその状態で風力を測定しておき、枠のみの風力を引いてネットの風力を求めることとする。枠は8㎜径の鉄筋を曲げて、30cm角とした。枠から首を延ばしてロードセルに接続し、ネットを張った枠を風洞中央にセットし風を当てて荷重を検出した。風向角を変化させた結果を**図－1**に示す。ここで、基準面積は$\alpha = 0°$のときの面積とした。図中の白丸は測定値、曲線は$C \cdot \cos(\alpha)$である。$\alpha = 0°$のときの風力係数は$1.2 \cdot \phi = 0.18$（▶印位置）より僅かに小さいが、建築基準法の規定値がほぼ妥当であることを示している。$\alpha = 0° \sim 45°$では見附面積の変化に比例して風力係数が変化しているのがわかる。αが45°を超すと風力係数は$C \cdot \cos(\alpha)$の曲線よりも大きく、この付近からネット素線間の空力相互干渉が生じているのであろう。$\alpha = 90°$のときは枠の風下側にネットが隠れる位置になり、枠だけの風力を引いたとしても正確なネットの風力係数は求められない。

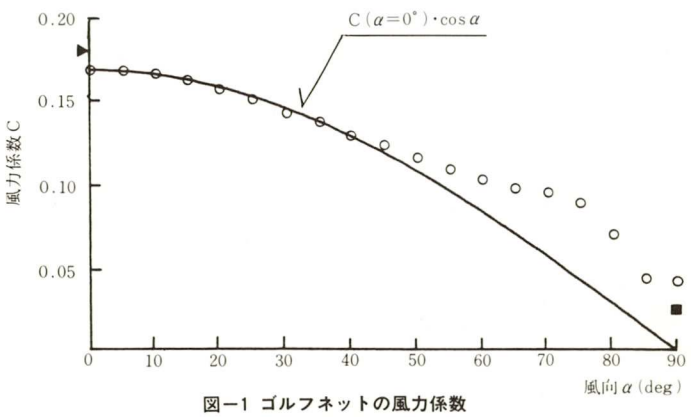
枠の影響を極力少なくしてネットのみの風力を測るために、**図－2**に示すようにネットを風洞の天井から吊り下げ、風向方向に働く力をワイヤーを介してロードセルで測定した。ネットの幅を60cmとし、ネットの長さℓを3種類変化させて、$\alpha = 0°$時のネットの面積を基準にした風力係数を求めた結果は次のとおりである。

ℓ＝180㎝；C＝0.024
ℓ＝135㎝；C＝0.026
ℓ＝ 90㎝；C＝0.027

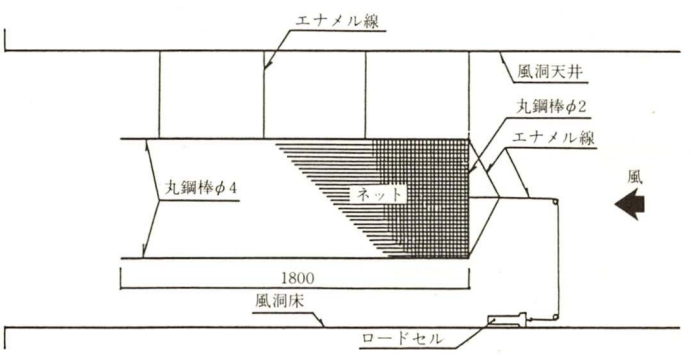
この方法においても枠に使用した鋼棒（径4㎜）やワイヤーの影響は免れないが、ネットの長さが長くなるにつれて相対的にその影響は小さいと考えると、$\alpha = 90°$の場合のネットの風力係数はC＝0.024(図－1中■印位置）に近いと思われる。

このように風力係数を与えると、見附面積を基準として考えるのではなく、ネットの最大面積を基準とすればよい。つまり、$\alpha = 90°$のときには見附面積はネットの長さによって変わらないため風力が一定になるという不合理が解消され、ネットの大きさによって風力が見積れることになる。

（西村宏昭／研究員）

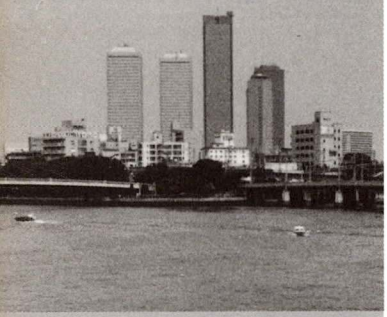


図－1 ゴルフネットの風力係数



図－2 ゴルフネットの風力係数測定状況

建築の眼



やすだちゅうさく
安田丑作

神戸大学工学部建築学科
助教授

かわかみまさお
川上昌男

大阪府住宅供給公社理事
兼計画部長

いのくらひろゆき
猪倉啓行

日建設計取締役大阪第2
事務所所長

なかむらとしお
中村俊雄

長谷工コーポレーション
取締役副社長

以上の4氏が7月号から
12月号まで執筆

都市の中の緑

初夏のこの季節、街路樹や公園の緑が一斉に瑞々しく息づいて、街が一年でもっとも輝いて見える。この10年ほどで、街の中の緑は見た目にも着実に増えてきて、あちこちに〈緑のトンネル〉が出現している。それぞれの都市で積極的に取り組んできた緑化事業などの成果ではあるが、その反面ともすれば緑の嵩ばかりに関心が向けられ、緑であれば何でもよしとするきらいもあるように思える。

周囲に高木・中木・低木がぎっしりと植込まれた公園や広場では、街を行き交う人々の自由な進入を拒み、防犯上の問題場所となっているケースさえ少なくない。それにつけて思い起こされるのが、ヨーロッパの中世や近世都市の広場の情景であろう。そこには、一本の樹木がなくても十分に魅力的でかつヒューマンな空間があり、都市空間の人間化という都市デザインの本来の意味と可能性が実感される。

たしかに樹木や草の緑は、その背後にあるごつごつとして人工的な都市環境を隠蔽し、人々の眼や心に潤いを与えなごませてくれる。しかし、緑のもつ〈隠す〉機能に甘えて、ただ空地に緑を植えればいいというだけでは、かえって個性的な都市景観形成の芽を摘むことにもなりかねないのではなかろうか。

(C.Y)

住宅、住環境と生活

先日、福岡県稲築町の才田日吉第二地区炭住改良事業を見せて戴く機会を得た。昭和17年頃に炭鉱住宅として建設された住宅約30戸を、最近、二階建（一部平屋建）の改良住宅に建て替えられたものである。自治会長や奥さんたちの暖かい歓迎を受けた。住民の皆さんは建て替えられたことを心から喜んでおられた。地区内はタバコの吸殻、ゴミ一つ落ちていない。住民に共同意識が出来てゴミを捨てなくなったという。通路、公園の清掃、植栽の手入等は総て住民の手で行っている。最も嬉しいことは、子供たちが友達を自分の家に招くようになったことだという。今までの老朽化した住宅、道路や排水の整備が不十分な環境では、友達を呼ぶのが恥かしく、また、そのスペースも無かった。子供たちは明るく活発になった。正月や盆に帰ってくる家族も増え、また、若い世帯が定着するようになり、地域が活性化してきたという。さらに、これまで多かったお年寄等の病院通いが大幅に減ったという。住宅、住環境の改善が、そこに住む人々の生活にこれほどまでに大きな影響を与えることに驚くとともに、大変感動した。住宅、住環境整備の必要性、重要性を改めて痛感した次第である。

(M.K)

人工島にできる職住共存の町

人工島の魅力は狭隘な国、日本の救世主のように響くところにある。全国で大変なブームである。その多くは産業用か流通用のもので経済成長の主役達を支えてきた。しかし、軽薄短小の流れの中で積極的なウォーターフロントの町造りをするところが現れてきた。過去の町が辿った歴史をよく学び、その中から独自のコンセプトを掲げて町を造り上げていく。その歴史には、あらゆることが効率を最優先に進められてきたために起った多くの問題点が述べられている。業務地区には土地の値上りのため、担保能力のある企業だけが残り、商業地区には大規模百貨店や高級店舗だけが残り、住宅地区には昼間働く大人達の姿はない。曜日によって、時間帯によって人の賑わう所は特定され、通勤に使われる交通機関はある一定の時間帯だけ混雑する不合理な現象を引き起こしている。空洞化現象のひとつのパターンである。

一方、24時間人が居て、行く人と来る人のバランスがとれている。人が住み、仕事をする人が居て、文化的に余暇を過すところがあり、学ぶ場があり、グルメがあり、外界と交流するための港もホテルも用意され、お寺も教会もできた。やがて緑が溢れ、子供の歓声も聞こえるようになるだろう。

安心して住めるところは、このような職住共存の人工島の町で造られようとしている。

(H.I)

建設労務者の待遇改善

建設労務者の人手不足、高年齢化、賃金の高騰等深刻な問題となっている。これの解決には建設業の抜本的な構造改革が必要である。下請制度に依存するゼネコンの体質改善、発注者、建築主の理解、行政面での推進等数多い。

鳶職、型枠大工、鉄筋工、左官、タイル工達は寒風吹く冬も、猛暑の夏も時には目の廻りそうな高所で作業をしている。3Kと言われる所以である。中には非常な熟練を要する手作業は芸術と言っても過言ではないものまである。この様な社会的にも価値のある立派な職業に対する評価、報酬を含めた待遇があまりにも低過ぎる。今、自分の子弟をこの様な建設労務者にしようと望む人がどれだけいるだろうか？おそらく極めて少いと思う。

材料、工法等の技術革新が進み、現場での作業の簡略化や、未熟練工でも可能な状況になってはいるが、どうしても芸術家的職人が必要な部分は残る。その為にも若い人達にとって魅力ある職業であり、職場としなければならない。また、鳶、土工、大工等々の呼び名の問題、職域を超えた多能工の問題もある。外国人労働者受け入れ問題より以前に検討されるべき課題だと思う。

(T.N)

暑中お見舞申し上げます

平成３年盛夏　　(50音順)

青山幸夫

株式会社 青山建築積算事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1-10-19江南ビル 電話06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14-6
電話075(331)8082

浅井泰

株式会社 笠谷工務店 相談役
〒659 芦屋市業平町４－１ 電話0797(22)0703
〒659 自宅・芦屋市翠ヶ丘町13－５ 電話0797(22)5291

浅海伸之

浅海電気株式会社 代表取締役社長
〒530 大阪市北区西天満３丁目７番４号 電話06(362)8701
〒665 自宅・宝塚市栄町２丁目10番26－712号
電話0797(81)1174

井上保夫

井上窯業株式会社 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区生玉町11番28号 電話06(771)2851代
〒659 自宅・芦屋市川西町４番23号 電話0797(22)5930

飯田精三

共同設計株式会社
〒530 大阪市北区西天満５丁目10番14号 電話06(364)5836
〒560 自宅・豊中市本町２丁目２番24号 電話06(848)0775

泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区神山町14番３号 木津信ビル
電話06(364)9071代

市川繁雄

日本管工業株式会社 取締役社長
〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075(681)5101～5
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289

市川宏

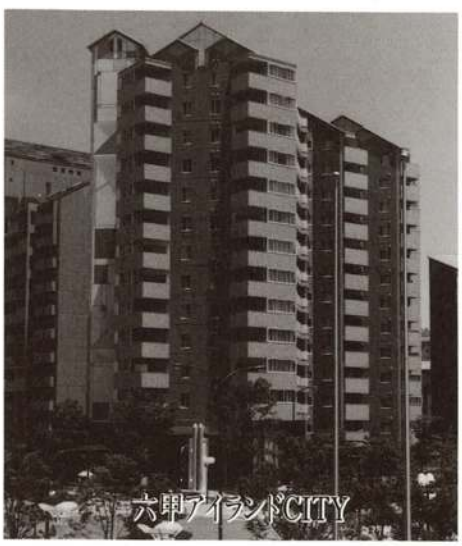
株式会社 東畑建築事務所 取締役社長
〒541 大阪市中央区伏見町４－４－10 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手４丁目４－32
電話078(811)0216

今井忠臣

イマヰ建設工業株式会社 代表取締役
〒547 大阪市平野区加美北5丁目11番12号 電話06(792)4425
FAX06(792)5837
〒547 大阪市平野区平野北２－９－15 電話06(792)4404

今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム 代表取締役
〒550 大阪市西区北堀江１丁目13番21号 今西ビル５F
電話06(541)3051～3



今西祥郎

財団法人 大阪住宅センター 理事長
〒542 大阪市中央区南船場4丁目4番3号
御堂筋アーバンライフビル4F
電話06(253)0071～3
〒591 堺市新金岡町3丁1－23－102 電話0722(51)1902

今村祐三郎

社団法人 大阪建設業協会 専務理事
事務局長
〒540 大阪市中央区北浜東１番30号 電話 06(941)4821
〒630 自宅・奈良市南永井町344－8 電話0742(62)0784

岩橋重文

株式会社 岩橋設計 代表取締役
〒640 和歌山市中之島1672 電話0734(31)7859
〒640 自宅・和歌山市中之島1661 電話0734(28)2389

上西圭治

株式会社 大気社 代表取締役会長
〒530 大阪市北区中之島３－２－18 住友中之島ビル７階
電話06(448)3603
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12－14 電話0797(22)5949

植野知雄

株式会社 寿建築積算事務所 所長
〒542 大阪市中央区東心斎橋１丁目16-29つるのすビル
電話06(244)1561代
〒588 自宅・堺市大美野５－９ 電話0722(37)1162

尾亀清四郎

株式会社 三晃空調 取締役会長
〒540 大阪市中央区城見２丁目１番61号ツイン21MIDタワー11階
電話06(949)1371
〒573 自宅・枚方市岡山手町15－４ 電話0720(41)3427

尾原重信

株式会社 コアプラン設計 代表取締役
〒550 大阪市西区新町２丁目３番８号米澤ビル８F
電話06(531)4488
〒532 自宅・大阪市淀川区十三東3-14-13 電話06(302)1051

多井(オオイ)幸男

多井建築研究所 所長
〒541 大阪市中央区今橋１丁目１番地 １番館ビル
電話06(226)0008
〒657 自宅・神戸市灘区曽和町３丁目１－11
電話078(821)6133

岡本行善

株式会社 昭和設計 代表取締役社長
〒550 大阪市西区新町１丁目５番７号 四ツ橋ビル
電話06(532)3421代
〒659 自宅・芦屋市岩園町35－７ 電話0797(31)3201

暑中お見舞申し上げます

平成３年盛夏　　(50音順)

岡　澤　　勇

岡澤建築設計事務所　所長

〒530 大阪事務所・大阪市北区西天満4丁目4番12号
近藤ビル６Ｆ　電話06(362)6082代表
FAX06(362)6084

〒567 茨木市藤の里２丁目16番６号
電話0726(43)5230・8953

川　岸　繁　夫

株式会社　川岸窯業商店　代表取締役会長

〒550 大阪市西区西本町１丁目13―33　電話06(532)0461代
ＦＡＸ06(535)5181

〒563 自宅・池田市天神１丁目10―10　電話 0727(61)8598

木　下　國　男

内外パーキング施設株式会社　取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀２丁目６―25　電話06(441)0477代

〒665 自宅・宝塚市逆瀬台6丁目15番11号 電話0797(73)3228

奥　村　紘　行

株式会社　オクジュー　取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目3番7号　電話06(312)4131代

〒662 自宅・西宮市南郷町14番34号　電話0798 (71) 0011

川　瀬　甲子雄

扶桑管工業株式会社　代表取締役

〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地　電話075(861)1157
大阪支店 電話06(304)0777　東京支店 電話03(3263)0501

〒565 自宅・吹田市津雲台６―７―２　電話06(834)1734

菊　池　　勝

株式会社ミルックス大阪支店　専務取締役 大阪支店長

〒541 大阪市中央区本町3丁目5番7号 御堂筋本町ビル
電話06(261)4031

〒658 自宅・神戸市東灘区住吉東町1―6―22 コート住吉川201
電話078(854)1612

恩　庄　治　郎

大阪化工株式会社　取締役社長

〒565 吹田市山田東1―12―12　電話06(876)2334

〒565 自宅・吹田市山田東1―12―12　電話06(877)1406

河　井　覚　弘

河井建築事務所　所長

〒631 奈良市中山町西３丁目210―25　電話0742(44)8100
0742(45)4378

小　西　弘　治

日本住宅パネル工業協同組合　理事長

〒113 東京都文京区本駒込6丁目15番7号
六義園ビルディング 電話03(3945)2311代表

数　井　利　美

株式会社　西村建築事務所　取締役社長

〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-8 楠六パレスビル
電話078(521)0205～0207

〒654-01　自宅・神戸市須磨区白川台２丁目39―13
電話078(792)5862



取締役会長　小　西　　岬

取締役社長　橋　本　正　章

株式会社　小　西　設　計

〒550 大阪市西区立売堀１丁目12―16　電話06(532)4051

亀　井　晃　治

一級建築士事務所 株式会社 A.R.I.(あり)建築事務所　代表取締役

〒542 本社事務所・大阪市中央区谷町7丁目3番4－203
新谷町第３ビル２Ｆ　電話06(768)1771代

〒577 アトリエ・東大阪市上石切町2－14－35
電話0743(73)6137

〒542 アリックスタイムスクエア・大阪市中央区谷町7-3-4-105
新谷町第３ビル・１Ｆ　電話06(764)1089

〒631 自宅・奈良市藤ノ木台3丁目33番5号電話0742(43)1226

鴻　池　藤　一

株式会社鴻　池　組　代表取締役会長

〒541 大阪市中央区北久宝寺町3丁目6番1号
ダイヤルイン電話06(244)3500(受付台)

〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86 電話075(461)1526

亀　田　六　夫

株式会社 増島製作所 大阪営業所　取締役所長

〒530 大阪市北区西天満３丁目13番18号 島根ビル
電話06(364)1951

〒560 自宅・豊中市刀根山元町８―12　電話06(855)5356

河　合　芳　市

第一工業株式会社大阪支店　取締役支店長

〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号　電話06(364)6661

〒560 自宅・豊中市北桜塚4－8－3－401　電話06(846)2172

会　長

佐　野　正　一

株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役会長

〒540 大阪市中央区島町２丁目4番7号　電話06(943)1371代

〒662 自宅・西宮市雲井町４の９　電話0798(72)1569

鎌　谷　秀　男

修成建設専門学校　理事長

〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19-30 電話06 (474)1644

〒665 自宅・宝塚市千種３丁目８番23号 電話0797(72)1380

河　裾　和　夫

螢光産業株式会社　代表取締役

〒531 大阪市北区本庄西３丁目９番20号
電話06(371)5146代

〒560 自宅・豊中市中桜塚4丁目6-4　電話06(852)4148

斉　藤　國　義

株式会社　斉藤工業所　代表取締役

〒557 大阪市西成区岸里2丁目6番5号　電話06(661)3325代

〒557 自宅・大阪市西成区岸里東１丁目21番３号
電話06(652)0208

暑中お見舞申し上げます

平成３年盛夏　　(50音順)

城口庸平

株式会社　大阪城口研究所　取締役社長
〒530 大阪市北区角田町２番15号　電話06(372)7151代

須賀好富

社団法人　日本建築積算協会関西支部　支部長
〒542 大阪市中央区東心斎橋1-3-1 長堀堂ビル3F
電話06(245)6645
近畿大学理工学部建築学科　教授
〒577 東大阪市小若江３－４－１　電話06(721)2332
内線4519
〒631 自宅・奈良市鶴舞西町２－10－E501
電話0742(41)0623

菅谷節

ダイダン株式会社　代表取締役社長
〒550 大阪市西区江戸堀１丁目９番25号　電話06(441)8231
〒158 自宅・東京都世田谷区等々力6丁目3番18号
電話03(3703)1027

田中忠明

大阪エスピー紙工株式会社　代表取締役社長
〒540 大阪市中央区玉造２丁目25番20号　電話06(765)5650代
FAX06(765)5655
〒614 自宅・八幡市八幡福禄谷98-7　電話075(971)0395

田中優

株式会社 ユソニアン一級建築設計事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区天神橋2丁目5番25号 若杉グランドビル10F
電話06(354)2781
〒112 東京都文京区春日１丁目８番６号
ムトウユニパック春日ビル２F　電話03(5684)2871
〒536 大阪市城東区成育４丁目20番２号　電話06(931)8857

田畑弘

株式会社　日建設計　常務取締役
大阪統轄
〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目6番1号　電話06(203)2361

田村真二

株式会社　竹中工務店　取締役副社長
〒541 大阪市中央区本町４丁目１－13　電話06(252)1201
〒663 自宅・西宮市浜甲子園2丁目5－19　電話0798(41)4300

取締役会長　高橋慶夫
取締役社長　上田宏二
株式会社　高橋上田設計事務所
〒550 本社・大阪市西区新町１－４－21 大幸ビル
電話06(533)0971～3
〒113 東京事務所・東京都文京区本郷3-5-4
朝日中山ビル5F　電話03(3818)5173

竹内哲

日本電設工業株式会社　大阪支店　常務取締役
支店長
〒531 大阪市北区豊崎３丁目17－15　電話06(372)3533
〒560 自宅・豊中市蛍池東町２－６－11　電話06(841)3832

立野一郎

株式会社　ユニオン　会長
〒550 大阪市西区南堀江２丁目13番22号
電話06(532)3731代



谷進

浦安工業株式会社　常務取締役支店長
〒530 大阪市北区天満２丁目３－５　電話06(351)7502
FAX06(353)2160
〒530 自宅・大阪市北区天神橋3丁目10-30-507
電話06(358)6900

知見義夫

元・本会理事
〒601 自宅・京都市南区西九条春日町48　電話075(691)3860

名誉会長
塚本猛次

株式会社　日建設計　名誉顧問
〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目6番2号　電話06(203)2361
〒665 自宅・宝塚市清荒神２－６－27　電話0797(87)1940

辻本豊

株式会社　ツジモトユタカ設計事務所　代表取締役
〒640 和歌山市東長町中ノ丁20番地 電話0734(26)2030代
FAX0734(26)2032
〒640 自宅・和歌山市東長町中ノ丁20番地
電話0734(26)2030代

津村芳仁

オリエンタルメタル製造株式会社　代表取締役社長
〒660 尼崎市昭和南通り３丁目26番地　電話06(412)5131代
〒330 埼玉県蕨市塚越５丁目６番32号　電話0484(42)3115

寺嶋繁久

株式会社　Sim建築事務所　代表取締役
〒604 京都市中京区東洞院通蛸薬師下ル
エステートビル402　電話075(256)3993
〒616 自宅・京都市右京区嵯峨鳥居本化野町12－45
電話075(871)3921

傳馬正明

ムツミ産業株式会社　代表取締役
〒550 大阪市西区鞆本町１丁目17番15号
電話06(441)0378大代
〒557 自宅・大阪市西成区岸里東2丁目13番22－507
電話06(651)0566

名誉会長・名誉正会員
東畑謙三

株式会社　東畑建築事務所　取締役会長
〒541 大阪市中央区伏見町４－４－10　電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4-4-35　電話078(851)5043

徳岡昌克

株式会社徳岡昌克建築設計事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区西天満6丁目3番11－205号　電話06(314)1688
〒661 尼崎市次屋３丁目６番60号　電話06(499)0701
〒810 福岡市中央区大名1丁目8番33-703号　電話092(716)5110
〒532 自宅・大阪市淀川区新高6丁目6番18号　電話06(391)1438

暑中お見舞申し上げます

平成３年盛夏　　(50音順)

内藤正克

株式会社 内藤建築設計事務所 代表取締役会長
〒675-13 兵庫県小野市上本町240 小野ビル 電話07946(2)4757代
〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063 電話07946(2)4668

中原英雄

株式会社 創美設計 代表取締役
〒530 大阪市北区末広町３番21号 新星和扇町ビル
電話06(312)3587代

長澤孝行

日本住宅パネル工業協同組合 理事 大阪支所長
〒553 大阪市福島区大開２丁目３番１号 電話06(462)1600
〒598 自宅・大阪府泉佐野市佐野台20-52 電話0724(63)1260

蜷川守男

大阪装飾株式会社 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1丁目13番24号 電話 06(444)1410
〒665 自宅・兵庫県宝塚市社町3番10号 電話0797(72)6045

野村文英

野村建設工業株式会社 取締役社長
〒541 大阪市中央区高麗橋２丁目１番２号 電話06(226)9502

林唯夫

株式会社 昭和設計 代表取締役副社長
〒550 大阪市西区新町１丁目５番７号 四ッ橋ビル
電話06(532)3421
〒565 自宅・吹田市青山台３丁目41—11 電話06(872)3608

伴昭秀

株式会社 西原衛生工業所大阪店 代表取締役社長
〒531 大阪市北区中津６丁目８番４号 電話 06(458)3628
〒563 自宅・池田市石橋３—11—14 電話0727(61)8652

平田勝久

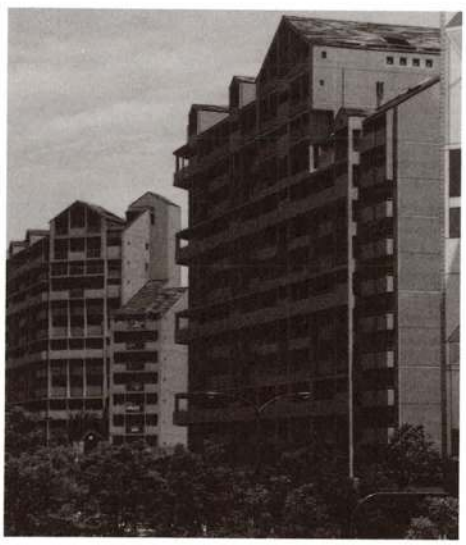
株式会社 平田タイル 取締役社長
〒550 大阪市西区阿波座１丁目１番10号 電話06(532)1231代
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手５丁目17－21
電話078(841)4725

藤木鐵三

株式会社 藤木工務店 取締役社長
〒540 大阪市中央区常盤町１－３－９ 電話06(944)1468代

堀亀久治

三機工業株式会社 常務取締役 関西支社長
〒541 大阪市中央区北浜二丁目２番21号 電話06(202)3071
〒664 自宅・伊丹市北本町１丁目110番１号
伊丹パークホームズ２ —406 電話0727(75)3095



前田平一郎

ゼネラル事務機株式会社 社長
〒550 大阪市西区靱本町3丁目2番7号 第1横井ビル
電話06(441)1462代
〒560 自宅・豊中市上野東１丁目16—21 電話06(849)5764

松田恒彦

株式会社 ART建築設計事務所 代表取締役所長
〒530 大阪市北区東天満２丁目３—10 トップス天満ビル
電話06(357)5351代
〒546 大阪市東住吉区西今川2丁目8－7 電話06(702)6738

松原満佐子

有限会社 柳々堂 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀１—12—３ 電話06(443)0167～8
FAX06(443)1826
営業所：鴻池ビル１階 電話・FAX 06(251)8233

松本重太郎

マツ六株式会社 取締役社長
〒543 大阪市天王寺区四天王寺１丁目５番47号
電話06 (774)2200

松本弘

西日本建設業保証株式会社 取締役社長
〒550 大阪市西区立売堀２丁目１番２号 電話06(543)2553

三品哲夫

財団法人 大阪市建築技術協会 理事長
〒541 大阪市中央区北浜４－１－21 住友生命淀屋橋ビル4階
電話06(208)8144
〒560 自宅・豊中市上野東1-10-45-205 電話06(848)9067

三谷忠義

株式会社 三谷設計 代表取締役
〒694 島根県大田市久手町波根西777の１
電話08548(2)8121代
〒694 自宅・島根県大田市久手町波根西65－１
電話08548(5)8320

薬袋公明

株式会社 日建設計 取締役社長
〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目6番2号 電話06(203)2361

宮後浩

株式会社 コラムデザインセンター
株式会社 コラムパースアカデミー 代表取締役
〒542 大阪市中央区南船場4－13－15 コラムビル
電話06(245)4631
〒546 自宅・大阪市東住吉区山坂5—19—24—704
電話06(607)7571

暑中お見舞申し上げます

平成３年盛夏　(50音順)

村　石　　全

浪速合板株式会社　代表取締役社長

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目5番3号　電話06(568)3671
〒659 自宅・芦屋市岩園町25番15号　電話0797(34)0835

室　谷　山　水

室谷商事株式会社　取締役会長

〒650 神戸市中央区三宮町3丁目7-6 神戸ファクトクビル
電話078(331)0881
〒650 自宅・神戸市中央区山本通4丁目17－17
電話078(221)5050

森　　淳

三和電気土木工事株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区南森町1丁目4番19号　電話06(361)6451代
〒596 自宅・大阪府岸和田市別所町2丁目3番5号
電話0724(22)7710

八　木　喜美蔵

YAGISO　BRICKS
八木惣株式会社　代表取締役社長

〒593 堺市津久野町3丁28番10号電話0722(62)3838代
〒593 自宅・堺市津久野町3丁28番10号　電話0722(62)0722

矢　野　卓　生

中央電気工業株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区太融寺町3番24号 電話06(312)8881代表

山　内　恒　男

株式会社 石本建築事務所　取締役大阪支所長

〒542 大阪支所・大阪市中央区島之内1-20-19 白水ビル
電話06(251)7507
〒102 本社・東京都千代田区九段南4-6-12 電話03(3262)7161
札幌・名古屋・九州・仙台・横浜

山　地　英　雄

株式会社　オオバ大阪支店　常任顧問

〒540 大阪市中央区釣鐘町2丁3番11号
電話06(943)5161(代表)
〒565 自宅・豊中市新千里北町3－16－1　電話06(872)3746

山　本　貴　士

朝陽電気株式会社　代表取締役

〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号　電話06(385)1361代
朝日ビルディング内
〒565 自宅・吹田市藤白台4丁目23番8号
電話06(871)0851

横　尾　義　貫

財団法人 日本建築総合試験所 理事長

〒565 本所・吹田市藤白台5－8－1
電話06(872) 0391
〒531 大淀分室・大阪市北区長柄西2－1－18
電話06(351)7217
〒592 堺分室・堺市浜寺石津町西2－1－34
電話0722(44)3912
〒612 京都分室・京都市伏見区中島前山町24－2
電話075(622)0713
〒675-01 加古川分室・加古川市別府町新野辺字畑下1311-3
電話0794(35)5811

常務取締役西日本支社長 **吉　竹　寛**
大阪事務所所長 **西　田　一　好**

株式会社　教育施設研究所　大阪事務所

〒550 大阪市西区立売堀1丁目13番1号　電話 06(531)0913
大信ビル　FAX 06(541)7301
〒731-01 自宅・広島市安佐南区緑井2-14-19 電話082(877)2028
〒560 自宅・豊中市東寺内10－36
グリンパークハイツ　電話 06(339)3550

和　田　眞　一

株式会社　東　和　組　代表取締役

〒530 大阪市北区西天満4丁目5番14号　電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町3番8号　電話0797(22)3282

和　中　　勝

株式会社　和中商店　相談役

〒531 大阪市北区豊崎5丁目8番11号　電話06(371)0731～5
〒150 東京都渋谷区桜丘町11－5電話03(3464)9723
〒453 名古屋市中村区黄金通3丁目34番地
電話052(481)7338
〒659 自宅・芦屋市楠町16－18－201　電話0797(31)7950

渡　辺　　忠

東洋シヤッター株式会社　取締役相談役

〒540 大阪市中央区常盤町1-3-8 日本生命谷町ビル
電話06(943)6571代
〒560 自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号　電話06(856)0988

渡　部　慶　一

株式会社 松田平田 大阪事務所取締役所長

〒530 大阪市北区曽根崎新地2-5-3堂島TSSビル
電話06(344)7821
〒659 自宅・兵庫県芦屋市大桝町1－10
電話0797(38)7938

事　務　局　一　同

社団法人　日本建築協会



1991年5月24日(金)・25日(土)
参加者総数44人



西淡町・産業文化センター前で全員集合

ロマンのある地域おこし

快晴の5/24(金)10：30、明石港より連絡船にて淡路島の岩屋港へ。さらにバスに乗り換え、津名町佐野にある蓮台山八浄寺へ11：20に到着、岩坪真弘住職の講演を拝聴した。

住職が長年淡路島に情熱を燃やし続けている「地域おこし」をテーマとして、体験談を交えながら、ユーモアいっぱいにお話をいただいた。昭和38年、社会的経済的に衰退していた当寺に来られ、最初に僧侶の役割として何をなすべきかを考えた結果、寺の発展は地域住民の活性化にありとし、一つのアイディアとして、日本で最初に出来た島＝おのころじま、淡路島に最も相応しい霊場を造る＝七福神(海を渡って来る)＝ロマンがある、ということをテーマに、行動を開始された。すなわち町の活性化のキーポイントは、地域にマッチした特殊性が効果的に作用するような働きかけにあり、しかもその内容には必ずロマンがなければならないという。またリゾートの元祖は弘法大師であり、日常の煩わしさから逃れ、現代人のあまりにも速すぎる日常生活のスピードを生命の経過時間に戻す＝リゾート、すなわち自然の命の空間を考えたい。さらに現代的にリゾート開発を企業として成立させようとするならば、地域全体の経済的繁栄を連鎖的に誘発させるようなファクターも忘れてはならない、と七福神霊場の成功例を引きながら、楽しくかつ今後のリゾート開発に対して示唆を与える有意義な講演会であった。

タイル工場でらく焼き制作

講演後、昼食のお弁当をいただき、13：00出発、洲本南のサントピアマリーナ内エクシブ淡路島（建設中、設計：安井建築設計事務所、施工：鹿島建設）に13：30到着、現場におられる鹿島建設の前田義輝課長から計画、規模、レイアウト等の説明をお聞きした後、サントピアマリーナ全体を見学した。

15：00、ダント一福良工場に到着、大根田能夫工場長より工場のレイアウト、タイルの製造工程等の説明を受け、タイルの出来上がるまでを見学した。その後、心待ちにしていたらく焼き制作に挑戦、皆、首を斜めにして口を尖らせ絵筆で20センチ角タイルの上にそれぞれのデザインを描いているさまは何か小学生のお絵描きの時間のようだった。このように心豊かになるようなチャンスを与えて下さったダント一に感謝いたします。

リゾートを考え、ディナーを楽しむ

17：15、宿泊先のホテルアナガに到着。17：30より国立民族学博物館助教授・石森秀三氏による講演会を19：00まで拝聴した。石森秀三氏は1945年神戸市に生まれ、1969年以来、ミクロネシア、ポリネシア、東南アジア、日本各地で民族学的調査に従事。近年は観光現象に関する文化人類学的研究に従事し、日本における観光人類学の発展を推進されている方で、当日の講演会のテーマは、「これからのリゾートのあり方」ということでお話をしていただいた。

内容として、

1.フランスのリゾートのあり方
(1)リゾートの歴史的展開
(2)国家によるリゾート展開
(3)施設整備の状況
(4)リゾート・ビジネスの展開
(5)リゾート関連産業の展開
2.日本のリゾートのあり方
(1)リゾートの歴史的展開
(2)日本型リゾートの現状
(3)日本型リゾートのあり方
(4)観光ルネッサンス

について、西欧でのリゾートの発生とその必然性、江戸時代の遊山と湯治、農閑期の旅、



岩坪住職講演会



ダント一大根田工場長から説明を聞く



石森民博助教授講演会

自由時間革命等さまざまな角度からリゾートへの考え方を述べられ、われわれにも理解しやすい内容であった。

夕食時には、翌日に瓦の町づくりの説明をお願いしている山田脩二氏もお招きし、楽しいディナーとなった。晴れていれば、ここホテルアナガより眺められるはずの、夕映えに映える大鳴門橋、瀬戸内の島々、海面の色の変化を楽しみながらというプラスアルファーを期待していたが、曇天のため残念ながら見ることは出来なかった。

建物はコロニアルスタイルの２階建、庭園にはプールを中心に、夜間の庭園を巧みな照明によってデザインされており、リゾートとしてのホテルという実感を与えていた。また、ホテルの本館とは別にコテージ、バーもあり、楽しい夜のひとときを過ごすことができるような施設も整っていた。

橋に自然と技術のかかわりを思う

5/25(土)曇り、定刻９：00にバスはホテルアナガを出発、大鳴門橋記念館へ向かった。曇天ながら遥か徳島の町が、たなびく雲の美しさの下に眺めることができた。大鳴門橋、瀬戸大橋等潮流の激しい所での架橋工事、さらに日本特有の気象条件、自然条件等を克服し完成した土木、架橋技術に感服するとともに、ローマでBC１世紀に築造され現在も十分に使用されている橋のことを思いながら、安全率の確保等だけでは済まされない、それ以外のその場における自然をどこまで技術者が把握したかで成功、不成功が決定される……と考えながら次の見学先へ移動した。

南淡路ロイヤルホテル、南は大鳴門橋、西は瀬戸内海、東は福良港の湾口、周辺は木々に覆われた風光明媚な所に建つ大規模（８００人収容）なアーバンリゾート感覚のホテルで、温泉が湧き出している素晴らしいホテルであった。

ホテルプラザ淡路島、場所は南淡町阿万吹上にあり、ホテルより西方の正面に大鳴門橋と瀬戸内海が一望でき、夕映えの美しさは淡路島で一番良い所ではないだろうかと思われた。チャペルの屋根の瓦は淡路島産の瓦を用いているが、洋風の建物に快くマッチしていた。

西淡町の瓦の町づくり

・御原橋の飾り瓦（欄干、親柱）
・西淡町中央公民館の内外壁のデザイン瓦
・西淡町保健センターの表札、バルコニー手すりの瓦
・産業文化センターの瓦（建物、道路、外構）

西淡町には、山田脩二氏の作品が点在していた。氏はかつて建築写真のカメラマンであったが、７年前に氏曰く瓦マンに転職し、淡路島の住人になられたそうである。短時間のため、バスに同乗しながらのそれぞれの説明は、機関銃の弾のごとく飛び出すユーモアをもって参加者を話題の焦点に誘い込み、その話術に感動しながら楽しく見学できた。瓦は屋根のみに葺くものに非ず、デザインへの活用こそ淡路瓦の持ち味を十分発揮できるのではなかろうか、という感じがした。また、西淡町中央公民館では、西淡町係長の岡田昌史氏にも町づくりの説明をいただいた。

ホテルマーレはファミリータイプの高級滞在型リゾートホテルである。淡路島では古くから松、また海水浴場としても有名な慶野松原の中にあり、真夏のさんざめきが聞こえてくるような所であった。われわれはガラス越しに美しい松原と海浜を満喫しながら、落ち着いた雰囲気の中で昼食をとった。

バスに乗る際、ダント一福良工場で制作したらく焼きが手渡され、バスは一宮町へ向かう。

一宮町から淡路島マリーナ・シティへ

バスを降りると一宮町江井の落ち着いた古い町並みに、いい香りが漂っている。普通ならばＰＲは看板かネオンで行うが、香り（気体）でのＰＲに接したのは初めてである。ここが全国の線香の70％のシェアーを占めている町とはとても信じられなかった。土曜日の午後でありながらも、われわれのためにご説明をいただいた一宮町課長の井上善人氏の案内で、廻船問屋住田資料館とその周辺の町並み、香りの公園を散策した。

そして淡路島西海岸より東海岸の淡路島マリーナ・シティ建設予定地（津名町）へ向かう。開発面積約27ha、総事業費１千５百億円、工期1991．８―1994．９（第一期完成予定）、1999．３（全計画完成予定）、事業者：三井物産㈱、㈱長谷工コーポレーション、川崎製鉄㈱、㈱神戸製鋼所、大阪商船三井船舶㈱。説明者の長谷工コーポレーションの中馬博良氏の案内で建設予定地を一巡し、27haの広さを実感した。

次いで最後の見学場所である淡路町に向かう。15分の短時間ではあったが、県立淡路島公園からは、明石大橋建設工事の模様が望遠鏡を通じて手に取るように見えた。現状は橋脚を施工中であった。

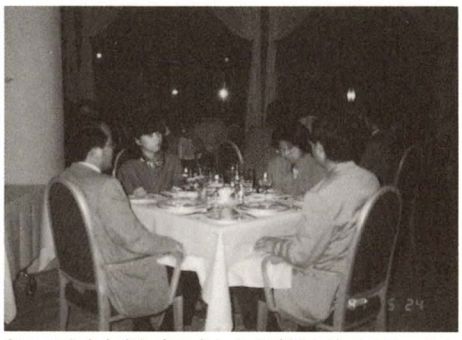
*

最後に、石森秀三講師より、淡路島のリゾート見学会を通じて、さらに皆様のリゾートに関する研究の参考になれば幸甚に思います、とのご挨拶をいただき、バスで帰路、岩屋につき、明石港にて解散した。

二日間何かとお世話になりました関係者の皆様に深くお礼を申し上げます。

（**中川　滋**／事業委員・竹中工務店）


ホテルアナガでディナー、中央が石森氏、右が山田氏


初めて出会う参加者どうしも２時間かけてのリッチなディナーに話が盛り上がる


一宮町・廻船問屋住田資料館前で井上課長の説明を聞く

構造の頁

194 センチュリータワーの構造設計

清水　敬三

センチュリータワービルは、英国の建築家SIR NORMAN FOSTERが設計した日本で最初の作品で、地上21階の南棟と18階の北棟がアトリウム空間を挟んでいるツインタワービルである。

明快な意匠設計コンセプトに基づき構成された建物の部分部分に行き届いた配慮がなされており、これを受けて、構造面でも特徴のある設計を行った。

この機会に、若干の説明をさせていただく。

部分連結されたツインタワー

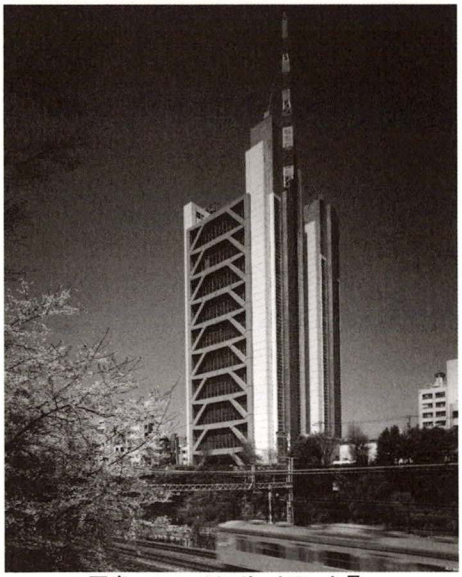
写真－1に示すように、建物の東西方向は、鉄骨造のブレースをアクセントのあるファサードとして使用している。

意匠的に、2層を一つのユニットとして設計されているため、**図－1**のように、このブレースも2層ごとに構成している。各棟に2面設置し、東西方向の剛性を確保した。南北方向はラーメン構造（**図－2**）とし、各奇数階位置で南北間を連結し、ツインタワーの水平荷重時の挙動の一体化を計った。これにより南北方向は同一挙動すると予測されるが、東西方向に関しては、以下の方法で対応した。

アトリウムの水平区画が11階に設置されているゆえ、この部分および19階に水平面ブレースを設置し、南北両棟を同様に挙動させるようにした。これらのスキームを採用することにより、南北両棟がほとんど並進運動であり、回転運動がわずかであり、いわゆる捻れの影響を小さくすることができた。当然のことながら、これは非弾性域を含む範囲でも成立させねばならず、具体的には、疑似立体モデルを用いた弾性および弾塑性応答解析により確認している。

2層構成の偏心K型ブレース構造

2層ごとの大梁の間に、ハ型状に取り付く偏心K型ブレースが設置されている。2本のブレースで挟まれた大梁部分（リンク部）を先に降伏させ（図－1ブレース参照）、ブレースには座屈耐力以上の軸力をおこさせない。このブレースは、耐力や剛性の急激な変化を生じさせず、安定した履歴特性を示すことが知られている。ブレースの断面は500㎜角の溶接組立ボックス材、最大厚36㎜、細長比50をめざした。大梁リンク部は、両端の曲げ降伏によって塑性化するが、ブレース取り付け部から柱側で先行して降伏させないため、梁フランジ厚に差をつけている。



写真－1 センチュリータワー全景

大梁とブレースとの交点位置には、座屈止めの小梁を配置し、および大梁断面を組立ボックス材を使用し、安定した塑性回転性能の確保をめざしている。

吊り床構造

奇数階床は、小梁を南北方向に2台設置して支持したが、偶数階床はブレース構面内に大梁がないため、偶数階床小梁は奇数階小梁から吊り材を介して支持させている。上下方向の地震応答結果から、吊り材に生じる軸力が、レベル1応答時に長期荷重の約40パーセントであるので、安全を見込んで、長期荷重時の2倍の荷重を断面算定用に使用した。

東西方向加力時の吊り床の地震力は、奇数階の床の面内剛性を介してブレースに伝達される。そのため奇数階の床の下部に鋼板を敷き込み、床版の面内剛性と耐力の補強を行った。

使用鋼材

梁、柱ともSM50A材を使用しているが、偏心ブレース架構部分の隅柱は、長期、短期ともに高軸力をうけるので外側の隅柱は6階まで、アトリウム側は10階までSM58Q材を使用し、溶接組立ボックス形、最大厚80㎜とした。

謝辞

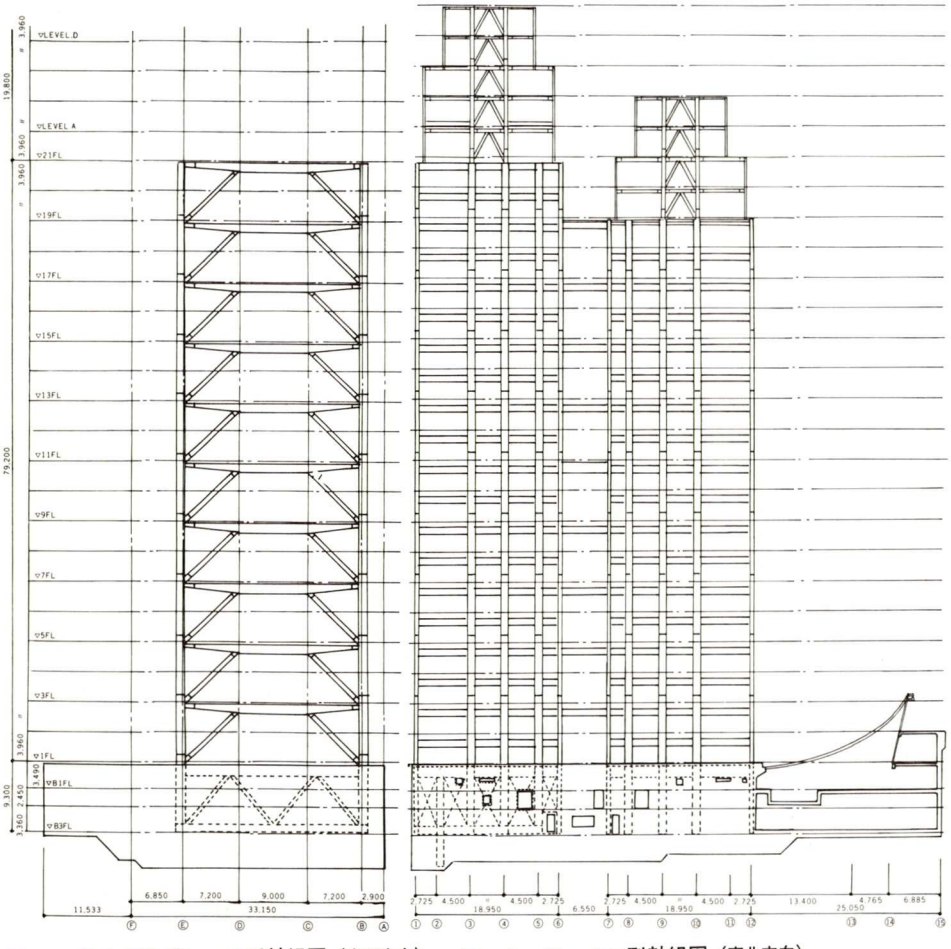
この建物は、ロンドンのO.A.P.社の基本計画のもとで構造設計が行われました。また、構造設計を行ううえで、多くの方々からご助力・ご助言をいただきました。

ここに厚く御礼申し上げます。

参考文献

建築技術	1991年4月号　P.123－P.128
日経アーキテクチュア	1990年1月22日号
日経アーキテクチュア	1990年12月24日号
ビルデイングレター	1990年7月号　P.17－P.19

（しみず　けいぞう
株式会社大林組設計本部設計12部部長、Ph.D.）



図－1 偏心K型ブレース列軸組図（東西方向）　図－2 ラーメン列軸組図（南北方向）

設備の頁

195
クリスタルタワーにおける総合情報ネットワーク制御システム

井上　良則



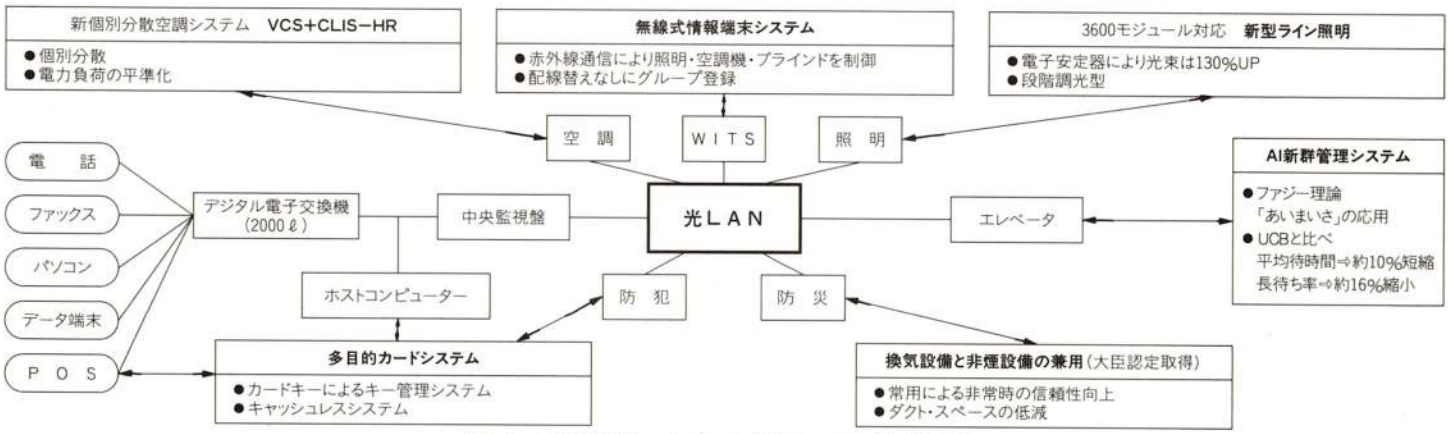
OBPに建つインテリジェントビル群（左端がクリスタルタワー）

全世界の情報が各メディアによってリアルタイムで得られるようになり、社会が急速に情報化社会へ進展するなか、企業を取り巻く環境の変化、エレクトロニクス技術の革新的変化のために、従来のオフィスでは配慮されていなかったさまざまな設備・機能への要求が生じ、インテリジェントビルが誕生した。

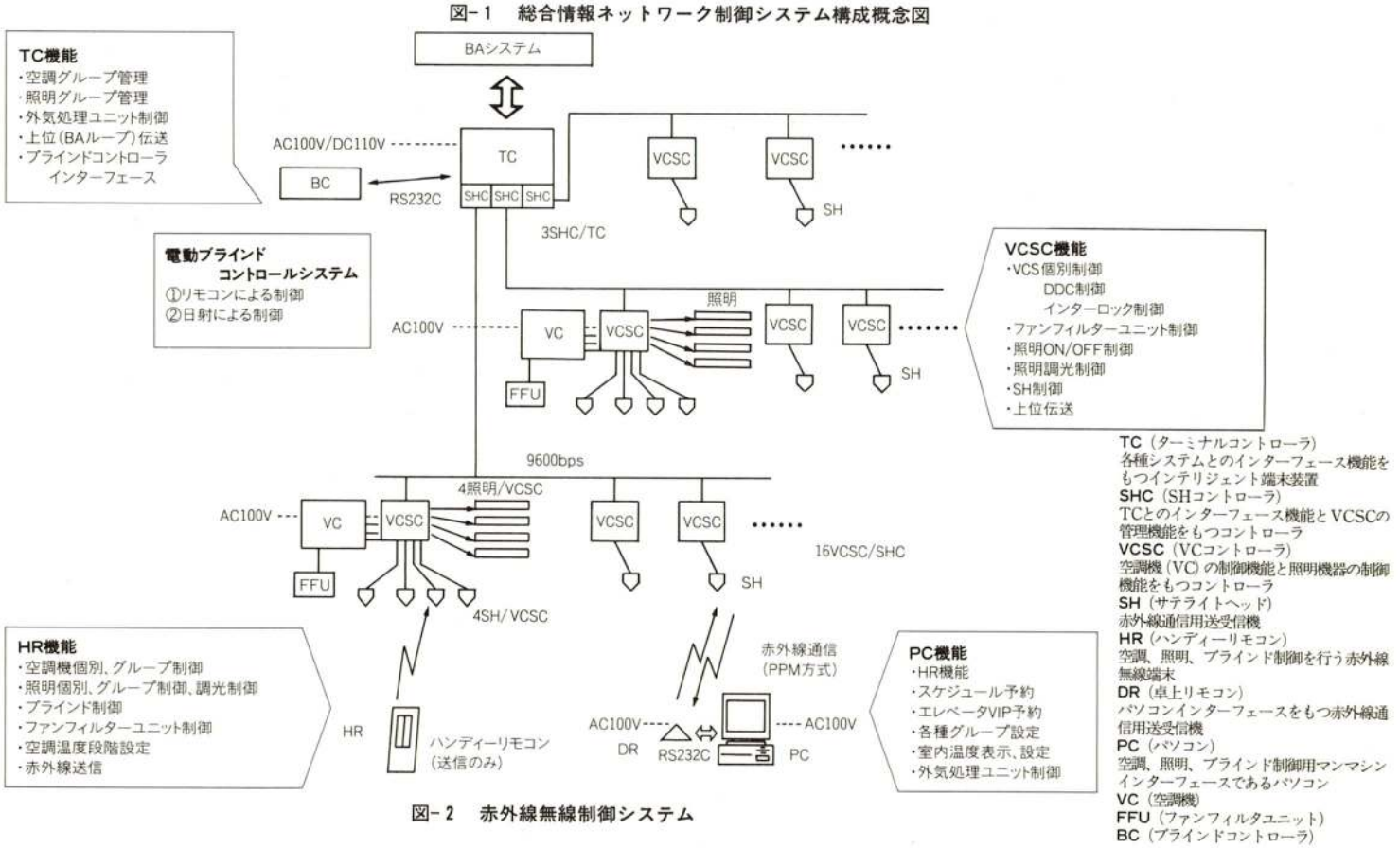
インテリジェントビルは全世界の通信ネットワークと結ばれ、その業務は定型的作業から人間本来の思考、すなわち創造的業務へと移行した。このハードな業務を支援するため執務環境は従来以上に重要となり、24時間いつでも快適な環境がつくり出せ、リフレッシュする空間が求められている。しかも、この要求を、資源をもたない日本としては、省エネルギーに十分配慮して達成する必要がある。

総合情報ネットワーク制御システム

設備システムとしては、必要なとき必要な場所に必要なだけ電力、熱エネルギー、情報を効率よく、高い信頼性で供給する必要がある。また、設備機器をより高度利用するために一つの情報で一つのものを制御するのではなく、多面的に利用し利便性を高めるため、情報を統合化する総合ネットワークを構築する必要がある。オフィスの環境は居住者のニーズに応じ好みの環境を自ら制御し、環境に関わる外光制御するブラインド、照明の調光および点消灯、空調のON、OFFおよび温度設定と、これらのグループ設定が自由に変更でき個人に最適の環境を自らが創出できるものとした。以上述べたことを具現化する総合情報ネットワーク



図−1　総合情報ネットワーク制御システム構成概念図



図−2　赤外線無線制御システム

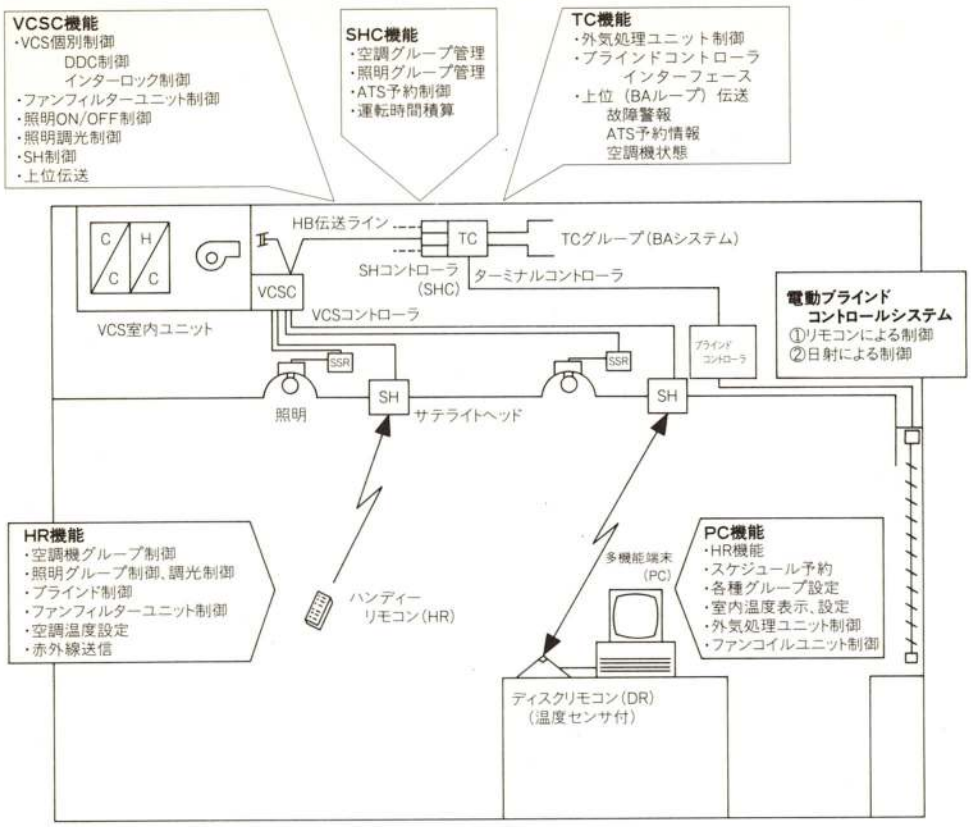


図-3　VCSC制御システム

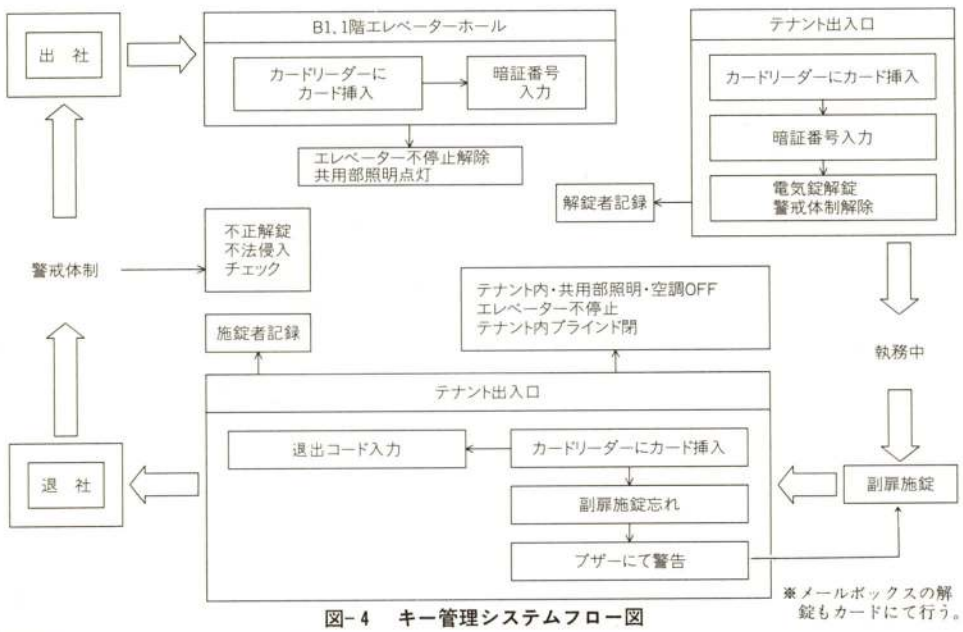


図-4　キー管理システムフロー図

制御システムの構成概念図を、**図—1**に示す。

このシステムは、各設備の個々の制御機能はローカル制御として独立し個別分散完結型としながら、個々の情報を多面的に利用し、より高度な利便性を確保するために個々の制御システムをループ状の光LANによりネットワークし、相互に制御情報の伝送が可能とし、情報の一元化を図った。

個々の制御システムの主なものについて述べる。

マン・マシンコミュニケーションシステム

居住者のニーズに応じ快適な環境を自ら制御するマン・マシンコミュニケーションのツールとして、赤外線無線とICカードを利用することにした。

■赤外線無線制御システム

ビル内設備、情報を使いやすい形で居住者に提供するためのマン・マシンインターフェースシステムとして、赤外線無線システムを用いた。居住者は手元のハンディーリモコン（H.R.）により空調室内ユニット、照明、電動ブラインドの制御を自由に行え、空調室内ユニットの温度設定、スケジュール予約、グループ登録、および照明・ブラインドのグループ登録も多機能端末（パソコン）を使用し、自由に設定できる。

さらに、空調室内ユニット、照明、ブラインドにはおのおのにリモコンリレーをとりつけ、リレーの作動グループの変更はソフトにより対応しているので、レイアウト変更時にハードをさわることなく（たとえば照明スイッチ回路の変更等）容易にできる。このシステム構成図を**図—2**に示す。

本システムはビルディングオートメーション（BA）の一つのサブシステムで、BAシステムとターミナルコントローラ（TC）のインターフェース機能により、必要情報のみのデータ送受信を行っている。

基準階を⅓ごとに、サテライトヘッドコントローラ（SHC）を設置し、その領域の空調室内ユニットと照明の制御機能をもつコントローラ端末であるベーパークリスタルシステムコントローラ（VCSC）の管理機能をもたせた。

VCSCの機能

VCSCはベーパークリスタルシステムの空調室内ユニットをDDC制御し、それとともに基準内時間、基準外時間の積算を行っている。さらに、空調エリアの照明制御機能の統合化を図っている。この照明は、ON、OFFの制御とともに、100%と130%の調光を行っている。概念を**図—3**に示す。

ハンディーリモコンによるグループ制御信号は、VCSCを統括管理しているSHCで個別制御信号化され、VCSCにより制御を行っている。SHCは⅓フロア単位でVCSCの管理機能を行っているため、ハンディーリモコンの操作に対して迅速に応答でき、BAが万が一ダウンしても独立して照明、空調の制御が行えるといった自立分散化が可能である。

さらにSHCは、赤外線通信送受信機としての機能だけでなく、人体検知センサーが組み込まれ、キー管理システムとの連動による防犯センサーとしての機能、また人体検知による照明の自動点灯制御が可能となっている。

電動ブラインドコントロールシステムには、屋上の方位ごとの光量センサーと太陽高度による日射自動制御システムも採用しているが、居住者がハンディーリモコンによっても制御できるようにしている。

■多目的カードシステム

ICカードを利用し、セキュリティー面はもとよりビル内キャッシュレス、個人情報管理での多目的なカードシステムを構築している。ICカードは居住者全員に貸与し、個人ID登録することによりパーソナルなカードとしている。

セキュリティー面で採用したカードキー管理システムでは、従来の鍵に代わり、居住者各個人の持つICカードによってテナントの扉の施解錠ができるもので、そのため煩わしいビル管理者との鍵のやりとりが不要となり、居住者の利便性の向上がはかられている。さらにカードキーによる施解錠情報により、テナント内防犯監視およびエレベーター運行サービスの開始、停止、照明空調の消し忘れ防止、そしてブラインド閉止による日射ロス防止といったビル設備の連動が行われる。カードキー管理システムのフロー図を**図—4**に示す。

むすび

人間重視の環境がオフィスに求められるなか、赤外線無線制御システムにより、オフィスワーカに使いやすいビル設備が実現できたと考えている。今後は、中小のビルにもこの利便性の高いシステムを採用したいと考えている。

（いのうえ　よしのり
株式会社竹中工務店設計部部長〈設備担当〉）

日本建築協会

月間の動き

平成３年５月分

理　事　会

第２回定例理事会

22日　４時～５時　於本会会議室

出席者　佐野、市川、金多正副会長ほか27名

議事　(1)定時評議員会開催の件
(2)通常総会開催の件
(3)平成２年度事業報告（案）承認の件
(4)平成２年度決算報告（案）承認の件
(5)名誉正会員推挙の件
(6)日本建築協会委員会等旅費規程(案)の件
(7)第11回大阪まちなみ賞（大阪都市景観建築賞）に対する協賛の件
(8)入退会者承認の件

編　集　委　員　会

第２回構造分科会（新旧合同）

１日　４時～６時　於本会会議室

出席者　角幹事ほか５名

議事　(1)「構造の頁」の企画
(2)10月号構造特集の企画

第２回作品作風小委員会

(1)作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
(2)作品の選定並びに本年度「新建築調査」依頼
(3)「Gallery」内容報告及び今後の予定
(4)誌面（「作品作風欄」・「スケッチブック欄」）の検討
(5)見学の企画

第２回編集委員会

９日　４時～６時　於本会会議室

出席者　溝神委員長ほか４名

議事　(1)５月号「今、京都」・「建築家のための設備知識―複合商業ビルによるケーススタディー」・「きんでん」特集経過報告
(2)６月号「建築と土木」・「近畿地建」・「毎日放送本社ビル」特集経過報告
(3)７月号「施工材料」特集経過報告
(4)８月号「建築紛争」特集経過報告
(5)収支状況報告

合同計画分科会特集第３回幹事会

９日　６時～９時　於本会会議室

出席者　佐藤幹事代行ほか３名

議事　平成３年９月「合同計画」特集案検討

「近畿地建」特集第６回編集会議

10日　１時半～４時　於近畿地建会議室

「大林組」特集第４回編集会議

10日　10時～12時　於大林組会議室

出席者　本間利雄（大林組）ほか６名

議事　「大林組」（仮称）特集案検討

第２回会員企画小委員会

14日　６時半～８時15分　於本会会議室

出席者　高橋委員長代行ほか５名

議事　シリーズものの報告と掲載予定

「大林組」特集第５回編集会議

15日　１時半～３時半　於大林組会議室

出席者　本間利雄（大林組）ほか７名

議事　「大林組」（仮称）特集案検討

第３回構造分科会（新旧合同）

20日　６時～８時半　於本会会議室

出席者　角幹事ほか５名

議事　(1)「構造の頁」の企画
(2)10月号「建築と土木」特集の企画

第２回施工材料分科会

23日　４時～６時45分　於本会会議室

出席者　村上幹事ほか５名

議事　「建設現場のイメージアップ作戦」特集企画の具体的内容検討

「大林組」特集第６回編集会議

24日　10時～12時半　於大林組会議室

出席者　本間利雄（大林組）ほか７名

議事　「大林組」（仮称）特集案検討

「近畿地建」特集第７回編集会議

27日　１時半～３時　於近畿地建会議室

出席者　入谷俊之（近畿地建）ほか２名

議事　「近畿地建」（仮称）特集案検討

第２回広告企画小委員会

28日　４時～６時　於本会会議室

出席者　溝神委員長ほか４名

議事　(1)５月号「今、京都」・「商業施設の設備」特集広告途中経過報告
(2)６月号「建築と土木」・「近畿地建」・「毎日放送本社ビル」特集広告途中経過報告
(3)７月号「施工材料」特集広告途中経過報告
(4)８月号「建築紛争」特集広告途中経過報告
(5)９月号「空間のアイデンテティ」・「住宅政策」特集広告途中経過報告
(6)平成３年度独自特集企画、その他
(7)収支状況報告

合同計画分科会特集第４回幹事会

30日　６時～９時　於本会会議室

出席者　田中直人委員ほか４名

議事　「合同計画」特集案検討

事　業　委　員　会

第２回若い会員の集い小委員会

７日　６時半～９時　於本会会議室

出席者　杉本副委員長ほか６名

議事　(1)前回事業委員会の報告
(2)「関西の祭事の研究」の報告
(3)今後の企画について
(4)当小委員会のあり方、分科会の編成について

第２回広報小委員会

８日　６時～９時　於竹中工務店設計部会議室

出席者　三好、原見副委員長ほか10名

議事　(1)前回事業委員会の報告
(2)第１分科会からの報告と検討
(3)第２分科会からの報告と検討

第２回見学会小委員会

10日　６時～８時　於本会会議室

出席者　南副委員長ほか６名

議事　(1)田中新委員の挨拶、全委員の自己紹介
(2)前回事業委員会の報告
(3)見学会の実施報告
(4)今後の見学会の予定
(5)今後の見学会の候補について

第２回関西の近代建築を訪ねて分科会

15日　６時半～９時45分　於本会会議室

出席者　杉本副委員長ほか２名

議事　(1)神戸の古い教会５つの見学会
(2)今後の企画

第２回事業委員会

16日　１時～２時40分　於本会会議室

出席者　多井、三好正副委員長ほか７名

議事　(1)各小委員会からの報告と検討
(2)委員の出張旅費について

第１回テーマパーク分科会

23日　６時半～８時半　於本会会議室

出席者　田中委員ほか１名

議事　本年度の企画について

第１回大阪国際平和センター企画分科会

31日　７時～10時半　於本会会議室

出席者　内仲、松隈両幹事ほか１名

議事　シーラカンス、大阪国際平和センター、作品展・講演会・見学会の企画について

教　育　委　員　会

第１回講習会小委員会

20日　６時～７時　於本会会議室

出席者　ゲスト中山雅博氏、橋目福司氏（竹中工務店）
藤井孝晏氏、水落和則氏（大林組）
金田副委員長ほか５名

議事　(1)建築工事実務講習会改定テキスト全体構成の調整について
(2)サブテキストについて
(3)大阪開催について
(4)地方開催について

第１回工高生教育小委員会

21日　６時～８時　於本会会議室

出席者　和田副委員長ほか６名

議事　(1)日本建築協会創立75周年記念事業「工高生デザインコンクール入選作品集」について
(2)「施工教育用ビデオ」について

建　材　委　員　会

第２回委員会

８日　３時半～５時半　於本会会議室

出席者　金井委員長ほか８名

材料説明：天然スレート屋根システム
担当／猪野委員

今後の検討建材：湧水フォーム（湧水処理材）
担当／松本委員

出　版　委　員　会

第2回委員会

16日　5時～6時　於本会会議室

出席者　須賀委員長ほか7名

議事　(1)〈プロのノウハウ〉と特装本の経過報告

(2)今後のテーマと執筆者選定について

(3)プロのノウハウ講座シリーズについて

建　築　ク　ラ　ブ

第229回朝食会

14日　8時～9時半　於大阪グランドホテル

演題　「美人と人生」

講師　井上章一(国際日本文化研究センター助教授)

出席者　63名

見　学　会　・　講　演　会

ハイタッチリサーチパーク見学会

9日　1時～5時

参加者　70名

"RESORT ISLAND 淡路島"一講演会と見学会

24日～25日　1泊2日

講演会　1.「これからのリゾートのあり方」

会場：ホテルアナガ・ホール

講師：石森秀三氏（国立民族学博物館助教授・観光人類学）

2.「淡路島の地域おこしとリゾートのあり方」会場：八浄寺

講師：岩坪真弘氏（八浄寺住職・淡路21世紀協会理事）

見学先　24日　1)サントピアマリーナ、エクシブ淡路島建設工事

2)ダント一福良工場

3)ホテルアナガ

25日　4)大鳴門橋（記念館）

5)南淡路ロイヤルホテル

6)ホテルプラザ淡路

7)西淡町・瓦のまちづくり

8)ホテルマーレ

9)廻船問屋住田資料館、香りの公園

10)淡路島マリーナシティ建設予定地

11)県立淡路島公園

参加者　44名

講演会「神戸ハーバーランド」

一本格的ウォーターフロント新都心の事業計画と街づくり一

28日　2時～5時半　於神戸ガスビル6F大会議室

1「神戸ハーバーランドのまちづくり」

伊賀俊昭（神戸市都市計画局ハーバーランド建設室室長）

2「Bブロック、ウォーター・フロントの設計」

山内一晃（竹中工務店設計部課長）

3「神戸ハーバーランドの地域冷暖房計画」

籔　雅則(大阪ガス地域エネルギー開発室係長)

参加者　74名

GALLERY・MA講演ビデオ映写会

22日　6時半～8時　於本会会議室

(1)相田武文「沈黙・遊戯・ゆらぎ」

(2)鈴木エドワード「FULL METAL JACKET」

参加者　40名

話　題　建　築　を　聞　く

芦屋市立美術博物館一太田隆信氏に聞く

30日　2時～4時15分　於本会会議室

参加者　26名

5月の入会者（敬称略）

〔団体会員4社〕

コクヨ㈱　塩谷建設㈱

匠設計一級建築士事務所　丸山建設㈱

〔個人会員35名〕

相田　康弘（安井建築設計事務所）	井藤　裕明（安井建築設計事務所）	飯島　憲一（安井建築設計事務所）
植村　智幸（安井建築設計事務所）	加藤　裕（安井建築設計事務所）	上坂　徹（安井建築設計事務所）
亀井　晋（安井建築設計事務所）	佐藤　賢一（安井建築設計事務所）	田口　貴史（安井建築設計事務所）
野代　洋二（安井建築設計事務所）	守安　聡司（安井建築設計事務所）	山崎　貢沢（安井建築設計事務所）
吉田　正行（安井建築設計事務所）	吉富　聡（安井建築設計事務所）	茅切　瑞穂（東畑建築事務所）
佐藤　時夫（東畑建築事務所）	斉藤　茂（東畑建築事務所）	清水栄一郎（東畑建築事務所）
辰巳　幸司（東畑建築事務所）	松村　孝治（東畑建築事務所）	宮川　和彦（東畑建築事務所）
八杉　政一（東畑建築事務所）	若林　正人（東畑建築事務所）	天野　宏（近畿建設）
礒田　亘弘（礒田建築設計事務所）	尾崎　武寛（尾崎武寛建築事務所）	大竹　嘉郎（戸田建設）
坂根　孝（井上工業）	新保　哲也（新保哲也アトリエ）	田中　靖高（東レグラサル）
棚橋　和夫（錺高組）	都築　周（建築技研）	臂谷　年勝（日総建）
三浦　和人（大阪読売不動産）	湧澄　勝（ワキズミ建設）	

〔準会員　1名〕

柴田　賢三（京都芸術短期大学）

◀会員の訃報

〔名誉会員〕

浦辺　鎮太郎（82歳）平成3年6月8日死亡

堀井　啓治（91歳）平成3年3月15日死亡

INFORMATION　お知らせ

維持保全、改修を表彰する制度『BELCA賞』創設

良好な建築物のストックの形成に寄与することを目的に、既存建築物で適切な維持保全を推進し、または優良に改修を実施した者（物件）を表彰する『BELCA賞』が、㈳建築・設備維持保全協会（略称・BELCA）に創設されることになり、表彰候補作品を募っている。

●募集期間　1991年7月20日(土)～8月31日(水)

●選考範囲（歴史的記念建造物を除く）

(1)ロングライフビルディング部門（LLB部門）

建築物のロングライフを考慮した設計のもとに建設され、相当の年数を経過した建築物で、修繕も含む適切な維持保全を実施している建築物のうち、作品および内部環境としてとくに優秀なもので、築後20年以上を経過していること。

(2)ベストリフォームビルディング部門(BRB部門)

最近改修された建築物で、建築物の長期的付加価値の増進を図って実施された物件のうち、作品および内部環境としてとくに優秀なもので、かつ改修後1年以上経過していること。

●表彰内容

LLB部門、BRB部門それぞれ5点以内を表彰

●審査方法

協会内に設置する「BELCA賞審査委員会」（委員長・芦原義信氏、副委員長・岸谷孝一氏ほか26名）の合議による2段階審査

●応募手続きと要領および提出

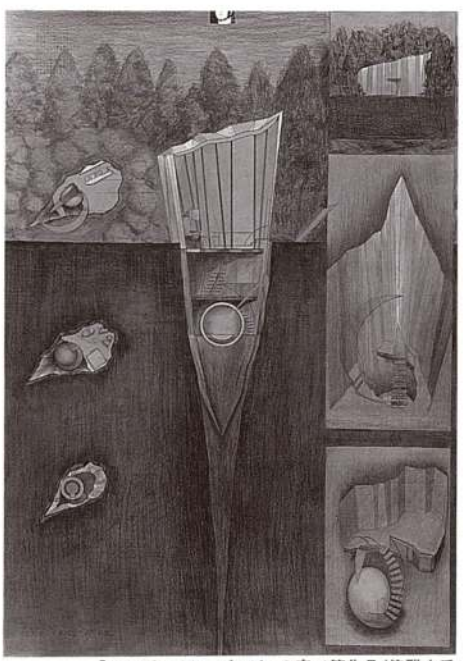
㈳建築・設備維持保全推進協会（〒107東京都港区赤坂1－8－2　TEL03－3224－9181）へ、詳細は問い合わせられたい。

「ペレストロイカーゴルビーの家」コンペ入賞者決まる

第1回エス・バイ・エル住宅設計コンペ（エス・バイ・エル株式会社主催）のユニークなテーマ「ペレストロイカーゴルビーの家」には、460点にのぼる作品応募があり、審査委員会（委員長・出江寛氏、斎藤裕氏、富永譲氏、葉祥栄氏、中島昭午氏）で審査の結果、1等に俵雅人氏（歌一洋建築研究所・27歳）、2等に渡辺善次郎氏(空間工作研究所・真空管主宰)、小野淳(伊丹潤建築研究所)＋協力・小野弘人（フリー）、以下15点の入賞が決まった。

なお、入賞作品は、東京で7月15日～26日に展示されたあと、大阪でも下記のとおり展示される。

日時　1991年8月1日(木)～8月13日(火)



「ペレストロイカーゴルビーの家」1等作品/俵雅人氏

10：00～17：00（水曜日は休み）

場所　エス・バイ・エル㈱梅田ショールーム

大阪市北区梅田・大阪駅前第3ビル20F

21世紀の住まいを考えるシンポジウム開催

21世紀に向けての住宅の開発と地域の特性を生かした公民共同の新しいまちづくりの手法として、大阪府が推進しているコンペ方式によるまちづくりについて、府民の住まいとまちづくりの関心を高めるため、交野市星田地区のまちづくり事業「星田アーバンリビング・デザインコンペティション」を通して、これからの住まいを考えていこうとするもの。

□テーマ　「21世紀の住まいはどうなるか」
□対　象　建築・住民関係者、一般市民400名
□日　時　平成3年9月20日(金)PM1：30～4：30
□会　場　守口文化センター（エナジーホール）
　守口市河原町5番地（京阪電鉄守口市駅前）
□主　催　大阪府、大阪府住宅供給公社
□スケジュール
　挨　拶　大阪府建築部長
　第一部　コモンシティ星田からの報告
　　加藤　晃規（大阪大学講師）
　　宮脇　　檀（建築家）
　　山下　和正（東京工業大学教授）
　　坂本　一成（東京工業大学教授）
　第2部　パネルディスカッション
　テーマ「21世紀の住まいはどうなるか」
　コーディネーター　上田　　篤（京都橘華大学教授）
　パネラー（50音順）　東　　孝光（大阪大学教授）
　　岡部あおみ（美術評論家）
　　長谷川逸子（建築家）
　　横　　文彦（建築家）
□入場料　無料
□申込方法
　ハガキに入場希望者全員の住所、氏名、年齢、職業を明記の上、下記へ先着順に受付、定員に達し次第締切、参加者全員に入場券を送付する。
　〒540 大阪市中央区常盤町1－2－17
　　フコク生命ビル　TEL06－947－1961
　㈱大阪府建築士会内
　「21世紀の住まいを考えるシンポジウム」係
□担当
　大阪府建築部建築指導課調整係　志摩、坂下
　TEL06－941－0351（内線4321）

建築デザイン会議'91 ON THE SEA開催

京都を中心として、全国さまざまな都市の景観と、自然の景観がマスコミを毎日のように賑わしている。いってみれば、それだけ市民の関心が深いということだが、今年の「建築デザイン会議」は、「ランドスケープ」をテーマにとりあげ、会場も、ランドスケープを一望におさめれる洋上でのシンポジウムを予定している。

■開催概要
□日　時　1991年10月11日(金)～12日(土)
□会　場　オリエント・ヴィーナス号（洋上船内）
□主　催　建築デザイン会議実行委員会
□協　賛　YKKグループ
□協　力　デルファイ研究所
□テーマ　「ランドスケープ」
□特別ゲスト　ヴィム・ヴェンダース（映画監督）
□参加者　メンバー120名
　オブザーバー150名
　その他20名
■各分科会テーマ
　第1分科会「それぞれの視点／始点から」
　第2分科会「見えない風景」
　第3分科会「21世紀のランドスケープの様式」
　第4分科会「アーバンチャネリング」
　第5分科会「世界というランドスケープ」
　第6分科会「都市・日本的なるもの、その先」
■オブザーバー募集要項
　ハガキに名前、住所、電話、年齢、勤務先（学校名）を記入して、8月15日(木)までに郵送。参加費（15,000円）は当日受付で。
　なお、参加費には東京までの往復交通費（東京近郊、海外除く）＋宿泊費（船内一泊）＋食費＋資料費を含みます。
□問い合わせ
　建築デザイン会議実行委員会事務局
　担当　安田
　〒102 東京都千代田区四番町8－13デルファイ研究所内
　TEL03－3222－5031
　FAX03－3222－5033

国際建築資材・設備見本市「コンストラクタ'92」開催

国際建築資材・設備見本市として最新の情報交換の場の評価が高い「コンストラクタ'92」が来年ドイツ・ハノーバーで開催される。見本市にあわせて、第1回コンストラクタ建築会議が同時に開催される。

■開催概要
□名称　「コンストラクタ'92」国際建築資材、設備見本市
□会場　ドイツ・ハノーバー市常設見本市会場
□会期　1992年2月7日(金)～12日(水)
□時間　PM9：00～PM6：00（各日）
□主催　ドイツ産業見本市㈱
□規模　（予想）出展社1500社
　展示小間面積10万m²
　有料ビジター数15万人
■展示プログラム
□基礎工事部門
□建築化学部門
□窓・戸・ポーチ部門
□建築技術部門
□セラミック・サニタリ部門
□内装部門
□公共建設部門
□屋外部門
□建築用工具部門
□建築サービス部門
■問い合わせ
　ドイツ産業見本市日本代表部
　〒160 東京都新宿区西新宿1－12－1
　高倉第1ビル6F
　㈱ジャパンビジネスサービス　佐々木
　TEL03－3348－3446
　FAX03－3348－2406

大阪芸術大学建築学科25周年記念行事

■記念講演会
□テーマ　「建築教育とデザインの未来」
□講　演　高橋靗一、伊東豊雄、鈴木博之
□日　時　1991年9月28日(土)PM1：00～4：00
□会　場　大阪芸術大学芸術情報センター
□定　員　200名
□参加費　無料
■記念作品展
□テーマ　高橋靗一と大阪芸術大学建築学科の25年
□日　時　1991年9月21日(土)～28日(土)
□会　場　大阪芸術大学芸術情報センター展示ホール
□参加費　無料
■記念祝賀パーティ及び同窓会
□日　時　1991年9月28日PM6：00～8：30
□会　場　ホテル日航大阪
□参加費　12,000円
■申込み問い合わせ
　大阪芸術大学建築学科研究室
　TEL0721－93－3781（内線3335）

兵庫・町並みゼミ'91但馬竹田、9月に開催

兵庫県朝来郡和田山町竹田。このまちには、嘉吉年間（1441～4年）に守護大名であった山名持豊（宗全）の有力家臣・太田垣氏によって礎が築かれた竹田城跡がある。別名〝虎臥城〟と呼ばれるこの城の石垣は穴太積みによるもので急峻な山上に天に向かってそびえ立ち、眼下にはゆるやかに蛇行して円山川が流れる。

かつての城下町にも、時代の流れとともに、このまちの生き方、活かし方が問われる時期が来ている。たとえば、現代のライフスタイルに合った住み良い環境の整備を中心としたまちづくりが必要なのか、まちの特徴を活かした歴史的、文化的な情緒あふれるまちをつくっていくのか、それとも観光的な要素なども付加していくようなまちにするか。

地元住民とともに、この竹田の城山、川、町並みなどが一体となった景観づくり、保存のあり方について考えるゼミが、下記のように開かれる。

各地からのゼミの参加者を募っている。主催は兵庫町並みゼミ実行委員会、後援は和田山町、全国町並み保存連盟ほか。

■1991年9月14日(土)

13：00　「町並みウォッチング」受付
13：30　班編成で、出発
　竹田城跡→木村酒造屋敷→寺町通り→表米神社相撲桟敷→家具工場→立雲峡
16：30　見学終了
17：30　懇親会（竹田町民会館）

■1991年9月15日(日)

9：00　受付
9：30　開会式
10：00　基調講演　京都大学名誉教授　西山卯三氏
11：30　各地からの報告
12：00　昼食
12：30　「チビッコ竹田町並み探偵団」の報告
13：00　シンポジウム「竹田の景観とまちづくり」
15：00　まとめ
15：15　閉会式

●申込要領

費　用　ゼミ参加費5,000円、宿泊費5,000円、懇親会費（9月14日）5,000円、昼食代（9月15日）800円

申　込　必要事項を記入の上、ハガキで8月25日までに申し込むこと。会費も8月25日までに郵便振替または銀行口座に振り込むこと。

申込先　第5回兵庫町並みゼミ実行委員会竹田大会事務局（〒669-52 兵庫県朝来郡和田山町東谷213-1 和田山町都市開発課 TEL 0796-72-3301）

その他　宿泊先は「立雲荘」などを予定。懇親会時には手みやげの交換・披露が行われるので名産品・銘酒を持参願いたい。

第1回「出雲建築展」で出雲の再確認を

出雲は、古代において独自の文化を生み、広域的な出雲文化圏を形成していた。それは、瀬戸内海を中心とした文化とは感性を異にする日本海文化圏とも言える。それは、朝鮮半島とも深い関わりを持ち、その影響を深く残している。

- 大社造りの巨大木造建築
- 荒神谷の青銅器
- 玉鋼を作り出した鉄の文化
- 上淀廃寺の古代仏教壁画
- 歌舞伎の発祥の地

この「出雲」を建築的に表現することをテーマに一般から作品を募集し、招待作家による建築展並びにシンポジウムが開かれる。

主催は出雲建築フォーラム、建築フォーラム、新日本建築家協会中国支部。後援は島根県、出雲市、大社町ほか3組織。

■「出雲」の建築的表現の作品募集

応募資格　問わない。
提出図面　A1判1枚にまとめること。紙質は自由。ただしパネル化は不可。
表現方法　鉛筆、インキング、写真および彩色など仕上げは自由。
記載事項　応募作品の裏面に、応募者の住所、電話番号、職業、氏名、年齢を明記。ただしこの部分は紙で覆うこと。
作品受付　1991年9月15日～1991年9月30日
送付先　出雲建築フォーラム事務局（ナック建築事務所内 〒693 出雲市塩冶町1065-2　TEL 0853-23-1112）
審査委員　長谷川堯氏（建築評論家）／布野修司氏（建築評論家）／高松伸氏（建築家）／和田嘉宥氏（米子高専助教授）／藤間享氏（出雲文化伝承館館長）
入選発表　入選点数は10～20点、賞金総額は100万円を予定。入選作品は11月3日、4日、旧JR出雲大社駅駅舎で、招待建築家の作品とともに展示する。
招待作家　高松伸氏、竹山聖氏、毛綱毅曠氏、渡辺豊和氏ほか6名程度

■シンポジウム

日　時　1991年11月4日
場　所　大社町内を予定
出席者　上記招待作家

「第2回京都市都市景観賞」すいせん募集

京都のまちにふさわしい優れたデザインの建築物、緑地、広場、橋梁等土木工作物、屋外広告物を表彰する「京都市都市景観賞」が実施される。

この賞は隔年に設けられるもので、今回は「都市景観の日」10月4日に受賞作品の発表を行う予定である。

自薦、他薦を問わず、広く作品を公募している。

応募対象　京都市内に、5年以内に完成した建築物等で下記要件を満たしているもの。
(1)周辺の自然景観やまちなみ景観に調和しているもの。
(2)京都らしさ、京都の歴史伝統文化に対する理解と配慮がされているもの。
(3)意匠、デザインが優れ、技術的にもレベルが高く、京都における将来の都市景観をリードするもの。

応募分類　1類
風致地区、美観地区等規制地域に存する建築物、緑地・広場、橋梁等
2類
その他の地域に存する建築物、緑地・広場、橋梁等、および京都市内の屋外広告物

応募方法　京都市都市景観課・風致保全課・建築指導部指導課ほかに備え付けの所定の用紙に必要事項を記入し、カラー写真2枚（遠景と近景六ツ切サイズ）を添えて8月1日～20日に提出すること。

提出先　「京都市都市景観賞」事務局（京都市都市計画局都市景観部都市景観課内、〒604 京都市中京区寺町通り御池上る TEL 075-222-3474）

INAXギャラリー大阪企画展「オリエントのやきもの展」


アッシリアの多彩色施釉テラコッタ・タイル

アジア・アフリカ・ヨーロッパ三大陸の接点であり、またその文明が交流する一大十字路、オリエント。このオリエントに出土した土器や陶器、いわば釉薬のかかる前と後のやきものを展示し、れんがやタイルのルーツをさぐろうとする展示会がINAXギャラリーで開かれる。

BC2600年頃のエジプトの階段式ピラミッドの地下回廊の壁に使われていた淡緑釉のタイルや、BC700年頃のアッシリアのスフィンクスを描いた施釉テラコッタ・タイル、BC1225年頃のエラム王国の楔形文字が刻まれたクレイ・ブリック。またBC2140年にメソポタミアで城壁に使われていたという「グデアの柱」の復元などが展示される予定。

会　期　1991年8月9日(金)～9月29日(日)
　AM10：00～PM6：00
　休館日　8月10日～15日、9月28日
場　所　INAX大阪ショールーム2F
　（大阪市西区新町1-7-1 TEL 06-532-1956）

Kinden
CORPORATION

設備総合エンジニアリングで世の中を支えます。

あなたの暮らしと「きんでん」は、じつはいろんなところで結びついています。アークヒルズのインテリジェントビル群で、大阪ビジネスパークの超高層ビル群で。さらにはマンションのホームオートメーションにも「きんでん」の技術がいきづいているのです。膨大な経験の蓄積とひたむきな冒険心で、いつも『世の中の底力』でありたい。もっといろんなところであなたと出会いたい。そう考えている「きんでん」です。

世の中の底力

株式会社 きんでん



本　店 〒531 大阪市北区本庄東2丁目3番41号 ☎06(375)6000　東京本社 〒141 東京都品川区東五反田5丁目25番12号 ☎03(3447)3151

暑中お見舞申し上げます

平成３年盛夏

設計事務所有志

株式会社
A.R.I 建築事務所
代表取締役所長　亀　井　晃　治

本社事務所　大阪市中央区谷町7丁目3番4-203号 新谷町第3ビル2F　TEL(06)768-1771(代)
テレファックス(06)768-1406
アトリエ　東大阪市上石切町２丁目１４－３５　TEL(0743)73—６１３７
アリックスタイムスクェア　大阪市中央区谷町7-3-4-105　新谷町第３ビル・１F　TEL(06) 764—１０８９

株式会社 伊東建築設計事務所

代表取締役　竹　原　永一郎

〒556 大阪市浪速区元町2丁目12番30号 難波KIビル　電話 大阪(06)646-0161(代)

株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役社長　鋤　納　忠　治

本　　社　名古屋市中区錦3丁目3-6(日 経 錦 別 館)　電話〈052〉951-1110
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町五番地二(第２日成ビル)　電話〈03〉3294-6061

株式会社石本建築事務所

会　　長　長　野　八三二
代表取締役社長　古　畠　誠　一
取締役大阪支所長　山　内　恒　男
本　　社　〒102 東京都千代田区九段南４－６－12　電話03(3262) ７１６１
大阪支所　〒542 大阪市中央区島之内１-20-19(自水ビル)　電話06 (251) ７５０７代
支　　所　札幌・名古屋・九州　　出張所　仙台・横浜

株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉　沢　哲　史

〒530 大阪市北区神山町14番３号(木津信ビル)　TEL(06)364-9071(代)

URABESEKKEI
株式会社 浦辺設計
URBAN DESIGN & ARCHITECTURE FOR BEAUTIFUL ENVIRONMENT
代表取締役 松村慶三

大阪市北区梅田1丁目12番39号・新阪急ビル〒530 電話 06(341)1680
東京事務所 電話03(3263)9758 岡山事務所 電話 0862(33)6010

株式会社 建設技術センター

代表取締役会長 福永薫
代表取締役社長 坂井茂信

〒532 大阪市淀川区西中島5丁目7−17−602 TEL (06) 304−1148㈹

株式会社 小西設計

取締役会長 小西岬
取締役社長 橋本正章

本社 大阪市西区立売堀1丁目12番16号 電話 (532)4051代表
東京事務所 東京都千代田区神田鍛冶町3−3(大木ビル内) 電話(3256)9301代表
広島事務所 広島市中区小町3番3号(原田ビル) 電話 (246)0144

SHOWA SEKKEI
株式会社 昭和設計

代表取締役社長 岡本行善
代表取締役副社長 林唯夫

本社 〒550 大阪市西区新町1−5−7 四ッ橋ビル Phone 06−532−3421
東京 〒107 東京都港区赤坂3−12−5 赤坂田町ビル Phone 03−3583−2086
神戸 〒651 神戸市中央区八幡通4−2−17 郵船航空ビル Phone 078−251−0651

住鋼エンジニアリング株式会社

代表取締役会長 湯浅武夫
代表取締役社長 川瀬清十郎

大阪市福島区福島7丁目17番16号
TEL 06−451−8618
FAX 06−451−8605

株式会社 AAA(スリーエース) 総合設計

代表取締役社長 浅井潤一

大阪市中央区東心斎橋1丁目6番27号(朝日プラザ心斎橋東ビル2F) 〒542 TEL 06(243)7300

株式会社 創美設計

代表取締役　中原英雄

〒530 大阪市北区末広町3番21号　新星和扇町ビル　TEL (06)312−3587㈹

株式会社 大建設計

取締役社長　吉田　周

大阪市西区京町堀1丁目13番20号 大建設計大阪ビル　電話06−449−6800㈹
東京・横浜・名古屋・京都・福岡・北九州・札幌・仙台・広島

株式会社 東海設計

代表取締役社長　小坂忠勝

本　社　名古屋市中区栄2丁目6番1号(白川ビル別館)　〒460 TEL052-202-1241(代表)
東京事務所　東京都中央区築地4丁目7番4号(築地ファーストビル)　〒104 TEL03-3248-0474(代表)

東西建築サービス株式会社

取締役社長　山口幸治

本　社　〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目7番6号　電話 06-202-3626㈹
支　社　〒103 東京都中央区日本橋馬喰町2丁目1番1号　電話 03-3663-1765㈹
(住友銀行浅草橋ビル4階)

株式会社 東畑建築事務所

取締役会長　東畑謙三
取締役社長　市川宏

本社 大阪事務所　大阪市中央区伏見町4丁目4番10号 電話 (06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2丁目4番3号 (永田町ビル) 電話(03)3581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区名駅3丁目25番9号(堀内ビル) 電話(052)571-8471
九州事務所　福岡市博多区博多駅前2-2-1(福岡センタービル) 電話(092)472-8737

株式会社 日建設計

取締役社長　薬袋公明

〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目6番2号
電話 06-203-2361(大代表)

日積工務株式会社

代表取締役　生島道春

本　　社　〒540 大阪市中央区谷町3－1－9（MG大手前ビル）　TEL(06) 944—2755代表
SSDセンター　〒554 大阪市此花区島屋4－2－7（島屋ビジネス・インキュベータ）　TEL(06) 466—7736代表
東京支所　〒110 東京都台東区台東4－14－8（シモジン・パークビル）　TEL(03)3836—1271代表
日積設計監理㈱　〒542 大阪市中央区東心斎橋1－10－7（市川ビル）　TEL(06) 245—7685代表
㈱京都日積　〒602 京都市上京区今出川通室町東人今出川町333番地（第2高橋ビル）　TEL(075)441－5690

株式会社 林設計事務所

取締役会長　林　茂
代表取締役　見波永造

大阪事務所　〒531 大阪市北区長柄中3丁目1番8号　電話（06） 351—6831
和歌山事務所　〒646 和歌山県田辺市稲成町東皆代231番地の6　電話（0739） 22—8227

株式会社 安井建築設計事務所

取締役会長　佐野正一
取締役社長　椚座正信

本　社　大阪市中央区島町2丁目4番7号　電話 06(943)1371(大代)



六甲アイランド　リバーモール

暑中お見舞申し上げます

平成３年盛夏

建設業有志



株式会社 あめりか屋

取締役会長　前野慶太郎

〒530　大阪市北区中之島四丁目３番25号　電話（06）444－１５０１



株式会社 淺沼組

取締役社長　淺沼禎夫

本社・大阪本店　大阪市天王寺区東高津町12番６号　電話 06(768)5222
東京本店　東京都中央区築地六丁目19番20号　電話03(3248)1800
名古屋支店　名古屋市中村区名駅南三丁目3番44号　電話052(571)5571
支店　札幌・仙台・横浜・広島・福岡

空間に新しいエナジー

ANDO 安藤建設

取締役社長　長澤光一　取締役支店長　飛岡宏佳

本社　東京都港区芝浦３丁目12－８　電話(03)3457－0111㈹
大阪支店　大阪市福島区福島６丁目３－21　電話（06)453－2190㈹



株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町６丁目６番23-309号　電話06（779）３３６１
支店　東京都新宿区内藤町１番地　電話03(3354)０５８１
営業所　京都・奈良・西宮・神戸・埼玉



大之木建設株式会社

取締役社長　大之木晴樹
支社長　稲葉登

本社　呉市中央３丁目12番４号　電話 0823(26)1511番
支社　広島市中区本川町３丁目１番５号　電話 082(231)5244番
支店　東京都港区麻布台２丁目２番12号 三貴ビル４F　電話 03(3585)3655番
〃　福岡市城南区神松寺２丁目13番24号　電話 092(863)7171番

株式会社大林組

取締役会長　大林芳郎
取締役社長　津室隆夫

東京本社　東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 03 (3292)1111番
本　　店　大阪市中央区北浜東4番33号　電話 06 (946) 4578番
支　　店　札幌・東北・横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・九州

株式会社 奥村組

取締役社長　奥村俊夫

本　　社　大阪市阿倍野区松崎町2の2の2　電話 大阪(06) 621-1101(大代表)
東京本社　東京都港区元赤坂1の3の10　電話 東京(03)3404-8111(大代表)
支　　社　東京・大阪
支　　店　札幌・仙台・浦和・横浜・千葉・新潟・名古屋・神戸・広島・高松・北九州・福岡

鹿島建設株式会社

代表取締役社長　宮崎明
常務取締役 大阪支店長　小島雄

本　　社　東京都港区元赤坂1－2－7　電話 03(3404)3311(大代)
大阪支店　大阪市西区阿波座1－3－15　電話 06 (536)3311(大代)

海原建設株式会社

代表取締役　海原壹一

〒530 大阪市北区梅田1丁目2番2－300号(大阪駅前第2ビル3F)　電話06(346)1900番

株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄谷順一郎

本　　社　尼崎市玄番南之町4番地　電話大阪 06(415) 2800(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田・三田

共立建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　加藤毅夫

支　店　大阪市中央区内本町2丁目2番5号　TEL 06－942－2491(代表)
　　FAX 06－942－2498
本　社　東京都渋谷区道玄坂1丁目16番10号　TEL 03－3461－6141(代表)

今日を鍛え、明日に挑戦する

株式会社 近畿建設

取締役社長　川崎健市

本　社　大阪市西区江之子島1丁目2番2号　電話(06)448－5601㈹　FAX(06)448－0356
支　社　東京・滋賀・神戸・九州・四国
AVAXグループ　㈱ヒューマンベステート・㈱ベステートエンジニアリング・㈱ベステック・㈱ベステートキンキ
㈱ベストリンク・㈱滋賀近畿建設・㈱インベスト・㈱ハウスポーツ・㈱ベステートウイングス
AVAXインターナショナル香港Co, LTD.・㈱スペースアートアバックス

株式会社 熊谷組 大阪支店

取締役社長　熊谷太一郎
常務取締役 大阪支店長　磯俣敏行

本　社　東京都新宿区津久戸町2番1　電話03(3260)2111番(大代表)
大阪支店　大阪市都島区片町2丁目10番5号　電話06（352)1151番(大代表)

コーナン建設株式会社

代表取締役　原精一

大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号　電話(06)308－1551大代表
東京都中央区京橋3丁目13番10号(中島ゴールドビル)　電話（03)3564－5711代表
神戸市中央区磯上通5丁目1番24号　電話（078)221－6293代表

公成建設

代表取締役社長　絹川治

本　社　〒600 京都市下京区五条通西洞院西入　☎075-341-0501
大阪支店　〒531 大阪市北区豊崎2丁目4番3号　☎ 06-375-1121
東京営業所　〒141 東京都品川区上大崎3－3－9－215　☎03-3442-1100
名古屋営業所　〒453 名古屋市中村区若宮町3丁目48　☎052-471-1223

株式会社 鴻池組

代表取締役社長　鴻池一季

本　社
大阪本店　大阪市中央区北久宝寺町3丁目6番1号　電話大阪06（244)3500(ダイヤルイン受付台)
東京本店　東京都千代田区神田駿河台2-3-11　電話東京03(3296)7700(ダイヤルイン受付台)
支　店　神戸・京都・四国・横浜・名古屋・北陸・広島・山陰・九州・南九州・東北・北海道

佐藤工業株式会社

取締役社長 佐藤嘉剛　専務取締役大阪支店長 大寺高男

本　社　東京都中央区日本橋本町4-12-20　電話 東京(3661)1231(大代)
大阪支店　〒541 大阪市中央区北浜1丁目1番6号　電話 大阪（203)7221(代表)

人にやさしい環境づくり

SIMON
OSAKA/TOKYO/VANCOUVER

才門建設株式會社

代表取締役　才門正男

本社　大阪府岸和田市下野町3丁目10番25号 〒596
☎ (0724) 38-2121㈹　FAX (0724) 23-3681
支店　東京・神戸　営業所　大阪・堺・和歌山

三和建設株式会社

取締役社長　森本晴夫

本　社　大阪市淀川区加島1丁目55番6号　電話 06(301)6636
支　店　東京都荒川区東日暮里4丁目10番10号　電話03(3891)8871
支　店　京都市右京区西院高田町31番地1　電話075(311)8897

SHMZ

清水建設株式会社

社　長　今村治輔
常務取締役 大阪支店長　久保力

本　社　東京都港区芝浦1－2－3　電話03(5441)1111
大阪支店　大阪市中央区本町3－5－7　電話06 (263)2811
支　店　横浜・千葉・名古屋・神戸・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌

SEKISUI HOUSE

積水ハウス株式会社

代表取締役社長　田鍋健

本　社　〒530 大阪市北区中之島6丁目2番27号(中之島センタービル)　☎06 (446)3111
東京支社　〒160 東京都新宿区西新宿1丁目6番1号（新宿エルタワー）　☎03(3346)6500

大地への愛　人間への愛

錢高組

社長 錢高一善

本　社　大阪市西区西本町2丁目2番11号 大阪(06)531－6431
東京本社　東京都千代田区一番町31番地 東京(03)3265－4611
支社・支店　大阪・東京・北海道・東北・北関東・千葉 横浜・北陸・名古屋・広島・四国・九州

TAISEI

大成建設株式会社

取締役社長　里見泰男
取締役大阪支店長　市川正美

本　社　東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル TEL東京(3348)1111大代表
大阪支店　大阪市中央区北浜3丁目7番12号　ＴＥＬ大阪(203)1131大代表
支　店　東京・名古屋・九州・札幌・東北・広島・横浜・北信越・四国

限りない未来への挑戦

大日本土木株式会社

専務取締役
大阪支店長　牧野　保

大阪支店　〒530 大阪市北区堂島二丁目2番2号 近鉄堂島ビル　電話 06 (341) 5931
東京本社　〒162 東京都新宿区市ヶ谷田町２丁目35番地　電話 03 (3268)5511

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中統一

〒541 大阪市中央区本町４丁目１－13　電話 大阪 (252) 1201番(大代表)

人のためのNextech

鉄建建設株式会社大阪支店

専務取締役支店長　安藤昭太郎

〒541 大阪市中央区瓦町３丁目３番７号 電話06 (201)1881(代表)
〒101 本社・東京都千代田区三崎町２丁目５番３号 電話03(3262)3411(代表)

戸田建設株式会社

代表取締役社長　戸田守二
常務取締役
大阪支店長　西川秀信

本　社　東京都中央区京橋１丁目７番１号 TEL東京03(3562)6111
大阪支店　大阪市西区西本町１丁目13番47号 TEL大阪06 (531)6095
支　店　東京・関東・横浜・北陸・名古屋・札幌・東北・広島・四国・九州

東洋興業株式會社大阪支店

専務取締役支店長　三富和

本　社　東京都中央区銀座７－13－10　電話 東京(3545)５１１１
大阪支店　大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル　電話 大阪(348) ５６０２
支　店　名古屋・東北・札幌・九州・横浜・広島

飛島建設株式会社 大阪支店

常務取締役支店長　傳田勲郎

大阪市中央区島町２－２－21　〒540　TEL ０６（９４２）２４８１
本社/東京都千代田区三番町２　〒102　TEL ０３（３２６３）３１５１
支店/札幌・東北・東京・横浜・名古屋・北陸・大阪・広島・四国・九州

南海建設株式会社

取締役社長　芝谷　昭

本　社　大阪市浪速区難波中3丁目5番19号　電話 06（644）7809番
東京支店　東京都千代田区神田須田町1丁目5（新須田町ビル）　電話 03（3251）8431番
岸和田支店・和歌山支店　営業所　堺・泉佐野・橋本・神戸・枚方・京都南・西宮

西松建設

代表取締役社長　柴田　平
取締役関西支店長　宗澤修郎

本　社　東京都港区虎ノ門1－20－10　電話03（3502）0211
関西支店　大阪市中央区釣鐘町2－4－7　電話06（942）1131

株式会社 日興

NIKKO
CORPORATION NIKKO

取締役会長　平本俊秋
取締役社長　平本俊友

本　社　広島市中区国泰寺町1丁目8番4号　電話（082）244－2111番

ふくらむ夢を未来へつなぐ

日本建設株式会社

NIHON
KENSETSU

取締役社長　積山吉興

大阪本社　大阪市中央区備後町1丁目6番15号　TEL（06）226-0630（代表）
東京本社　東京都文京区小石川2丁目6番22号　TEL（03）3818-6081（代表）
支　店　東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡

野村建設工業株式会社

取締役社長　野村文英

本　社　大阪市中央区高麗橋2丁目1番2号　電話（226）9502代表
東京本部　東京都千代田区大手町2丁目1番1号　電話（3241）4171代表

長谷工 コーポレーション

HASEKO

取締役副社長　中村俊雄

大阪市中央区平野町4丁目2番18号　電話　06（203）5661



"高"環境づくり フジタ

専務取締役支店長　宮塚隆義

大阪支店　大阪市北区堂島2丁目1番16号　電話06(348) 4510
本　　社　東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目6番15号　電話03(3402)1911



不二建設株式会社

取締役社長　山口慎一郎

大阪本社　大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 〒540　電話06－946－2241
　　FAX06－946－2317
東京本社　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号 〒160　電話03－3377－5171代表
　　FAX03－3374－2217
札幌・名古屋・福岡・ロスアンゼルス・仙台・静岡・大垣・京都・広畑・広島



不動建設株式会社

取締役社長　式村健

大阪本社　大阪市中央区平野町4丁目2番16号　電話 06（201）1121番
東京本社　東京都台東区台東1丁目2番1号　電話 03（3831）9111番
支　　店　北海道・東北・千葉・横浜・名古屋・神戸・広島・四国・南四国・九州・北九州



株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

本　社　〒540 大阪市中央区常盤町1-3-9　☎06-944-1468代　本支店　大阪・東京・倉敷・京都・四国・福岡
東京本社　〒160 東京都新宿区三栄町23－4　☎03-3357-1600代　営業所　埼玉・大宮・多摩・横浜・静岡・名古屋・宇治・泉南・神戸・岡山・広島・徳島・新居浜・松山・長崎・南九州



前田建設工業株式会社 大阪支店

常務取締役支店長　西利治

支　店　大阪市都島区東野田町2丁目4番20号　電話 大阪（353）7891（代表）
本　社　東京都千代田区富士見2丁目10番26号　電話 東京（3265）5551（代表）



株式会社 松村組

取締役社長　松村雄吾

本　　社・大阪市北区天満2丁目1番33号　電話 大代表 大阪(353)1131
支　　店・東　京・名　古　屋・札　幌・東　北・広　島・福　岡

株式会社 道田工務店

代表取締役　道田泰平

本　　社・兵庫県川西市中央町18番21号　電話0727(57)9777番

三井建設 株式会社 大阪支店

取締役支店長　杉山慎一

大阪支店　大阪市中央区本町4－4－25(本町三井ビル)　TEL　06－243－3411
本　　店　東京都千代田区岩本町3－10－1　TEL 03－3864－3456

海と陸の明日を拓く技術のムラズミ

村角建設株式会社

代表取締役社長　土山喜代士

本店　大阪市住之江区浜口西2丁目12-9　TEL 06－675－8101
支店　北海道・東京・神戸

心と技術で明日を築く

Muramoto

村本建設株式会社

代表取締役　村本豊嗣

奈良本店　〒635 奈良県北葛城郡広陵町大字安部547　☎(0745)55－1151　FAX(0745)55－2871
大阪本社　〒543 大阪市天王寺区四天王寺1－5－43　☎(06) 774－2111　FAX(06) 772－2123
東京本社　〒102 東京都千代田区二番町3－4　☎(03)3238－2111　FAX(03)3238－2010

望月建設株式会社

代表取締役社長　望月小太郎

本　　社　大阪市北区中崎西2丁目3番12号　電話 大阪 (375) 2345(代表)

株式会社 森組

取締役社長　森幸彦

本　　社　大阪市中央区道修町4丁目5番17号　電話201－2761(代)
支　　店　東京・東北・横浜・北陸・名古屋・奈良・神戸・中国・四国・九州
営 業 所　甲府・滋賀・京都・和歌山・紀泉・西宮・松山・徳島・熊本

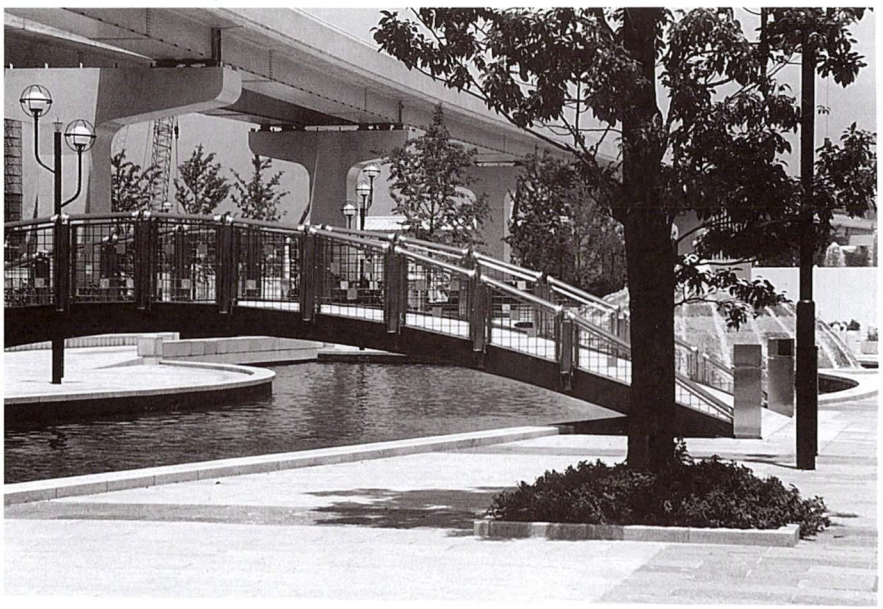
保存と
開発に
取り組む…

総合建設業
株式会社 安井杢工務店
代表取締役 安井洋太郎
本　社 〒617 京都府向日市上植野町御塔道42
TEL (075)933−0012㈹ FAX (075)933−4931

株式會社 米田工務店
代表取締役会長 米田良男
代表取締役社長 米田高明
本　社 〒543 大阪市天王寺区逢阪1丁目1番7号 TEL 大阪(06)771-7771代表
FAX 大阪(06)779-2676代表

YSC
寄神建設株式会社
取締役社長 寄神美好

本　社	〒652 神戸市兵庫区七宮町2−1−1	☎078−681−3121
東京支店	〒103 東京都中央区日本橋茅場町1−6−12	☎03−3668−1871
横浜支店	〒231 横浜市中区翁町1−6−4（新翁ビル）	☎045−681−5085
名古屋支店	〒456 名古屋市熱田区森後町8−27	☎052−681−8661
大阪支店	〒551 大阪市大正区三軒家東4−1−18	☎ 06−552−2551
姫路支店	〒672 姫路市飾磨区須賀294(姫路ポートセンタービル)	☎0792−35−7748
九州支店	〒812 福岡市博多駅前1-15-20(日本団体生命ビル9F)	☎092−482−4300
営業所	岡山・四国・淡路・横須賀・北九州・広島・熊本	



六甲アイランド　　リバーモール

暑中お見舞申し上げます

平成３年盛夏

団体・報道・建材・設備工事有志

財団法人 **大阪建築防災センター**

理事長　小西　岬

〒540 大阪市中央区南新町１－１－２（タイムスビル５Ｆ）　電話 06(943)7253

社団法人 **日本建築協会京都支部**

支部長　井手正己

〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入 建設会館別館　電話075(211)2857・2877

社団法人 **日本建築協会中国支部**

支部長　平本俊秋

〒730 広島市中区国泰寺町1丁目8-4日興ビル内　TEL 082(244)2111

社団法人 **日本建築協会東海支部**

支部長　中島　一

〒460 名古屋市中区栄４丁目３－26(昭和ビル５階)　電話052(261)1451

社団法人 **日本建築協会和歌山支部**

支部長　北山　俊

〒640 和歌山市ト半町38番地 建築士会館内　電話0734(23)2562

創業36年

―もっとも信頼され、読まれている情報紙―

株式会社 **建設日報社**

代表取締役社主 重村 登龍

本　社　〒550 大阪市西区靱本町2－5－2 TEL 06(444)2405-9
別　館　〒550 大阪市西区江之子島1-6-2 TEL 06(444)6431-4

株式会社 **日刊建設通信新聞社関西支社**

常務取締役関西支社長 向後 定男

大阪市西区京町堀1－6－23 エハラビル　電話 06(444) 4451代表
FAX 06(444) 4456
本社・東京都港区西新橋2－11－4　電話 03(3502)8581代表

大阪府耳順会

（大阪府建設ＯＢ会）

会長 山地 英雄（オオバ）
副会長 牧田 顯治（新井組） 名手 宏彦（ミサワホーム） 野村 昌史（松村組）
幹事 上野 勇（栗本建設） 白井 瑞夫（コーナン建設） 両国 寛（鴻池組）
林 貞夫（鉄建建設） 兵本 宣弘（東急建設）
会計幹事 松田 至弘（日本建築協会） 監事 辻田 幸治（矢崎総業）
連絡先 ㈳日本建築協会 ☎06－348－0635(松田)

会員の親睦と講演――――――入会歓迎!!

社団法人 日本建築協会

建築クラブ

代表 塚本 猛次
事務局 日本建築協会
〒530 大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
電話 (06) 348－0635 FAX (06) 348－0634

技術と信頼で人と企業に貢献する

青葉印刷株式会社

代表取締役社長 依藤 孝行

〒534 大阪市都島区中野町2丁目10番11号 TEL(06)351―5428㈹
FAX(06)351―5299

株式会社 **梅彦**

取締役社長 永嘉一郎

営業所 大阪市北区中崎西2丁目1番3号 電話 06 (312) 6171代
茨木工場 茨木市豊川3丁目1番6号 電話0726 (43) 5185代

泉北高速鉄道

大阪府都市開発株式会社

代表取締役社長　柳　　庸夫

本　　社　〒541 大阪市中央区瓦町3丁目5番7号　TEL 06 (201) 9771
鉄道事業本部　〒594 大阪府和泉市伏屋町3360番地　TEL 0725(57)2600

OKUJU
スペース クリエイター

株式会社オクジュー

取締役社長　奥　村　紘　行

本社　大阪市北区西天満5丁目3番7号　〒530
TEL(06)312-4131　FAX(06)312-7998
東京・九州・横浜・名古屋・仙台・宮崎

建築用板硝子販売施工

キムラ硝子建材株式会社

代表取締役　木　村　雅　秀

〒540 大阪市中央区内平野町3丁目2番11号　電話 06(941) 4 1 8 1(代)

クリヤマ株式会社

代表取締役社長　米　内　勁　隆

本　　社　大阪市淀川区西中島1丁目12番4号〒532　TEL. 06—305—2871大代表
東京支店　東京都渋谷区南平台町15番13号〒150　TEL. 03－3463－1841代表

特殊消火設備のパイオニア

高圧瓦斯工業株式会社

取締役社長　野　副　泰　正

本社/大阪支社　伊丹市北本町1丁目310番地　電話0727(82)8562
東京支社　東京都千代田区九段南4丁目7番13号(大島ビル)　電話03(3265)7651
豊田営業所　豊田市大林町12丁目37番地　電話0565(26)1521

結露防止に卓効のある　湿度を調節する断熱建材

KFK

防火 防音 **モクセン板** 防腐 防虫

神戸不燃板工業株式会社

〒673-05 兵庫県三木市志染町三津田　TEL (07948) 7 —3121(代)

経験を基礎に新時代のニーズに応える

三精輸送機株式会社

代表取締役　太田昭比古

本　　社：大阪府吹田市江坂町1丁目13-18 〒564　☎ 06（385）5621（代）
東京支店：東京都渋谷区千駄ヶ谷5の29の11　☎ 03（3356）5651
福知山工場：福知山市長田野町2丁目45番地　☎ 0773（27）1211
出 張 所：札幌・青森・秋田・仙台・名古屋・金沢・広島・福岡・沖縄

塩田工業株式会社

取締役社長　寶来駿一

本　社　〒734　広島市南区東雲2－14－6　TEL(082)281-9161代表
FAX(082)286-8722
工　場　〒739-01　東広島市八本松町大字原字中横野沖郷4515番地　TEL(0824)29-0459
山口支店　〒744　下松市大字末武中1466番地の28　TEL(0833)41-1125

よりよき環境へ技術で挑む――

株式会社 精研

クリーンルーム
実験動物室空調
設計施工

代表取締役会長　和田正八郎
代表取締役社長　桐山司郎

本　　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号（オートセンタービル）　電話06－768－5031(代)
東京支店　東京都文京区小石川1丁目12番14号（日本生命小石川ビル7F）　電話03－5689－2351(代)
四国営業所　徳島県鳴門市撫養町小桑島前浜28－3（西谷ビル）　電話0886－85－0924(代)

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－7221(代)
FAX（075）681－7224

タケテ工業ゴム株式會社

会長　武智義加
社長　大場幸夫

本　　部　〒567 大阪府茨木市学園南町15番17号　☎0726－33－1331(大代表)
東京支店　〒102 東京都千代田区五番町10番2号(五番町センタービル)　☎03－3230－3761(代　表)
高岡営業所　〒933 富山県高岡市赤祖父415番地2　☎0766－22－8313(代　表)

株式会社 タジマ

東京営業本部　〒101 東京都千代田区岩本町3－11 電話（03）3866－6101
大阪営業所　〒550 大阪市西区京町堀1－10－5 電話（06）441－5951

田島ルーフィング株式会社
東西アスファルト事業協同組合

東　京：〒101　東京都千代田区岩本町３－11－14　電話（03）3862－8531
大　阪：〒550　大阪市西区京町堀１－10－５　電話（06）443－0431

東亜印ルーフィング　日本工業規格表示許可工場　許可番号585038

東亜工業株式会社

建設省計振発
第５５号認可　東亜アスファルト防水事業協同組合

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂６丁目４番27号　電話0729－94－5682　ＦＡＸ0729－91－3172
東亜アスファルト防水事業協同組合　〒581 大阪府八尾市南太子堂６丁目４番27号
電話0729－91－1536　ＦＡＸ0729－23－6496
営業所　東京・名古屋・九州　　工　場　大阪・東京・和歌山

株式会社 同朋舎出版

代表取締役　今田　達

本　社　京都市下京区中堂寺鍵田町２　☎(075)343-0621
大阪支店　大阪市中央区北久宝寺町2-1-7 本町和光ビル8F　☎(06)271-5406

東洋シヤッター株式会社

取締役社長　岡田　敏

本　社　〒540 大阪市中央区常盤町１－３－８（日生谷町ビル）電話（06）943－6571㈹
東京本社　〒106 東京都港区六本木6-3（第一地所麻布ビル）電話（03）3497－2911㈹

---

naigai

コピーの綜合コンサルタント

株式会社 ナイガイ

代表取締役会長　木下　二三子

本　社　大阪市西区京町堀1-17-16（スミトービル）　TEL（06）443-2800
西本町営業所　大阪市西区西本町2-3-10（インテスビル）　TEL（06）538-0377
御堂営業所　大阪市中央区本町4-1-13（御堂ビル）　TEL（06）252-3906
横堀営業所　大阪市中央区高麗橋4-4-7（レナウンビル）　TEL（06）202-5260
泉南営業所　大阪府泉佐野市松原１丁目５－３　TEL（0724）64-8158

造園土木　　設計施工

株式会社 西川造園

〒573　大阪府枚方市北中振３丁目27番17号
ＴＥＬ　０７２０－３３－８９９８代

株式会社 西原衛生工業所大阪店

代表取締役社長　伴　昭秀

本　社　大阪市北区中津6丁目8番4号　電話 大阪(06)458—3628
支店・営業所　福岡・京都・神戸・天理・川西

マルエス印▲ルーフィング▲シングル▲メルタン21(トーチ工法)

日新工業株式会社 大阪支店
日本アスファルト防水工業協同組合関西支部

東京本社　東京都足立区千住東2－23－4　☎(3882)2424 (代)
大阪支店　大阪市西区新町1丁目12番22号　☎(533)3191大代表

印刷システム設計・コンピュータ組版・電算写植

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本　社	〒545 大阪市阿倍野区阪南町7—5—30	電話06(606)1111代
東京営業所	〒105 東京都港区西新橋2丁目27番7号	電話03(3578)8501代
広島営業所	〒739-01 東広島市八本松町米満109—5	電話0824(28)6253
日写技研株式会社	〒708 津山市福田1372—1	電話0868(28)4377
日本写植センター	〒892 鹿児島市名山町4—7　三宝ビル	電話0992(26)4371

三好式ガラス防煙垂壁『M式ツリコ』

製造発売元 株式会社ミヨシ

本社／〒730 広島市中区紙屋町2丁目2-38　☎ 082-248-0344
関西／〒646 奈良県磯城郡田原本町新町　☎ 07443-3-4431

三協アルミニウム工業株式会社代理店 日立化成工業株式會社代理店
立山アルミニウム工業株式会社代理店 新明和工業株式會社代理店
豊和工業株式會社代理店 近畿車輛株式会社 代理店
倉敷ユニット株式会社代理店 住友ゴム工業株式会社代理店

ムツミ産業株式会社

代表取締役　傳馬正明

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号　電話 (06) 大代表 441—0378番
出張所：東京・広島・小倉　　工　場：大津・竹原

建設環境金属製品の

株式会社ユニオン

UNION

代表取締役　立野純三

本　社	大阪市西区南堀江2-13-22	〒550 電話 06(532)3731(代)
東京支店	東京都江東区白河2—9—5	〒135 電話03(3630)2811(代)
名古屋営業所	名古屋市東区筒井町1-14-9	〒461 電話052(935)6021(代)
大阪ショールーム	大阪市西区京町堀1-17-16	〒550 電話 06(443)6620(代)

劣化した打放しコンクリートの

意匠復元、超耐候性付与。

15年の実績

吉田工法は、打放しコンクリートの耐久性を内面から改修します。含浸強化剤「NY-606」、補修材「NY-調合樹脂モルタル」でコンクリートに抜群の接着性と強度を持たせ、劣化を防止。さらにトップコート「NY-9090」で超耐候性仕上げです。
しかも、独特の型枠模様も設計当時のイメージに美しく甦らせます。(PAT.P.)
●責任施工で10年間の保証付

工程の概要
表面洗浄
NY-606含浸
鉄筋防錆
NY-調合樹脂モルタル
修整用NY-調合樹脂モルタル
NY-色合わせ
型枠模様造成
NY-9090トップコート



超耐候性特殊弾性アクリルシリコン樹脂系仕上げ
打放しコンクリート
若返りシステム

カタログをご請求ください。

ニチエー吉田株式会社
本社 〒435 静岡県浜松市上西町1314番地 ☎(053)464-2111 FAX(053)464-2117
営業所 東京 ☎(03)3718-7695 大阪 ☎(06)399-7958

好評発売中 サビ・型枠のあく用特殊洗浄剤 ケミカルエースR・H

新刊 全国書店で好評発売中！

新・ファサードシステム

中高層ビルのファサード

今後のファサードシステムのイメージを提供するとともに、最近のカーテンウォールの事例を、豊富な写真を使って数多く紹介。
大野勝彦 監修 新ファサードシステム開発研究委員会
B5判 132頁 税込定価2,300円

はじめてのPC・PRC構造

しくみから設計・施工の実務まで

大空間の設計を容易にするプレストレス。不慣れな構造技術者にPR構造の解説を、意匠設計者へは空間創造への応用性を紹介。
(社)日本建築構造技術者協会関西支部 編
A5判 200頁 税込定価3,800円

住宅の防音と調音のすべて

サウンド・アメニティの設計技術A to Z

防音設計の考え方を建物部位別に紹介したうえ、住宅の音響設計例を豊富に盛り込み、快適な音環境づくりのノウハウをわかりやすく解説。
久我新一 監修 A4判 214頁 税込定価3,200円

株式会社 建築技術
〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2 福西ビル
TEL. 03-5371-3811 FAX. 03-5371-8282

建築技術者必携の専門誌 建築技術 8
7月18日 全国書店一斉発売 税込定価 1,240円

●●●●● 特集 ●●●●●

実践・床の設計手法

今回の特集では、建築の床に求められる快適さと機能を追求するとともに、設計者や建築技術者などが、実際の設計や施工をするうえで役に立つものという観点から実務的な内容を取り上げました。ともすれば、床については関心が薄いといわれる昨今、いま、“床に何が求められているのか”“床の現状と今後の展望”“床材料と工法”をわかりやすく解説しています。

1. “対話”床の今昔
—いま床に求められるもの—
吉岡 丹（東京工業大学名誉教授）
VS.
小野英哲（東京工業大学教授）
2. 床設計上の基本概念
3. 床設計のポイント
住居床／事務所床／生産施設床／医療・福祉施設床／運動機能施設床／集会施設床／店舗・食堂床／教育施設床
4. 床材料・工法の現状

連載●●●●●●●
住まいのアメニティ
～生理人類学からのメッセージ～
「気候と住まいのアメニティ」
地下水のはなし
「水井戸の歴史」
限界状態設計法
「目標安全性をどうやって決めるか」

空気調和・給排水・衛生・防災設備 設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話(3434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話(302)2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社

大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－3344－1851(大代)　大阪本社☎06－448－3603(代)
大阪支社　☎06－448－5851(代)　名古屋支店　☎052－211－1535(代)　中国支店　☎082－247－5541
九州支店　☎092－431－2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒650 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)441-8231
東京本社　〒102 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　社　名古屋・福岡
支　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

人に優しい環境づくり

第一工業株式会社

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06－364－6661(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03-3211-8511(代表)

空気調和設備　産業設備
給排水設備　水処理施設
電気設備　環境施設

三機工業株式会社

代表取締役社長　白谷清二
大阪支店長　三田村嘉也

大阪支店　大阪市中央区北浜2－2－21　電話06(202)3071(代表)
本　店　東京都千代田区有楽町1-4-1　電話03(3502)6111(大代)
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本　社
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06－313－1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9－3　電0720－49－2128

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話(352)1131代
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話(3667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給・排水・衛生・防災・空調設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市北区中津6丁目8番4号　**電話大阪(458)3628番**
支店・営業所　福岡・京都・神戸・天理・川西

空気調和・衛生設備・設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市中央区城見2丁目1番61号ツイン21MIDタワー　電話 06－949－1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話03－3344－1911
大阪本店　大阪市北区西天満4丁目6番18号　電話 06－363－1371
支　店　仙台・横浜・名古屋・広島・福岡
営業所　札幌・京都・神戸・松江
出張所　青森・秋田・盛岡・大宮・千葉・川崎・富山・福井・和歌山・鳥取・岡山・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

技術と信頼で人と企業に貢献する

青葉印刷株式会社

代表取締役社長　依藤孝行

〒534 大阪市都島区中野町2丁目10番11号　TEL(06)351－5428代
FAX(06)351－5299

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社精研

本　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル1，2階)
郵便番号542　電話 大阪(06)768－5031　代表
メンテナンス部　電話　大阪(06)768－1651　代表
東京支店　東京都文京区小石川1丁目12番14号(日本生命小石川ビル7階)
郵便番号112　電話(03)5689－2351代表

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

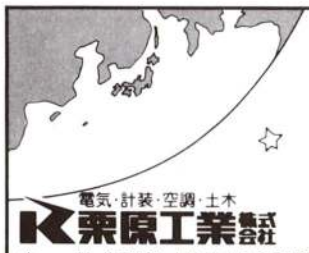
本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町２０番地の１
電話(681) ５１０１～５・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話 (06)352－3501㈹
三重支店　津市栄町２－１１１　電話(0592)26－3610㈹
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431㈹
滋賀営業所　大津市中央２丁目4-28　電話(0775)22－9738㈹

Carrier 冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キヤリア工業㈱デストビューター関西地区

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　吹田市豊津町４０番３８号
電話 大阪 (384) 1201～7



自然環境を大切に
夢ある未来を
くりエイト！

電気・計装・空調・土木

K栗原工業株式会社

本　社／〒530 大阪市北区角田町1番1号(東阪急ビル)
TEL 06(313)1101　FAX 06(315)0050

電気設備 ㊋ 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 貴 士

本　社　大阪市北区中之島３－２－４　朝日ビル　TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所　TEL 大阪06(385)1361(代)　京都営業所　TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所　TEL 東京03(3574)０６６５　福岡出張所　TEL 福岡092(771)６１６８

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役 土 井 敏 裕

本　社　大阪市北区西天満２丁目６－８(堂ビル５階)
電　話　０６（３６１）３６７１(代)
支　店　東京都中央区日本橋茅場町２丁目１７番３号
電　話　０３（３６６６）１４７８（代）
営業所　堺・泉　州・泉　南・滋　賀

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

関　西　支　社

専務取締役支社長 横 田 幸 一

大阪市中央区高麗橋４丁目3番7号　電話大阪（202)0325～９番
本　社　東京都千代田区西神田１丁目４番５号
支　社　北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・中部・九州

――誠実と技術でお応えする――

住友電設株式会社

取締役会長 代 谷 正 元
取締役社長 相 馬 一 男

本社/〒550 大阪市西区阿波座2-1-4 ☎(06)537-3400(大代)　東京/〒105 東京都港区芝2丁目2-17 ☎(03)3454-7311(大代)

営業種目 設計・施工・監理

●電力工事
配変電設備工事　架空送電線工事　地中送電線工事　土木工事
●設備工事
ビル電気設備工事　工場電気設備工事　防爆電気設備工事　計装工事　空調工事　給排水衛生工事　特殊配管工事　消防施設設備工事
●プラント工事
●情報システム工事
光伝送システム工事　CATVシステム工事　各種アンテナ装置工事

電気設備・計装制御設備・空調設備・クリーンルーム設備・プラント設備
給排水衛生設備・エネルギー集中監視システム…設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 秀 一

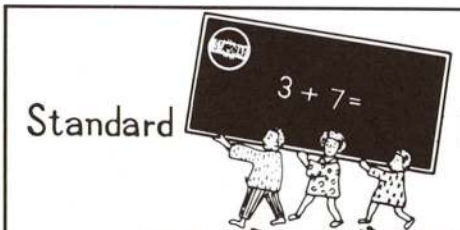
本　社　〒530 大阪市北区西天満2-6-8(堂ビル)　TEL 06(364)1471・FAX 06(364)5533
東京支社　〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル)　TEL 03(3504)0231・FAX 03(504)0288
名古屋支店　〒462 名古屋市北区金城3-12-14　TEL 052(991)5131・FAX 052(914)7535
神戸支店　〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル)　TEL 078(881)5571・FAX 078(871)6281
堺研究所　〒590 大阪府堺市三宝町七丁369　TEL 0722(27)8408・FAX 0722(27)1424

奉仕感謝の店

タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

本　社　〒550 大阪市西区西本町１－13－33
電話　大阪 06(532)代0461　〒550
天理営業所　天理市丹波市新町 50



Standard　Board&Slate

フタバ工業

〒547　大阪市平野区加美北3－4－5　TEL 大阪06(792)5858(代)



〒556 大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
ナニワ瓦株式会社
ファックス　五六一～七四五四
☎　五六一～七四一六

あらゆる屋根工事の相談は、

情報処理・電算写植組版

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神 田 都 義

本　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606)1111代
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992 (26)4371
津山写植センター　〒708 津山市福田１３７２－１　☎0868 (28)4377

特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉８－173－１
TEL(０７２９)３９－３６１０
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町２７４４
第二　〒597　大阪府貝塚市王子５０１

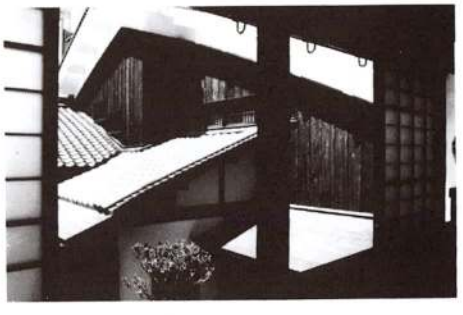
Construction chemistry for the future.
コンクリート用混和剤／コンクリート用補修材
高性能無収縮材／コンクリート用高性能床材
Master Builders Technologies
株式会社エヌエムビー
株式会社ポゾリス物産
本　社：東京都港区六本木３－16－26
大阪支店：大阪市中央区北浜3-2-23(信愛ビル)
TEL06-202-3294

営業種目
●防　水　工　事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹　付　工　事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建　設　業　許　可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町３－21
星和地所扇町ビル201S
TEL06(315)０７０１
(株)特殊技研

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社　本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA（膨張性混和材）　コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材）　鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント）　コンクリート躯体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材）　地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材）　コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・網野（０７７２７）２－２２２０
舞鶴（０７７３）７６－０１３３
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（０６）３３２－６８６１
TEL 東京（０３）３２７２－８５０１
小浦産業株式会社
TEL 大阪（０６）４４３－６１８１
光洋物産株式会社
TEL 大阪（０６）２５２－６０００
株式会社トーゴー
TEL 滋賀・守山(０７７５)８３－２３８１





OM

テトカッパー防水層

カッパー防水帯――――――――コーパータイト　オクロン防水帯

資料をご請求下さい。

奥山化工業株式会社

本　社 東京都中央区銀座8-4-9 奥山ビル　TEL03(3571)2703㈹ FAX03(3571)0264
大阪事務所 TEL06(391)1081～2 FAX 06(395)2109　名古屋出張所 TEL052(811)3660
横浜営業所 TEL045(320)4832　FAX045(320)4765　厚木出張所 TEL0462(21)1761 FAX0462(23)1341
埼玉営業所 TEL048(774)2845　茨城出張所 TEL0292(28)0878 FAX0292(28)2614

新しい時代の、新しい扉をひらきたい。

TOYO Shutter

東洋シヤッター株式会社

本　社　〒540 大阪市中央区常盤町1－3－8（日本生命谷町ビル）
TEL（06）943－6571（代）
■東京/横浜/盛岡/仙台/水戸/静岡/岡崎/名古屋/富山/大津/京都/神戸/広島/高松/福岡/他全国主要都市

特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

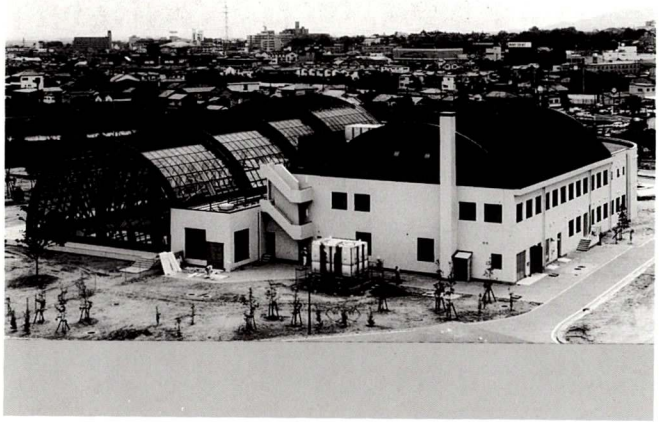
半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー!

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種・オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
・オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
・オリエンタルメタル(ＯＰＭ)
・鋼板製オリエンタルフネンシングル
・オリエンタルオリセラム
・オリエンタルエターノコアー(ETC-F)

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・ボルトレスルーフBL・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・堅樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ボーロイド(断熱材)D.G.K.　※カタログをご請求下さい。



大和郡山市九条スポーツセンター屋根　エターノコアーF

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660 尼崎市昭和南通り３―26　電話大阪(06)412―5131㈹
大阪支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・姫路
東京本社及工場　〒335 蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42―3115㈹
支店及工場　東北・東京・関東・熊谷

建築と社会
第72輯第7号

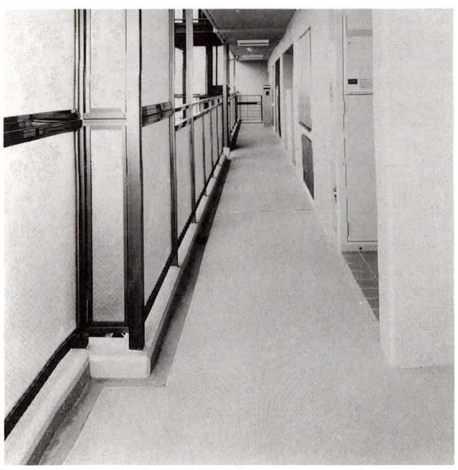
床を創る
TAJIMA

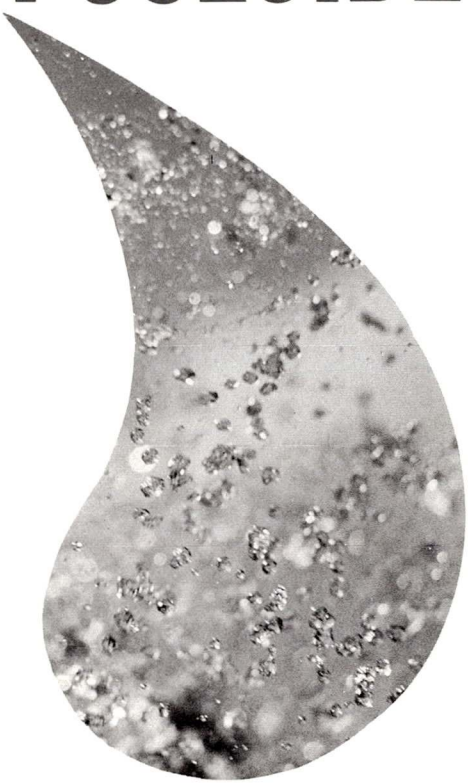




太陽と語り、水と遊ぶ。

MANSION POOLSIDE





さんさんと輝く太陽、ほとばしる水しぶき。そんな美しい自然のディテールも、床には過酷な条件です。タジマアクサンスは、直射日光や水に変質・変色しにくいノンスリップ長尺床材。さらに遮音性、耐摩耗性など数々の機能に優れ、プールサイドやマンションの開放廊下、ベランダなどに最適です。シール工法によりめくれ、剝がれ対策も万全。太陽と語り、水と遊ぶ。時代の屋外・半屋外スペースに、安心と快適をお届けします。

水と太陽に強いノンスリップ床材。

タジマ アクサンス AQUSUNS

株式会社タジマ

営業本部
〒101 東京都千代田区岩本町3-11-13
☎03-3866-6101 FAX03-3862-5908

東京営業所
〒101 東京都千代田区岩本町3-10-12山源ビル
☎03-3861-3101 FAX03-3861-3615

大阪営業所
〒550 大阪市西区京町堀1-10-5
☎06-441-5951 FAX06-444-2596

社団法人 日本建築協会 〒530 大阪市北区梅田1の1の3の2100 電話大阪06(348)0635 FAX06(348)0634

振替口座大阪一三九七五番
正会員の購読料は会費に含めて徴収
定価九八〇円（本体九五一円＋消費税九円＋送料共）

雑誌 03379-7